


熊本県院内がん登録データに係る統計 —2013年診断症例—

医療機関名	 <small>Kumamoto University</small>	国立大学法人熊本大学医学部附属病院
-------	---	-------------------

○基本情報

【平成25年12月現在】

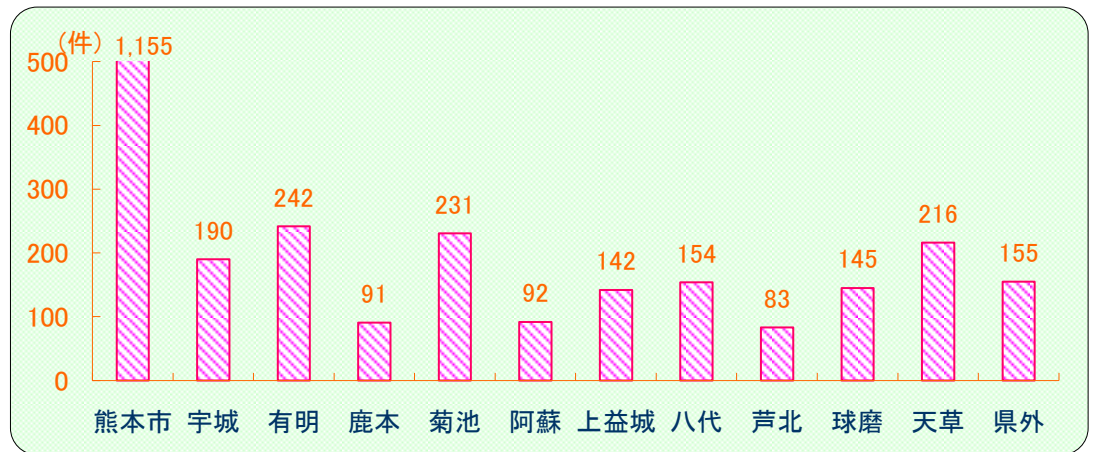
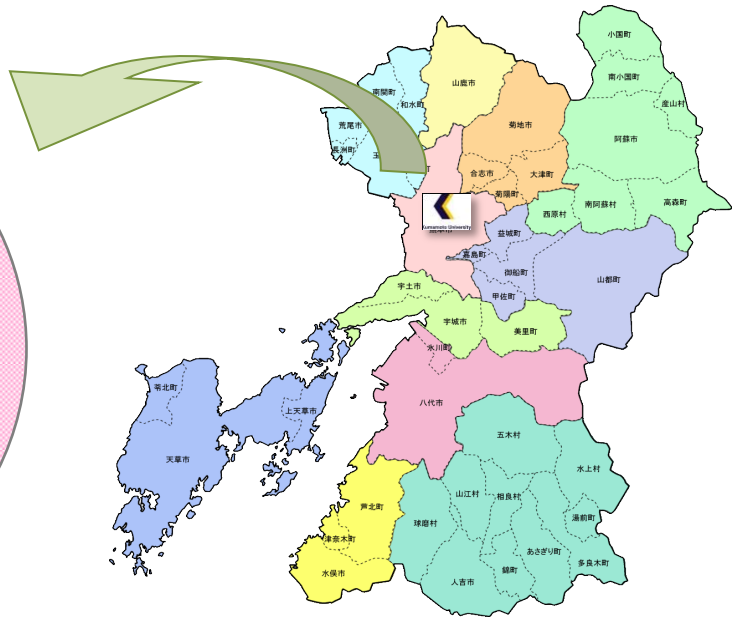
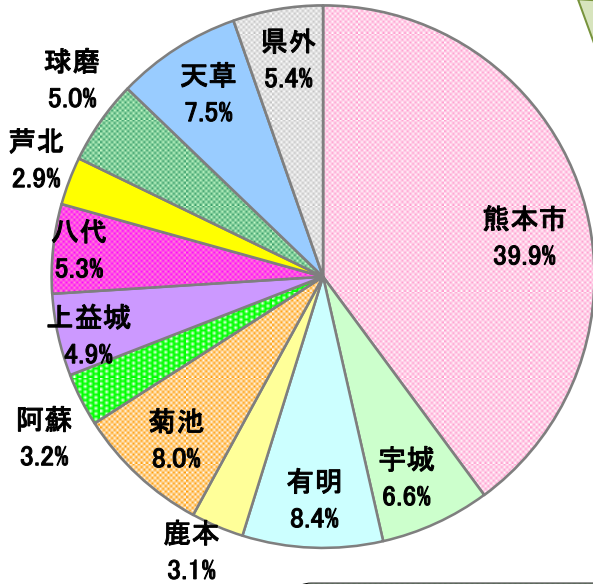
所在地	熊本市中央区本荘1丁目1番1号
病床数	845床
診療科数	30科
がん診療連携拠点病院指定日	2006.08.24
がん登録開始基準日	2006.08.01
平均在院日数	17.2 (日)
入院患者数	14,925 (人)
外来患者延数	363,417 (人)
院内がん登録件数	2,896 (件)
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 2 / 初級者 0 / 他 2 (名)

○医療機関からのコメント

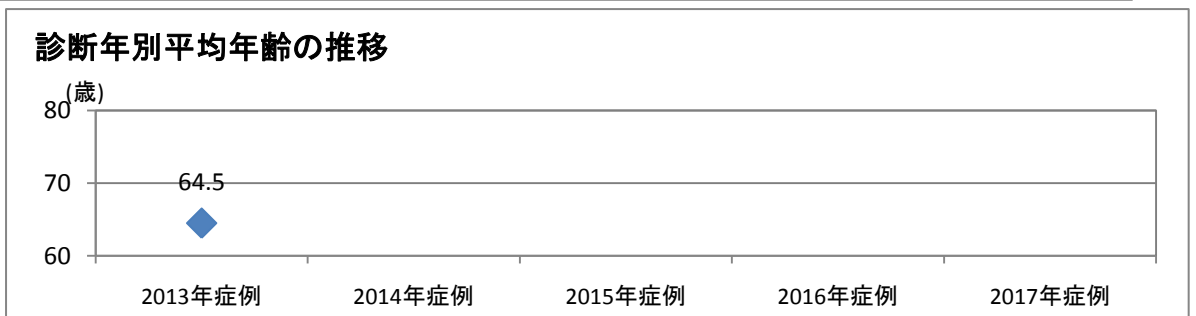
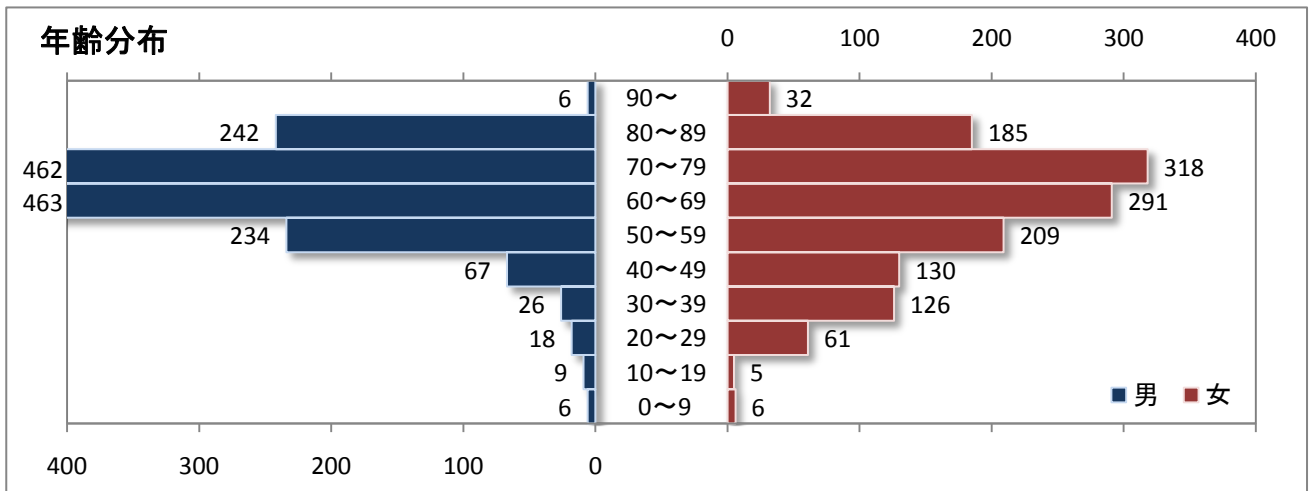
- ・ 当院は熊本県の中心部に位置し、県内唯一の特定機能病院の承認を得た医療機関である。当院の特徴として熊本市を始めとした二次医療圏全圏及び隣県の幅広い地域の患者や、様々ながん種の患者の診療を行っている事があげられる。
- ・ 2013年症例は2,896件の登録が行われた。前年の2012年症例は2,854件であったので総件数としては微増であった。増加の理由としては外来患者数が前年に比べて31,000人増となっていることより、外来のみで診断・治療を施行した患者が増えていることが考えられる。
- ・ 診断時患者住所については、阿蘇(124→92)、県外(175→155)、とそれぞれ前年より減少し、上益城(109→142)、芦北(64→83)、球磨(125→145)などが増加しているが全体的に大きな変動は見られなかった。
- ・ 性別で見ると、男性が1,533件(前年より30件増)、女性が1,363件(前年より12件増)であった。全体では例年通り男性の方が多いが、年代別で見ると20代～40代までは女性の件数が多い。このことより女性の乳がんや子宮がんが若年より診断されているのに対し男性の前立腺がんや肺がんが50代～80代と年齢が高くなるほど診断されていることが分かる。全体の平均年齢は前年と同じ64.5歳(男性66.9歳、女性61.7歳)であり変化はなかった。
- ・ 2013年の上位5部位も前年同様に肺、皮膚、子宮、乳房、肝であった。この上位5部位が全体を占める割合が41.6%なのに対し、当院の5大部位(胃、大腸、乳房、肝、肺)の占める割合は35.6%(前年は38.9%)であった。
- ・ 国立がん研究センターが2013年全国集計で「がん診療連携拠点病院では2009年からの5年間に5大がんの登録割合が減少傾向を示す県が多く認められた」と掲載しており、熊本県も例外ではない。2009年では49.3%であった割合が2013年には45.4%となっており、理由として拠点病院以外の施設における5大がんの診断・治療を施行できる環境が整ってきていることが考えられる。
- ・ 今後とも、5大がんを中心とした他医療機関との連携や、当院の6割を占める5大がん以外の状況を把握しつつ、全体のがん患者の推移に注視していきたい。

① 患者住所医療圏別登録割合と件数

熊本大学医学部附属病院 (2,896件)



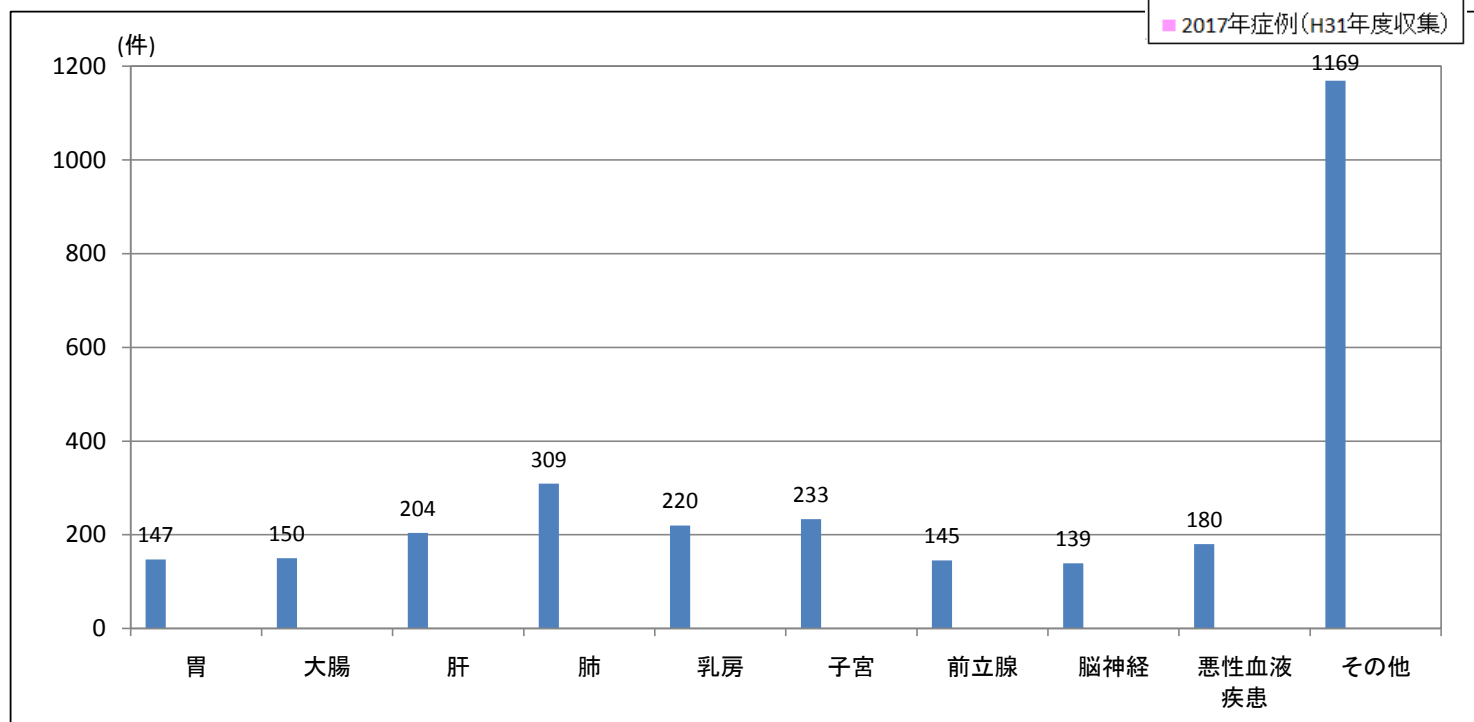
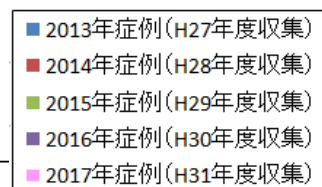
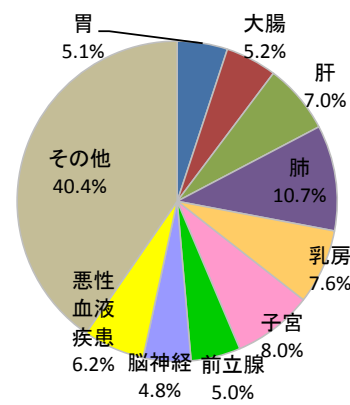
② 診断時年齢分布と平均年齢の推移



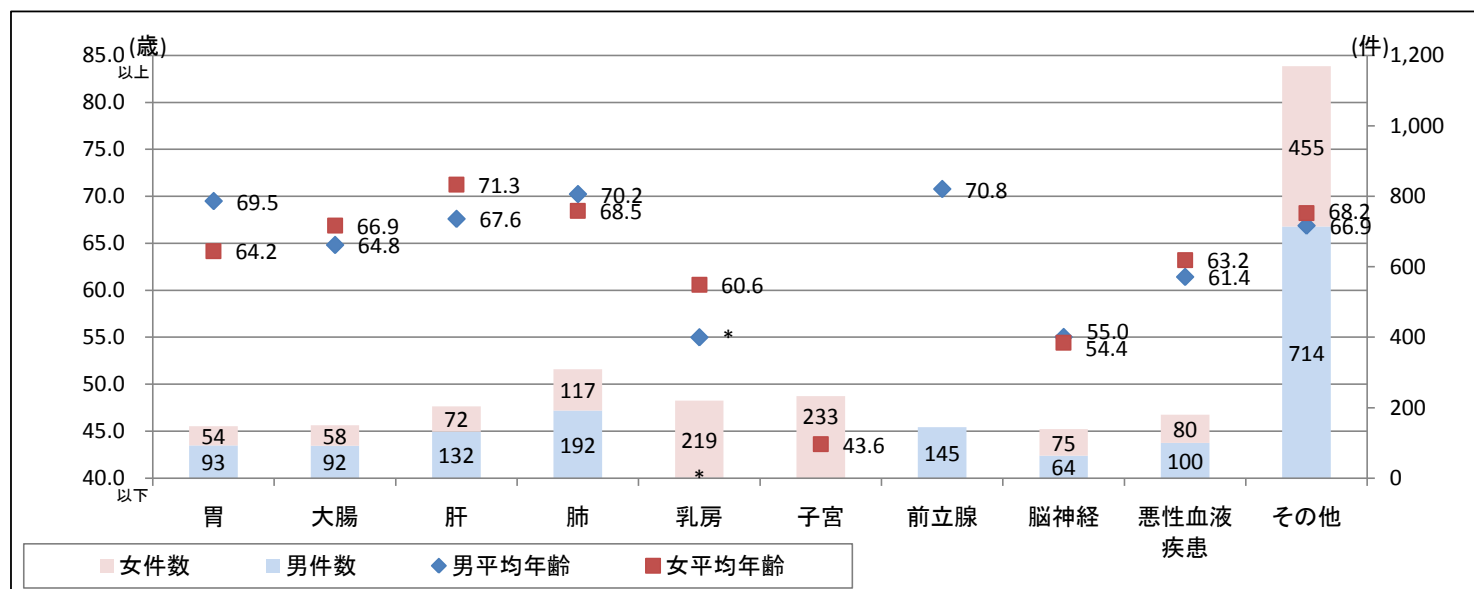
③ 診断年別 主要部位別件数

部位	2013年症例 (H27年度収集)	2014年症例 (H28年度収集)	2015年症例 (H29年度収集)	2016年症例 (H30年度収集)	2017年症例 (H31年度収集)
胃	147				
大腸	150				
肝	204				
肺	309				
乳房	220				
子宮	233				
前立腺	145				
脳神経	139				
悪性血液疾患	180				
その他	1169				
計	2,896	0	0	0	0

2013年症例 主要部位別割合



④ 男女別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 主要部位別治療の内訳

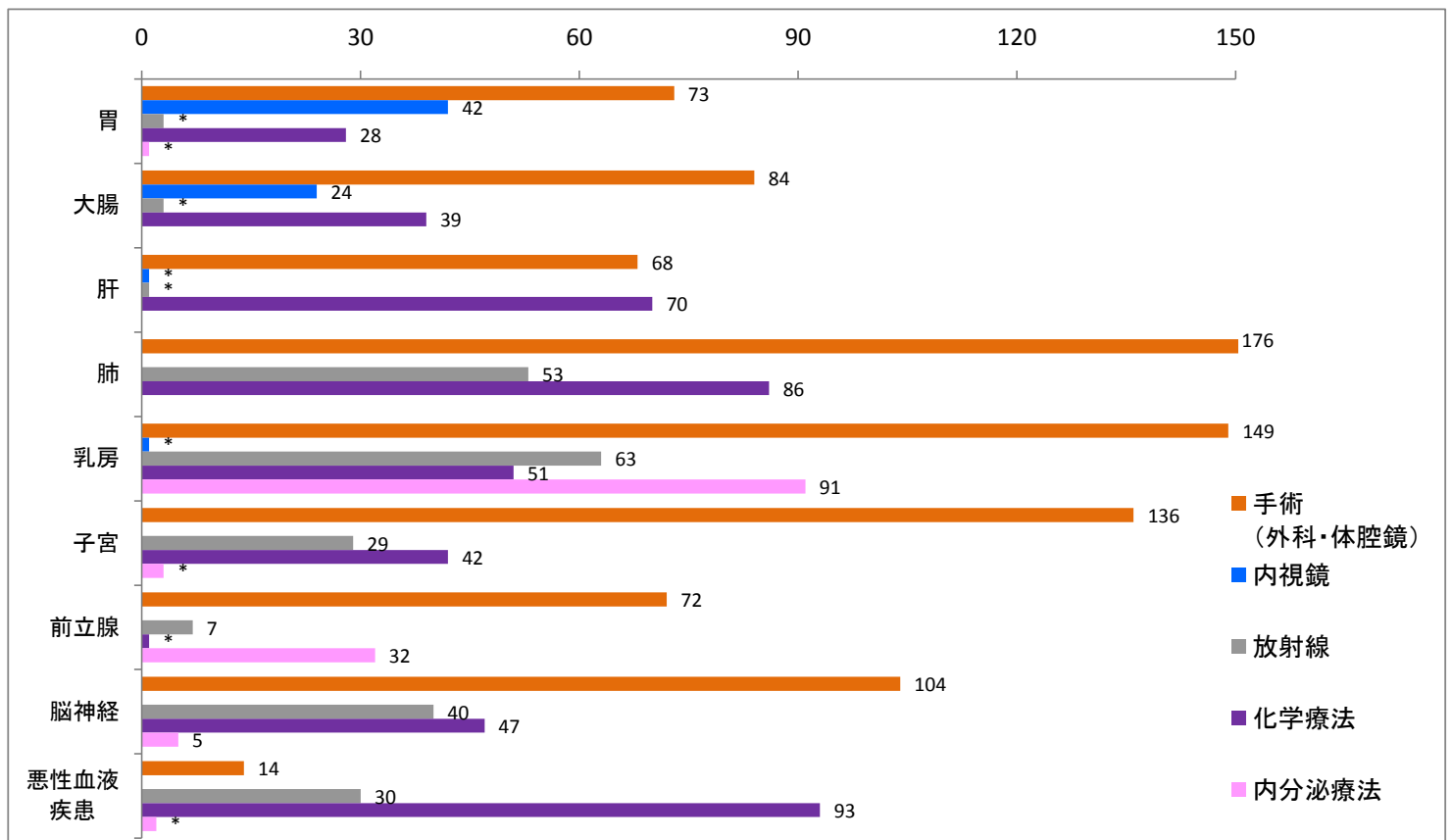


【赤枠部の治療内容を以下に集計】




- ※ 初回治療として当院で施行された治療のみ集計
- ※ 症例区分8(その他)/診断区分2(治療開始後)は除いて集計
- ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
- ※ 手術とは外科的と体腔鏡的治療の計

	(外科・体腔鏡) 手術	内視鏡	放射線	化学療法	内分泌療法	計
胃	73	42	*	28	*	147
大腸	84	24	*	39		150
肝	68	*	*	70		140
肺	176		53	86		315
乳房	149	*	63	51	91	355
子宮	136		29	42	*	210
前立腺	72		7	*	32	112
脳神経	104		40	47	5	196
悪性血液疾患	14		30	93	*	139
計	876	68	229	457	134	1,764



熊本県院内がん登録データに係る統計 —2013年診断症例—

医療機関名		荒尾市民病院
-------	---	--------

○基本情報

【平成25年12月現在】

所在地	荒尾市荒尾2600番地
病床数	274床
診療科数	25科
がん診療連携拠点病院指定日	2008.02.08
がん登録開始基準日	2008.01.01
平均在院日数	15.4 (日)
入院患者数	3,729 (人)
外来患者延数	83,761 (人)
院内がん登録件数	377 (件)
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 1 / 初級者 2 / 他 0 (名)

○医療機関からのコメント

当院は熊本県の北部「熊本県有明医療圏」では唯一の地域がん診療連携拠点病院である。熊本県有明医療圏在住の患者が登録症例の377件中371件と九割を占める。原発部位における5大がん(胃・大腸・肝・肺・乳房)が184件で全体の48.8%であった。特に大腸が75件と最も多く、そのうち大腸での早期がん(cStage0～I期)と診断された割合は42.7%であった。前年(35.1%)に比べ増加していた。

院内におけるがんに対して、内視鏡治療、腹腔鏡下手術、開腹・開胸手術、放射線療法、化学療法、緩和治療まで、がん患者の症例、進行状況に対応した幅広い治療を行っている。平成24年に放射線治療センターが開設されたことにより、他院より紹介され放射線治療を受ける患者が増加している。

当院のがん登録件数は377件で前年(397件)と比較すると減少したが、原発部位別で見ると子宮、脳神経が増加した。

・件数全体の男女比

男性206件(54.6%) 【前年211件(53.1%)】

女性171件(45.3%) 【前年186件(46.8%)】

・平均年齢

男性74.1歳 【前年72.6歳】

女性69.9歳 【前年70.2歳】

男性は部位別の肝の平均年齢が前年に比べ5歳上昇していた。

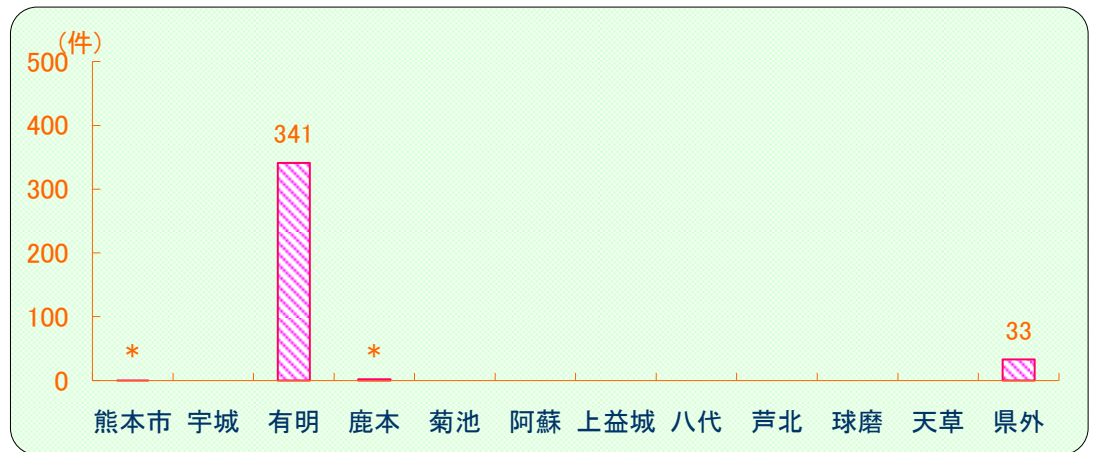
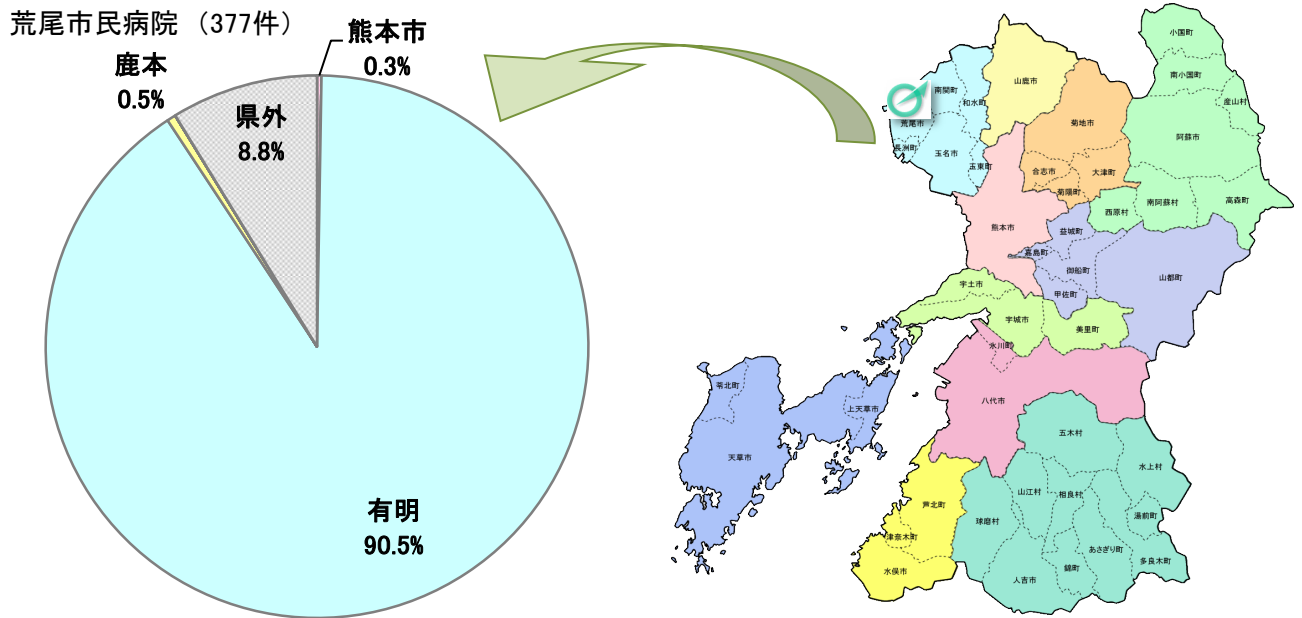
・男女別症例件数と平均年齢(上位3部位)

男性 1.大腸51件(72.4歳) 2.胃36件(71.6歳) 3.前立腺22件(78.8歳)

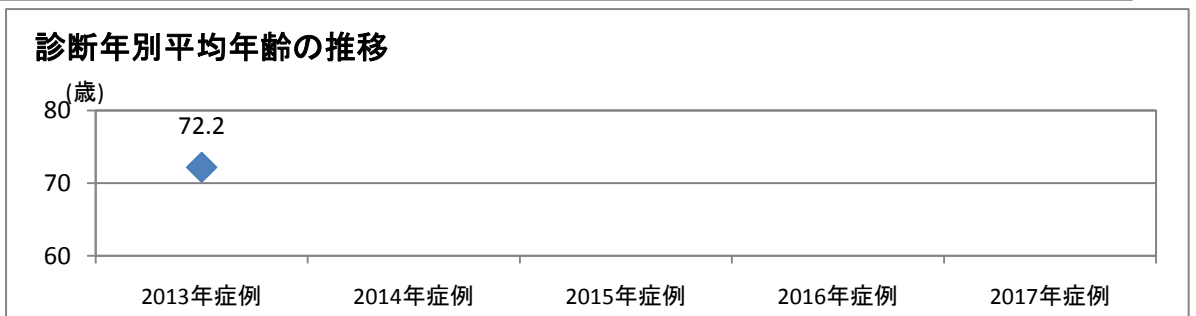
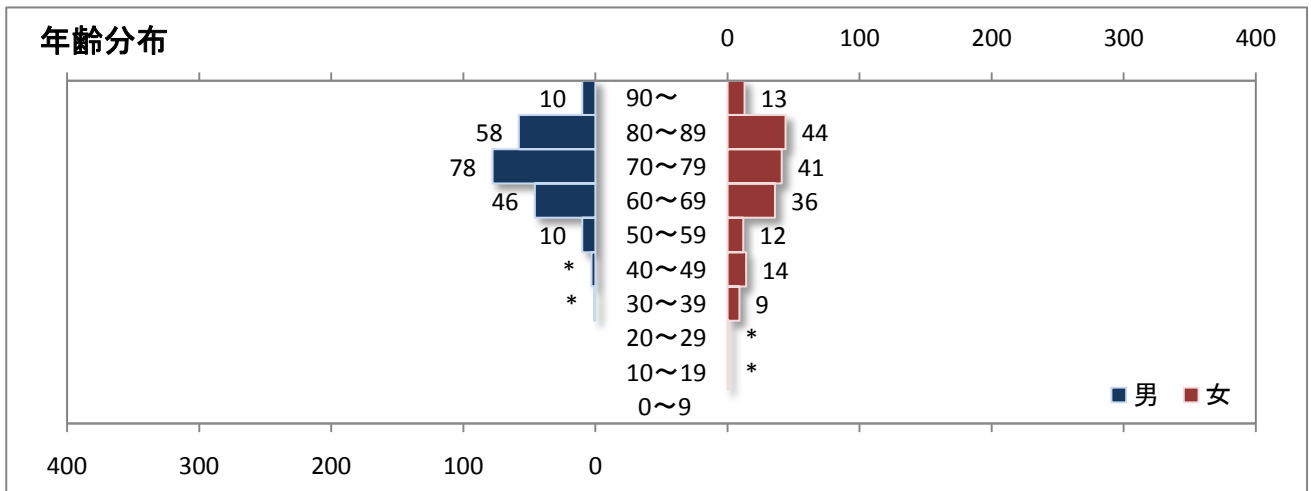
女性 1.子宮28件(51.8歳) 1.乳房28件(67.6歳) 3.大腸24件(75.2歳)

子宮は前年より13件増加しているが、平均年齢に変化はなかった。乳房の件数が前年に比べ17件減少し、平均年齢は7.4歳上昇した。

① 患者住所医療圏別登録割合と件数



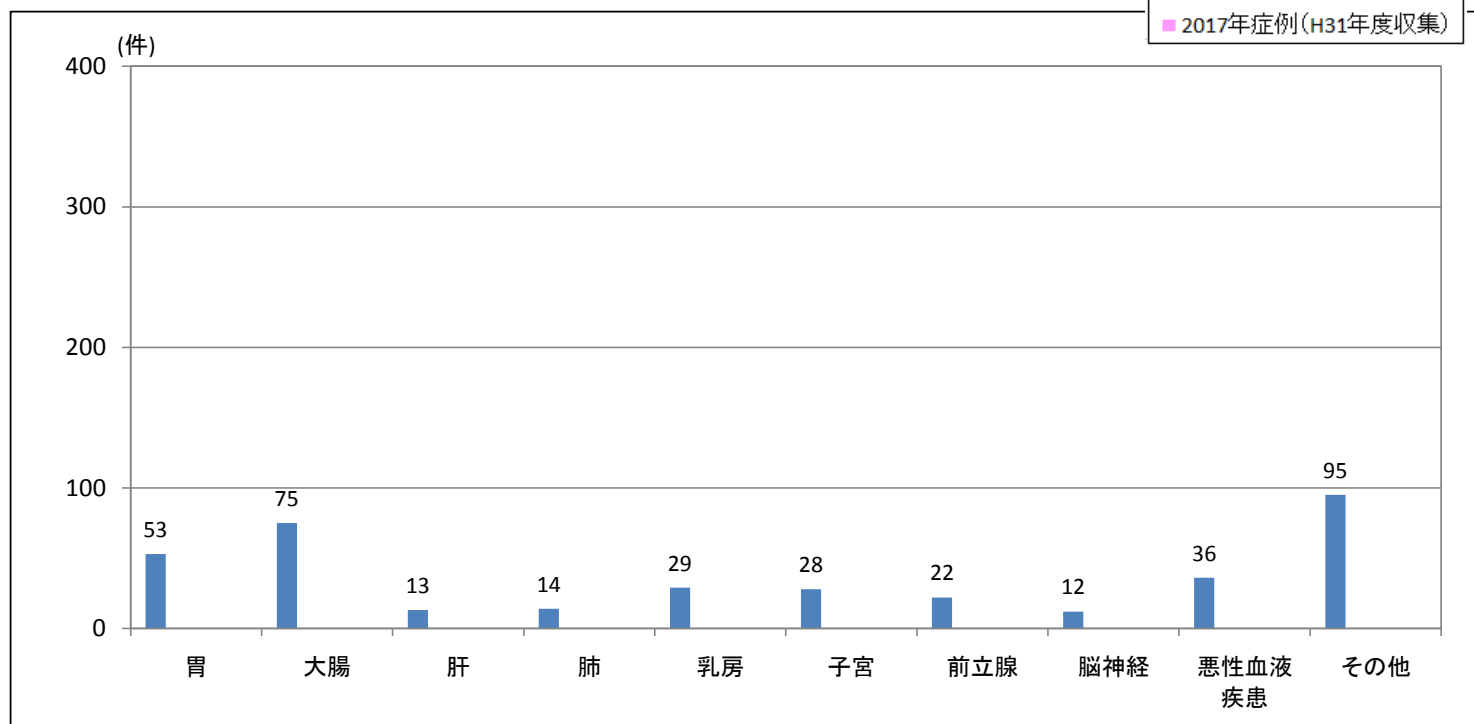
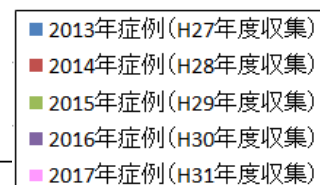
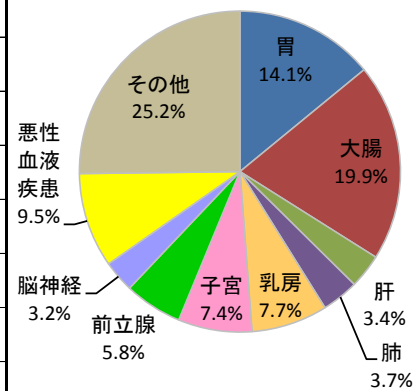
② 診断時年齢分布と平均年齢の推移



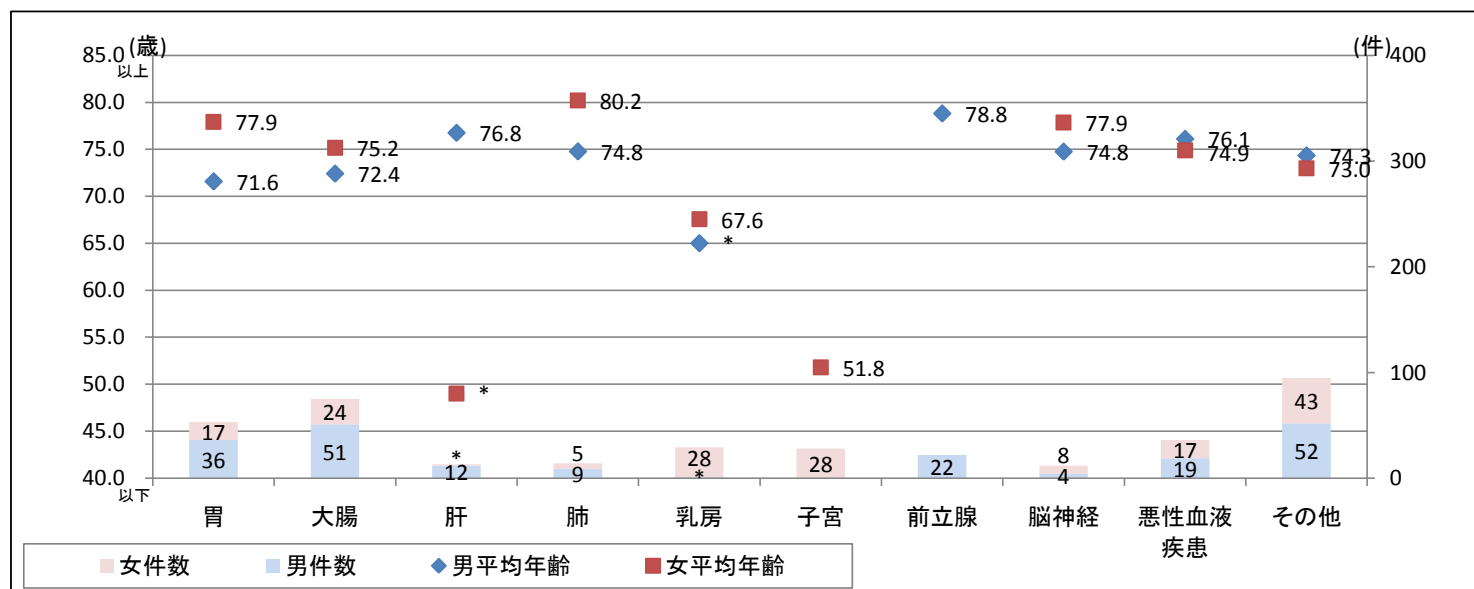
③ 診断年別 主要部位別件数

部位	2013年症例 (H27年度収集)	2014年症例 (H28年度収集)	2015年症例 (H29年度収集)	2016年症例 (H30年度収集)	2017年症例 (H31年度収集)
胃	53				
大腸	75				
肝	13				
肺	14				
乳房	29				
子宮	28				
前立腺	22				
脳神経	12				
悪性血液疾患	36				
その他	95				
計	377	0	0	0	0

2013年症例 主要部位別割合



④ 男女別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 主要部位別治療の内訳

- 初発(9部位)
- 初発(その他)
- 症例区分8/治療開始後

総計:377件

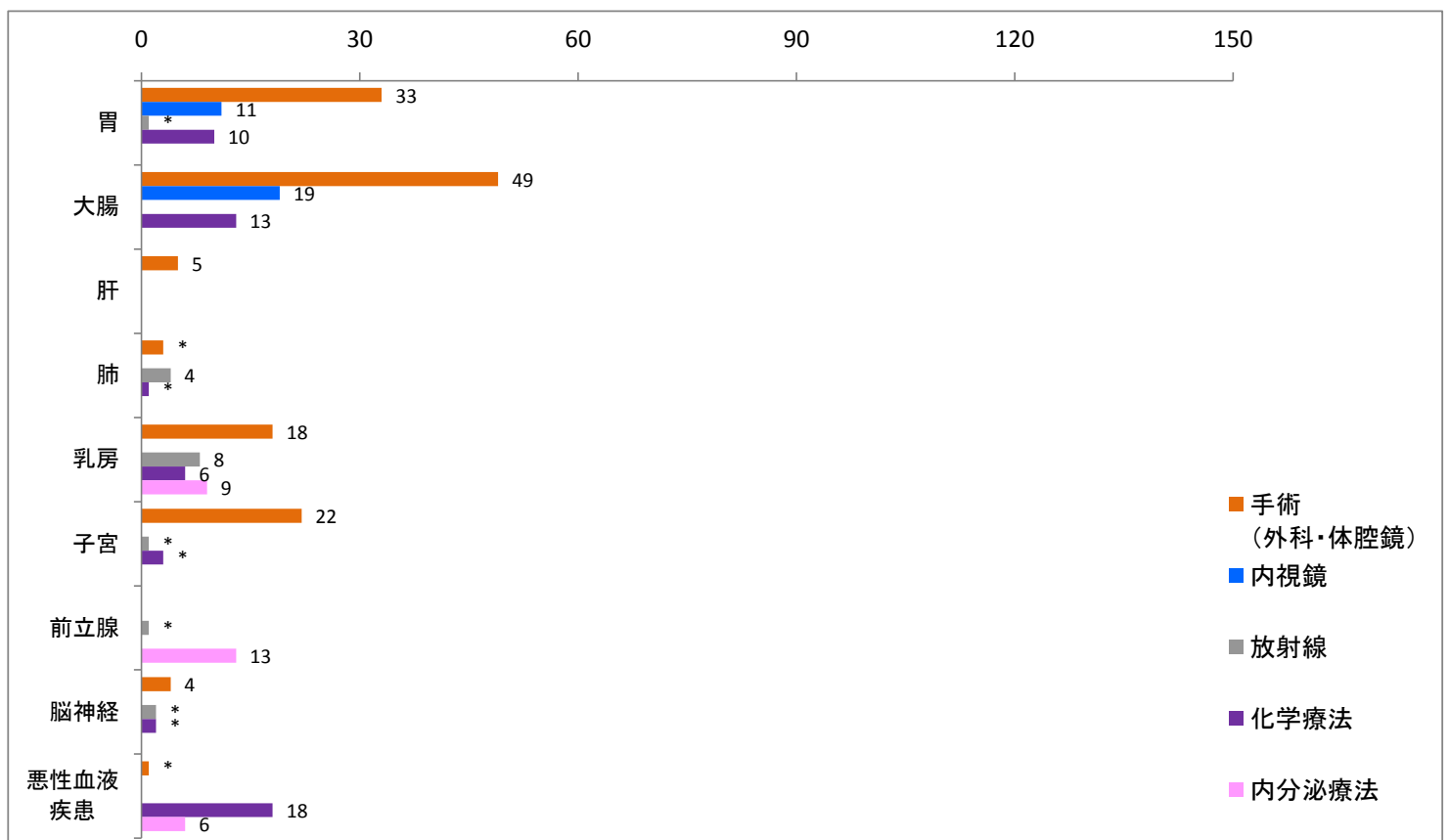


【赤枠部の治療内容を以下に集計】




- ※ 初回治療として当院で施行された治療のみ集計
- ※ 症例区分8(その他)/診断区分2(治療開始後)は除いて集計
- ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
- ※ 手術とは外科的と体腔鏡的治療の計

	(外科・体腔鏡) 手術	内視鏡	放射線	化学療法	内分泌療法	計
胃	33	11	*	10		55
大腸	49	19		13		81
肝	5					5
肺	*		4	*		8
乳房	18		8	6	9	41
子宮	22		*	*		26
前立腺			*		13	14
脳神経	4		*	*		8
悪性血液疾患	*			18	6	25
計	135	30	17	53	28	263



熊本県院内がん登録データに係る統計 -2013年診断症例-

医療機関名		独立行政法人国立病院機構 熊本医療センター
-------	---	--------------------------

○基本情報

【平成25年12月現在】

所在地	熊本市中央区二の丸1-5
病床数	550床
診療科数	32科
がん診療連携拠点病院指定日	2008.02.08
がん登録開始基準日	2007.09.01
平均在院日数	13.3 (日)
入院患者数	13,812 (人)
外来患者延数	162,715 (人)
院内がん登録件数	1,577 (件)
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 1 / 初級者 0 / 他 2 (名)

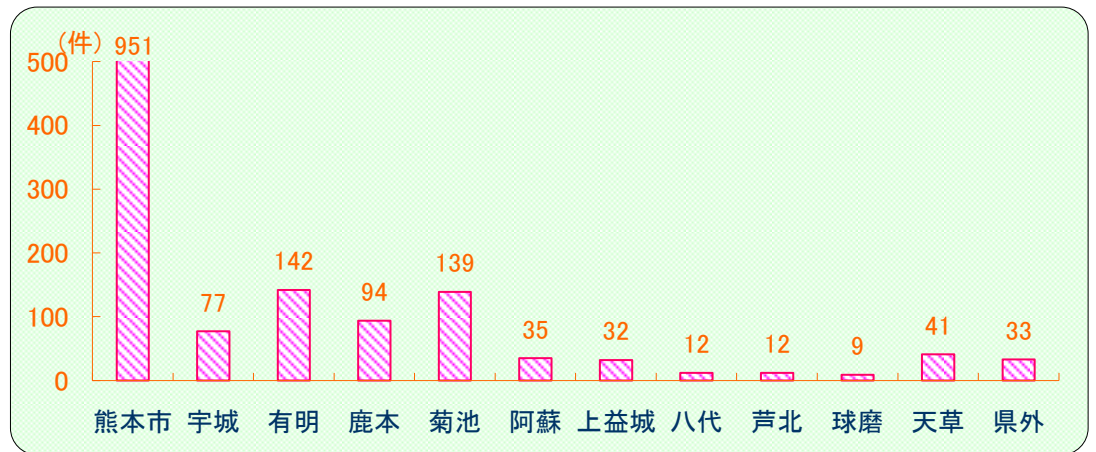
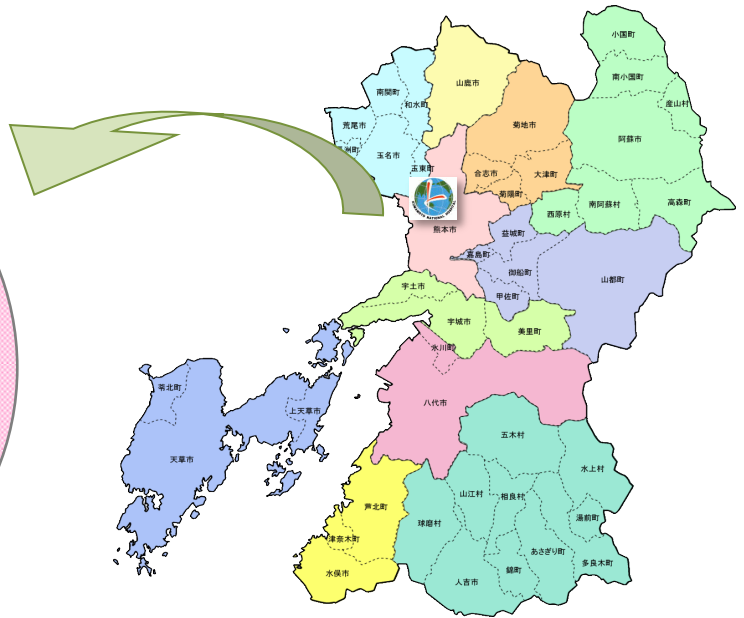
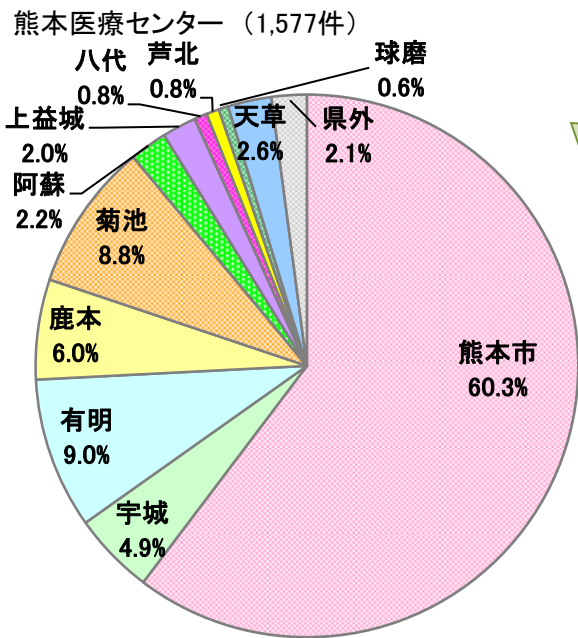
○医療機関からのコメント

【登録件数・症例数の多い登録部位】
国立病院機構熊本医療センターの2013年診断症例の院内がん登録件数は1577件であり、昨年の1516件と比較して61件増加した。登録件数は1500件台で推移しており、2013年診断症例は最も多い登録件数となった。
「③診断年別 主要部位別件数」の登録部位別では、例年通り悪性血液疾患(白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、骨髄異形成症候群等)が最も多く、313件の登録件数となった。ついで大腸(結腸・直腸)201件、子宮(子宮頸部・子宮内膜)162件、前立腺110件の登録件数となっている。

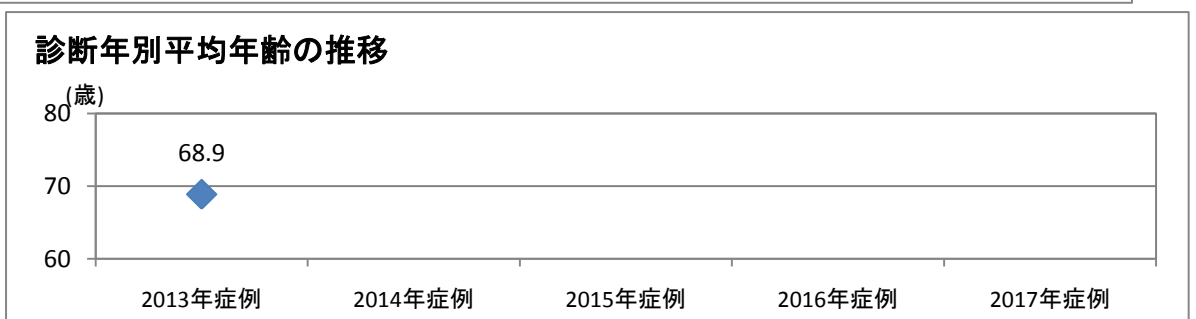
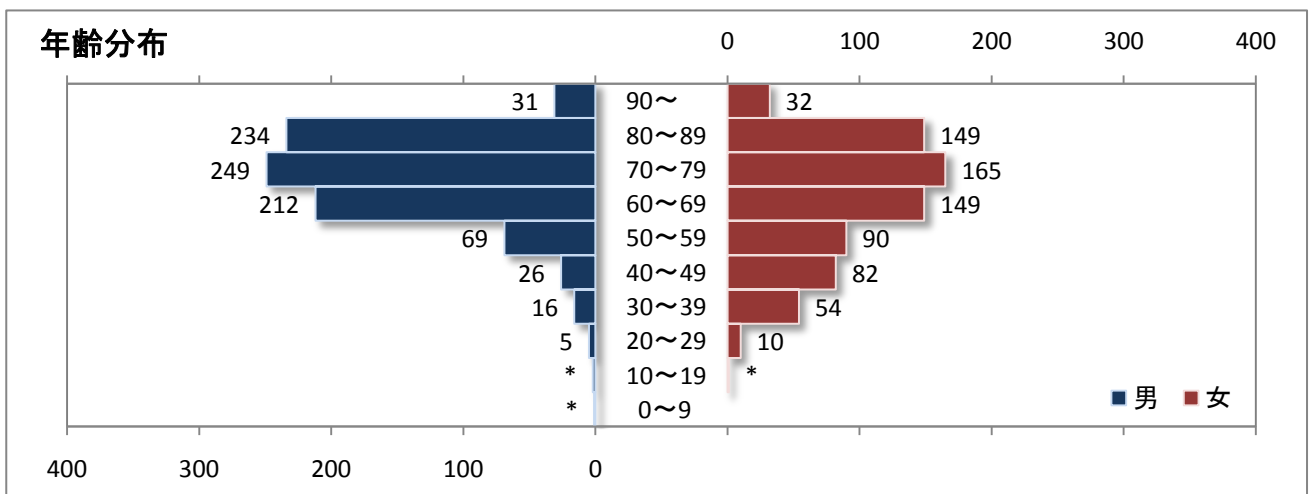
【症例数の多い部位の主な治療方法・特色】
1)『悪性血液疾患』県下唯一の日本骨髄バンクと日本臍帯血バンクの認定施設として、同種造血幹細胞移植を実践している。また、小児の骨髄移植も実践している。
2)『大腸』症例に応じて、患者様の身体的に負担の少ない鏡視下手術を積極的に取り入れている。また、化学療法、放射線療法と組み合わせた集学的治療を実践している。
3)『子宮』過去の実績から多くのがん患者様の治療を経験しており、手術療法、化学療法、放射線療法と組み合わせた集学的治療を実践している。
4)『前立腺』ホルモン療法、手術療法、放射線療法による集学的治療の実践に加え、2014年より密封小線源治療(ブラキセラピー)を積極的に取り入れており、治療実績を得ている。

【熊本医療センターの特徴・役割】
精神科を有しており、精神障害を合併されたがん患者様の治療に対応している。
また、2015年より腫瘍内科が新設され、がん薬物療法を専門に扱う腫瘍内科医4名の体制となったことで、全ての種類のがん診療に対応することが可能になった。地域がん診療連携拠点病院としての役割を果たすため、チーム医療、医療連携の充実を図り、より多くの患者様への相談支援体制が整った。

① 患者住所医療圏別登録割合と件数



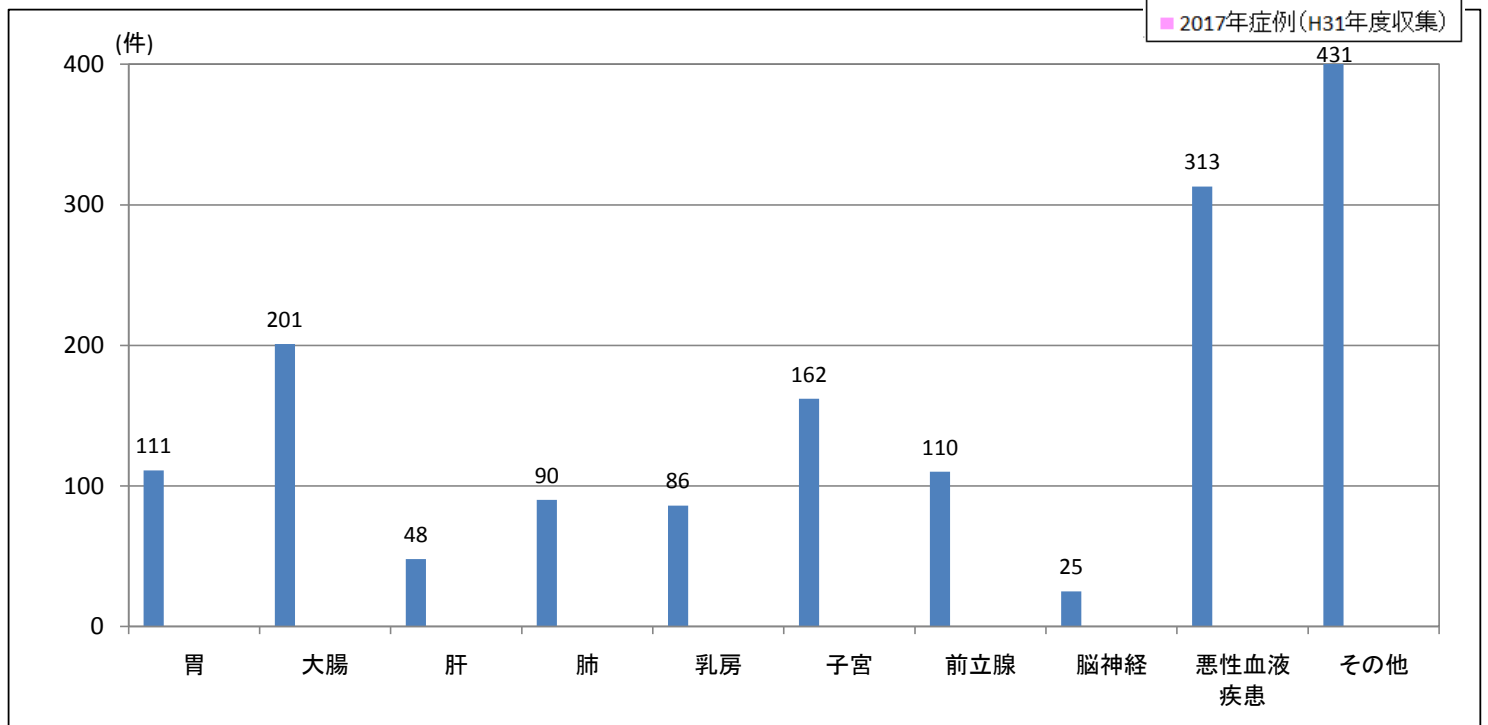
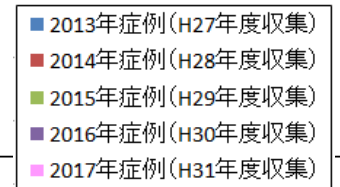
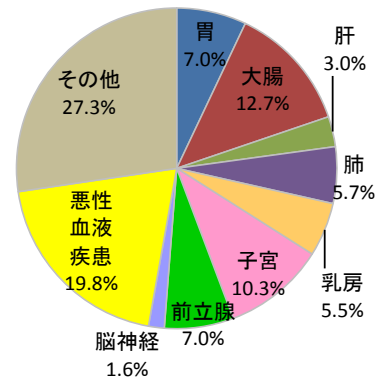
② 診断時年齢分布と平均年齢の推移



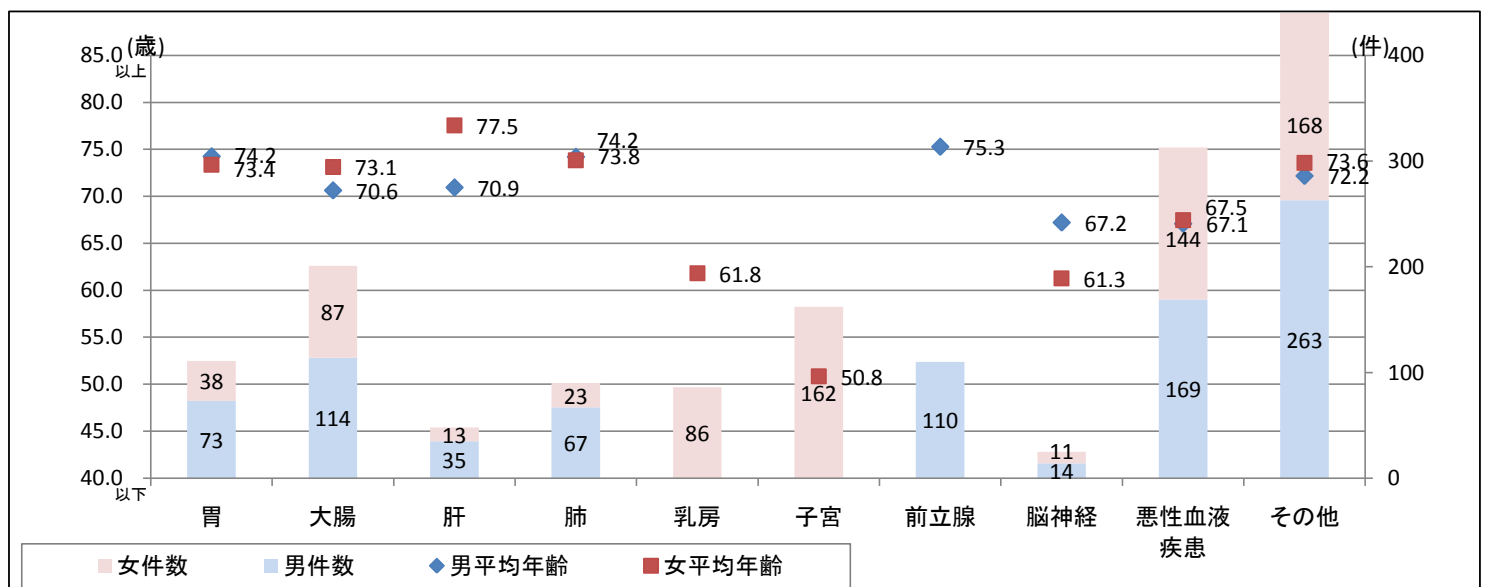
③ 診断年別 主要部位別件数

部位	2013年症例 (H27年度収集)	2014年症例 (H28年度収集)	2015年症例 (H29年度収集)	2016年症例 (H30年度収集)	2017年症例 (H31年度収集)
胃	111				
大腸	201				
肝	48				
肺	90				
乳房	86				
子宮	162				
前立腺	110				
脳神経	25				
悪性血液疾患	313				
その他	431				
計	1,577	0	0	0	0

2013年症例 主要部位別割合



④ 男女別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 主要部位別治療の内訳

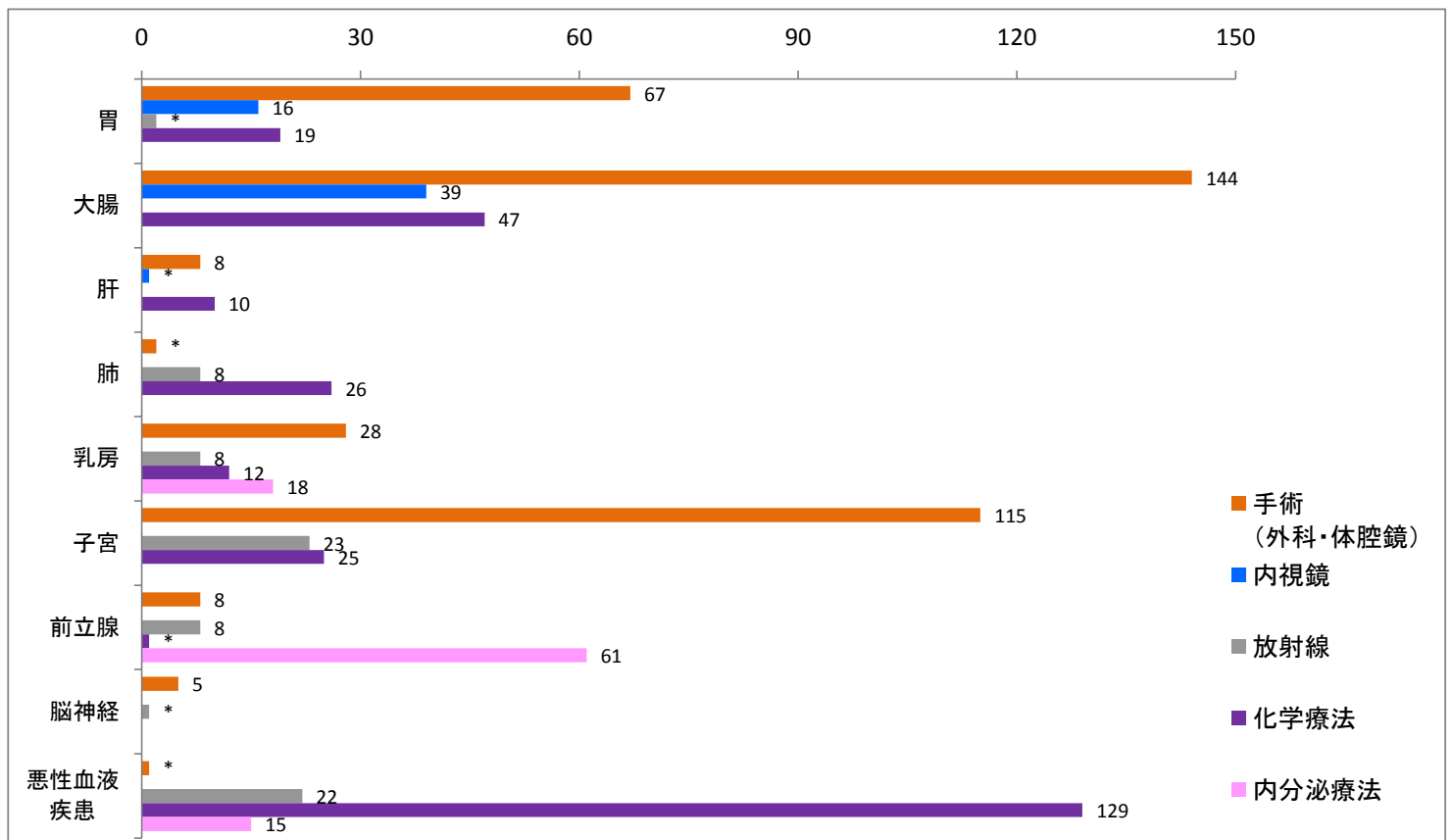


【赤枠部の治療内容を以下に集計】




- ※ 初回治療として当院で施行された治療のみ集計
- ※ 症例区分8(その他)/診断区分2(治療開始後)は除いて集計
- ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
- ※ 手術とは外科的と体腔鏡的治療の計

	(外科・体腔鏡) 手術	内視鏡	放射線	化学療法	内分泌療法	計
胃	67	16	*	19		104
大腸	144	39		47		230
肝	8	*		10		19
肺	*		8	26		36
乳房	28		8	12	18	66
子宮	115		23	25		163
前立腺	8		8	*	61	78
脳神経	5		*			6
悪性血液疾患	*		22	129	15	167
計	378	56	72	269	94	869



熊本県院内がん登録データに係る統計 —2013年診断症例—

医療機関名		熊本市立熊本市民病院
-------	---	------------

○基本情報

【平成25年12月現在】

所在地	熊本市東区湖東1丁目1番60号
病床数	562床
診療科数	32科
がん診療連携拠点病院指定日	2005.01.17
がん登録開始基準日	1981.01.01
平均在院日数	13.3 (日)
入院患者数	10,132 (人)
外来患者延数	204,258 (人)
院内がん登録件数	1,048 (件)
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 2 / 初級者 5 / 他 0 (名)

○医療機関からのコメント

2013年診断症例は1,048件であった。当院では新規の院内がん登録数が毎年約 1,000～1,100件で推移しており、今年は2012年より30件ほど減少している。

部位別で見ると乳がんが376件(35.9%)を占めており、前年の403件(38.5%)と比較して件数としては約30件ほど減少している。次に多い部位が大腸100件(9.5%)、肺66件(6.3%)、前立腺61件(5.8%)となっている。

性別で見ると、男性は385人で70～79歳が一番多く、次いで80～89歳、60～69歳となっており、部位としては前立腺、大腸、肺が多い。女性は663人で、60～69歳が一番多く、次いで70～79歳、50～59歳となっている。部位としては、乳房、子宮、大腸が多くなっている。

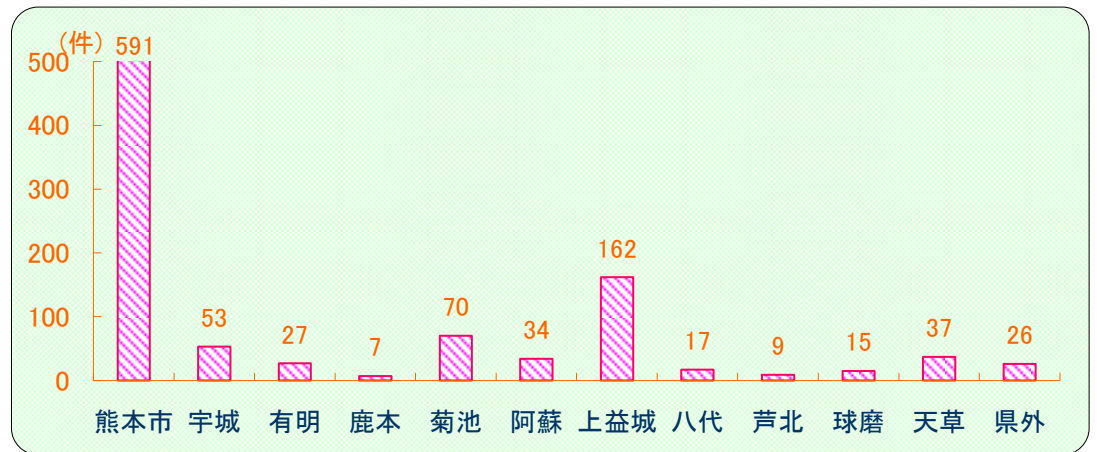
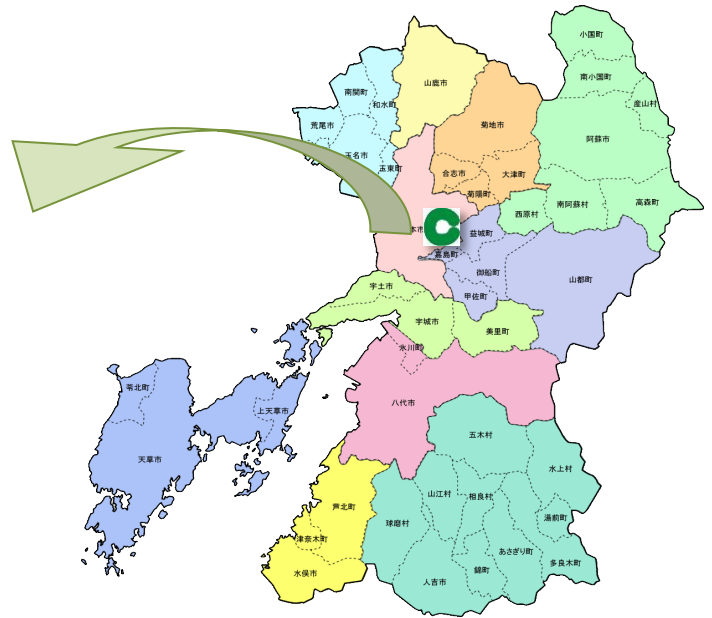
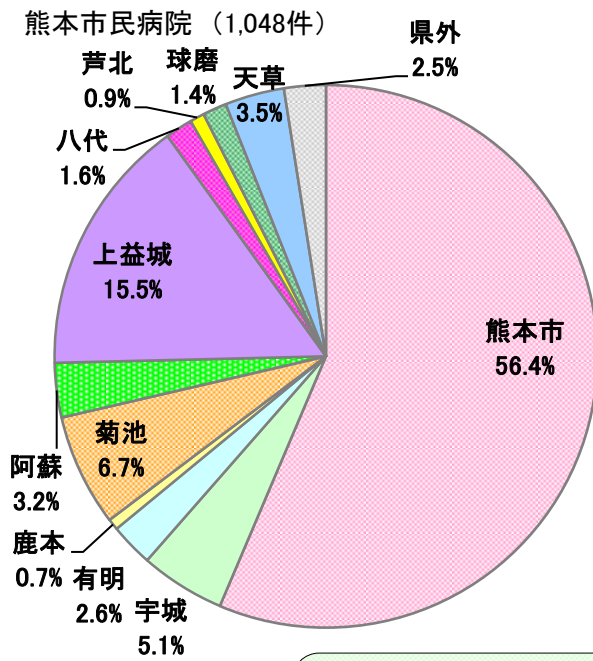
平均年齢で見ると男性が71.8歳、女性が63.5歳となっており、女性の方が低くなっている。当院で症例数の多い乳がんの平均年齢が60.1歳、子宮がんの平均年齢が52.1歳であることが要因であると思われる。また、胃がん、大腸がんに関しては毎年、男性より女性の平均年齢が高い傾向にあり、肺がんに関しては女性に関してみると診断時平均年齢が2010年では77.2歳であったものが徐々に下がり今年は72.8歳と徐々に低くなっている傾向がある。

治療に関してみると当院では外科的治療は乳房、皮膚、大腸の症例数が多く、体腔鏡的治療は大腸、前立腺、胃で増加している。化学療法では大腸、膀胱尿路の症例数が増加した。

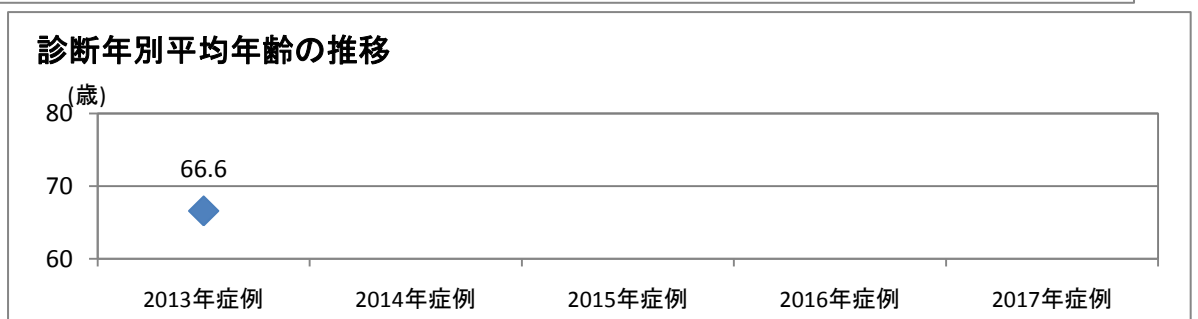
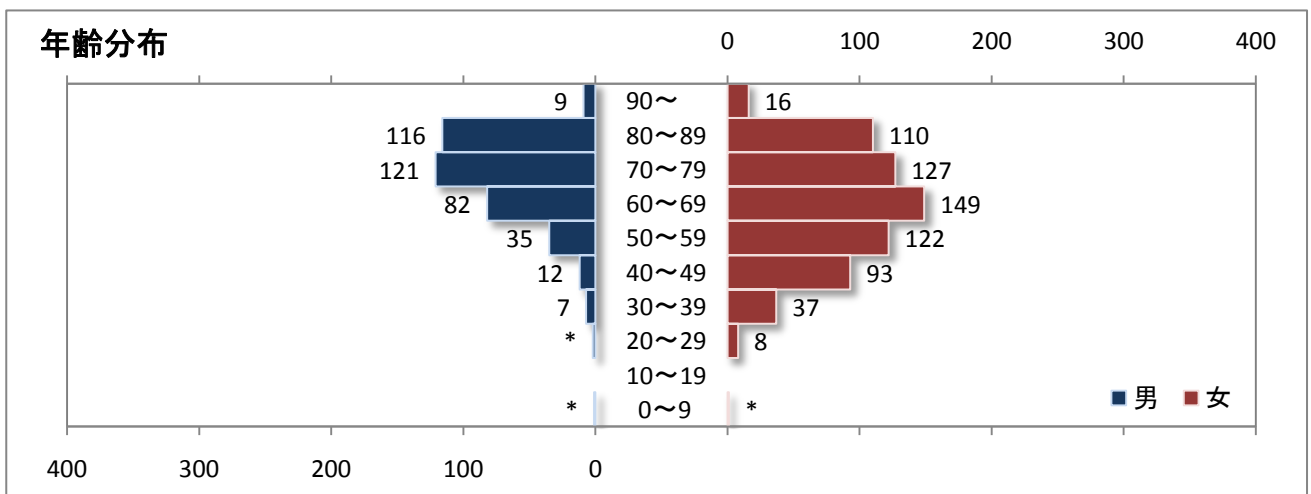
診断時住所については熊本市が最も多く、591件(56.4%)、次いで上益城162件(15.5%)、菊池70件(6.7%)となっている。熊本市は前年に比べると約30件ほど減少しており、上益城で16件増加している。

今後も地域の医療機関との連携を強化し、がん診療におけるチーム医療や診療体制を充実させるとともに、治療後の「私のカルテ」による他施設との連携を推進し、地域がん診療連携拠点病院として貢献していきたいと考える。

① 患者住所医療圏別登録割合と件数



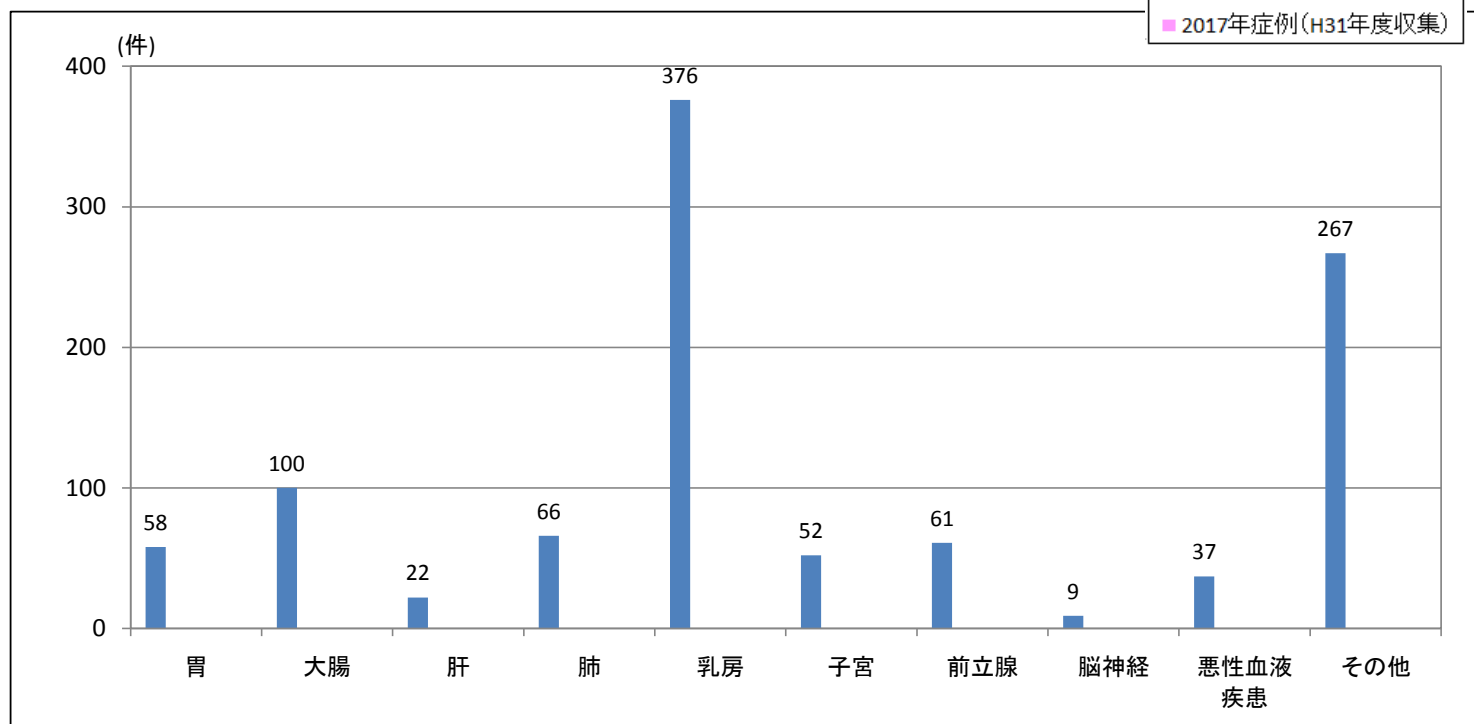
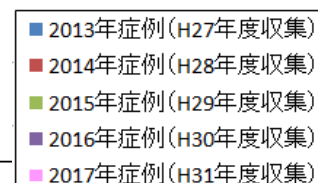
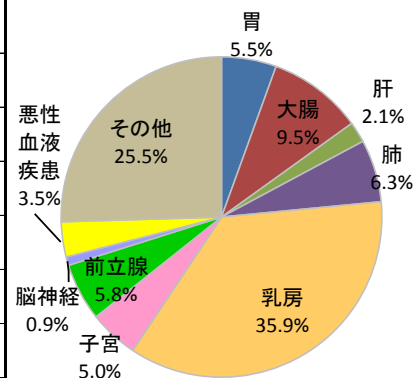
② 診断時年齢分布と平均年齢の推移



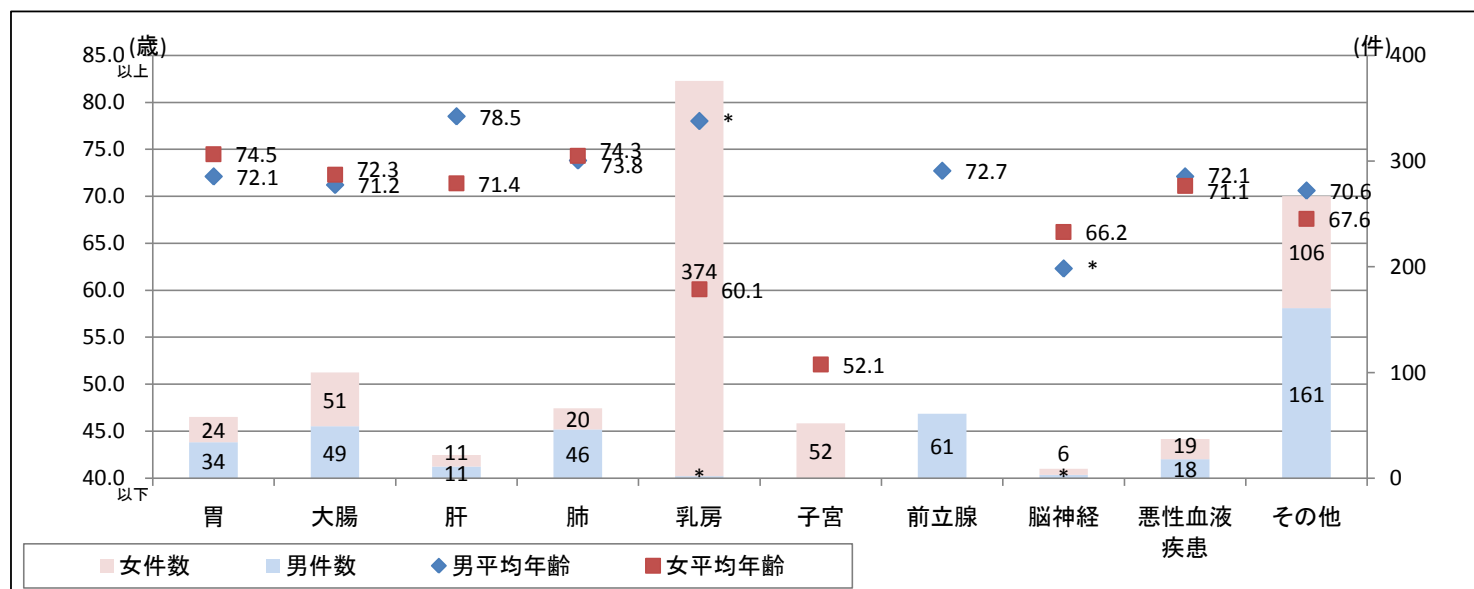
③ 診断年別 主要部位別件数

部位	2013年症例 (H27年度収集)	2014年症例 (H28年度収集)	2015年症例 (H29年度収集)	2016年症例 (H30年度収集)	2017年症例 (H31年度収集)
胃	58				
大腸	100				
肝	22				
肺	66				
乳房	376				
子宮	52				
前立腺	61				
脳神経	9				
悪性血液疾患	37				
その他	267				
計	1,048	0	0	0	0

2013年症例 主要部位別割合



④ 男女別主要部位別件数と平均年齢



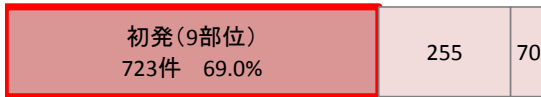
⑤ 主要部位別治療の内訳

■ 初発(9部位)

総計:1,048件

□ 初発(その他)

□ 症例区分8/治療開始後

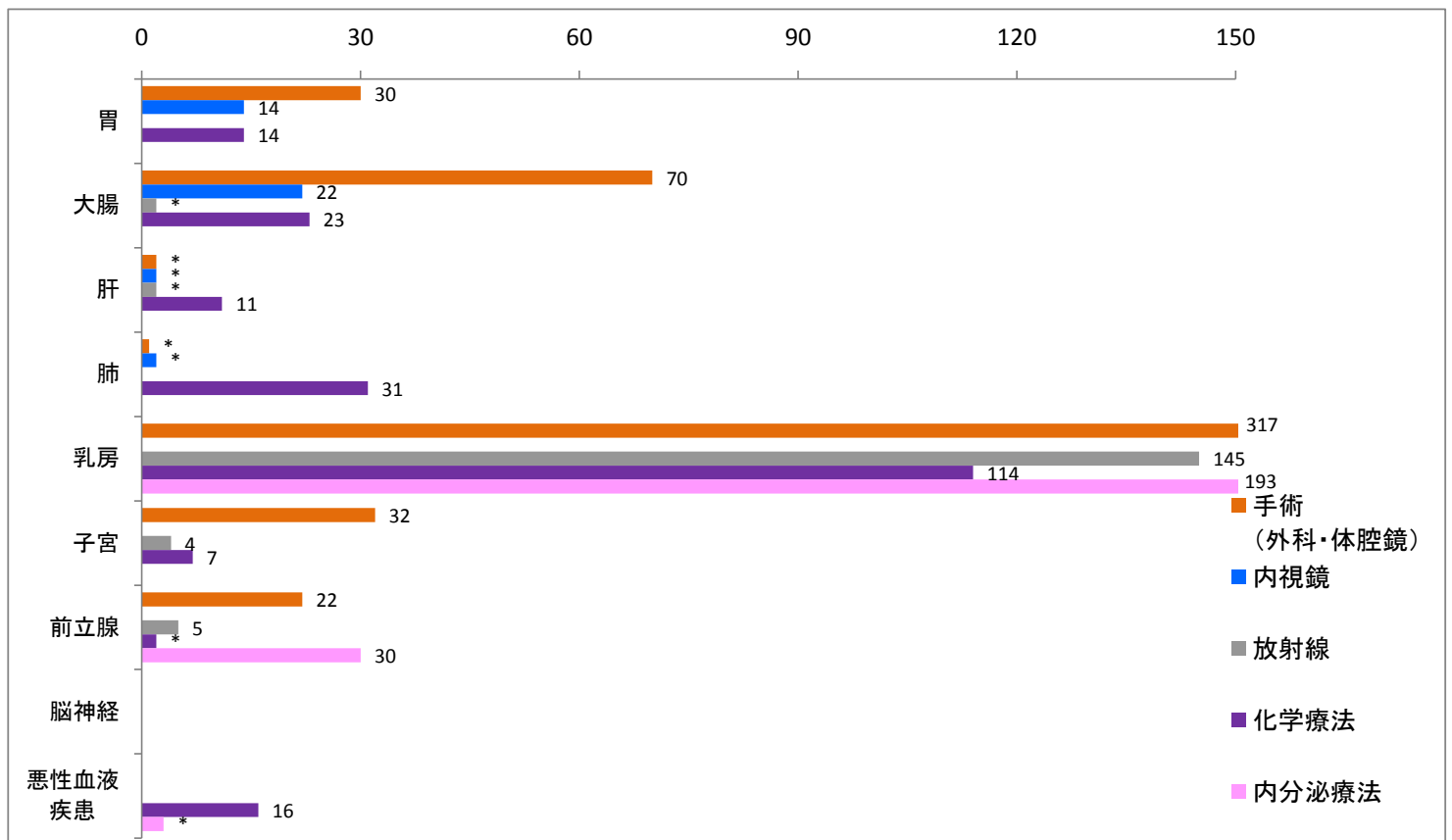


【赤枠部の治療内容を以下に集計】




- ※ 初回治療として当院で施行された治療のみ集計
- ※ 症例区分8(その他)/診断区分2(治療開始後)は除いて集計
- ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
- ※ 手術とは外科的と体腔鏡的治療の計

	(外科・体腔鏡) 手術	内視鏡	放射線	化学療法	内分泌療法	計
胃	30	14		14		58
大腸	70	22	*	23		117
肝	*	*	*	11		17
肺	*	*		31		34
乳房	317		145	114	193	769
子宮	32		4	7		43
前立腺	22		5	*	30	59
脳神経						0
悪性血液疾患				16	*	19
計	474	40	158	218	226	1,116



熊本県院内がん登録データに係る統計 —2013年診断症例—

医療機関名		熊本赤十字病院
-------	---	---------

○基本情報

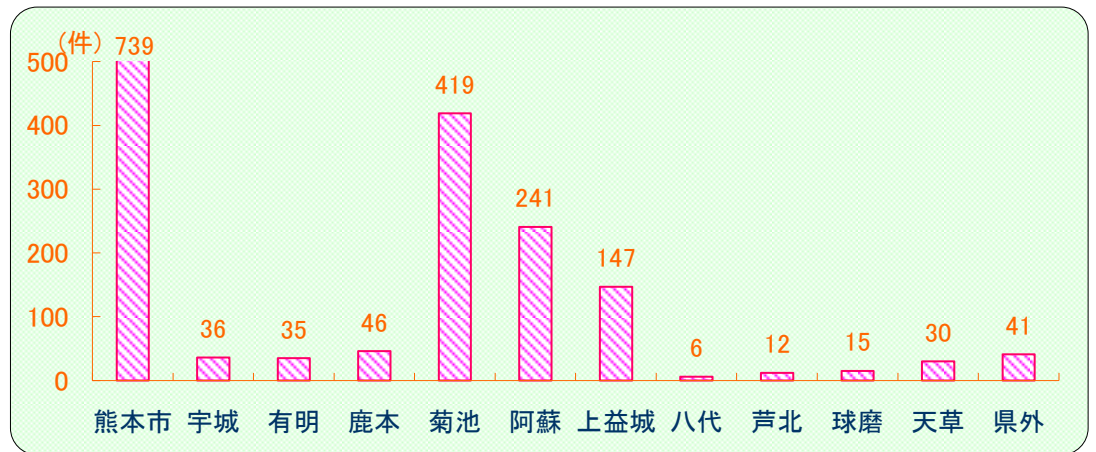
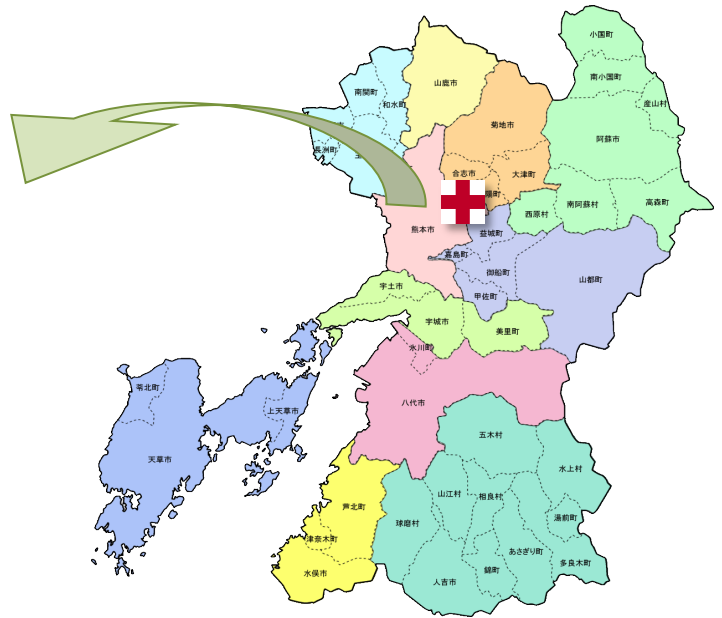
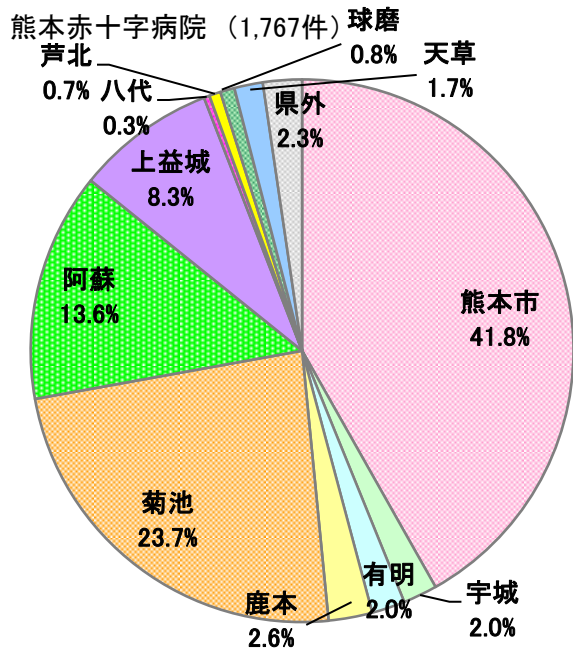
【平成25年12月現在】

所在地	熊本市東区長嶺南二丁目1番1号
病床数	490床
診療科数	28科
がん診療連携拠点病院指定日	2008.02.08
がん登録開始基準日	2007.01.01
平均在院日数	9.8 (日)
入院患者数	17,033 (人)
外来患者延数	301,464 (人)
院内がん登録件数	1,767 (件)
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 1 / 初級者 1 / 他 0 (名)

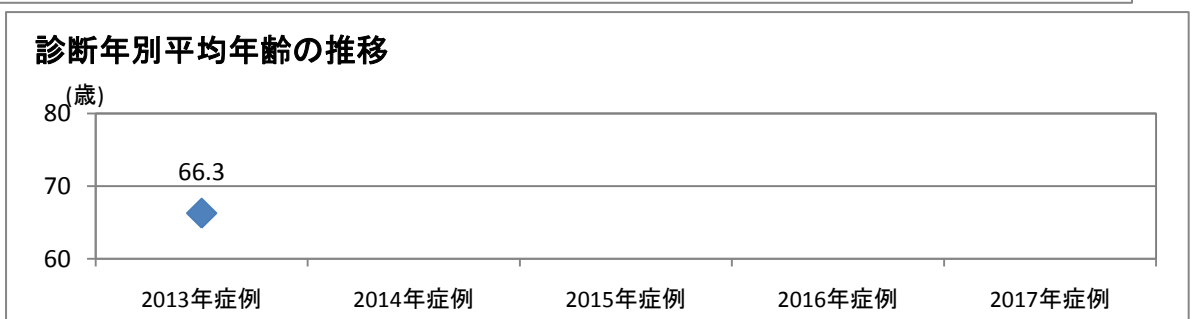
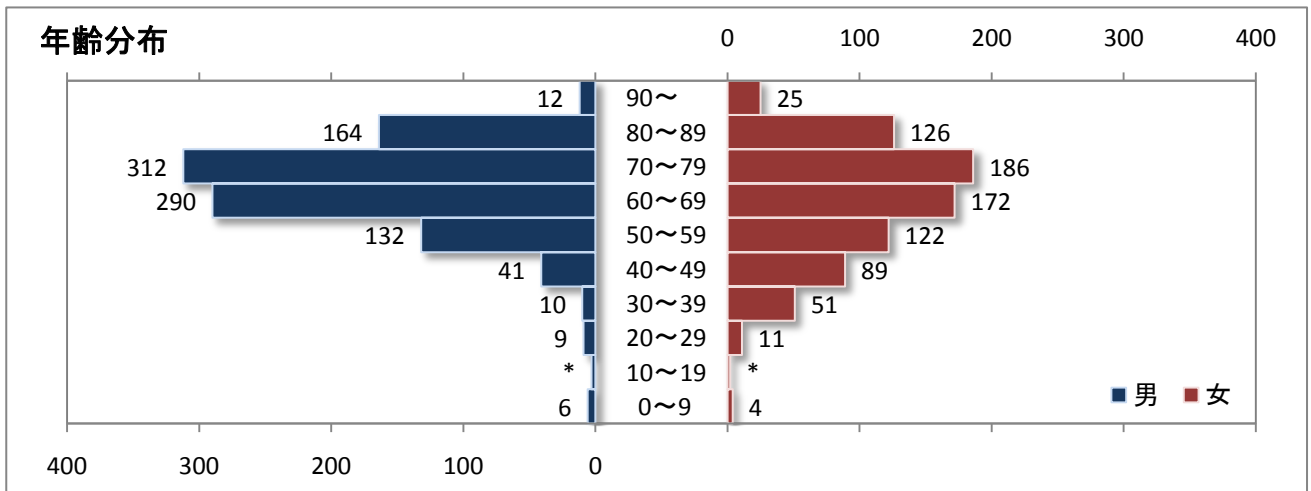
○医療機関からのコメント

<p>【医療圏】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療圏別登録数・・・熊本市41.8% (前年42.7%)、菊池23.7% (前年22.0%)、阿蘇13.6% (前年13.7%) ○担当医療圏である熊本、菊池、阿蘇が約8割を占め、地域がん診療連携拠点病院の役割を果たしていると考えられる。 <p>【件数の推移】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体件数・・・1,464件 (2011年) ⇒ 1,413件 (2012年) ⇒ 1,767件 (2013年) ○前年と比較すると354件増加した。入院患者数・外来患者数も前年より増加しているが、がん登録件数はその増加率を上回っていた。 ・部位別件数・・・『胃』265件 (前年210件)、『大腸』258件 (前年205件)、『乳房』156件 (前年118件) ・部位別件数〈男性〉・・・『胃』179件 (前年134件)、『大腸』158件 (前年122件)、『前立腺』134件 (前年114件) ・部位別件数〈女性〉・・・『乳房』155件 (前年117件)、『子宮』127件 (前年103件)、『大腸』100件 (前年83件) ○各がん種で件数が前年を上回っていた。全体件数のうち、5大がん (胃・大腸・肝臓・乳房・肺) の件数は865件で約半数を占める。 <p>【罹患年齢】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○年齢別の件数では男女共に70代でピークを迎えるが、女性は30代から罹患数が増え始める。平均年齢は66.3歳で、前年 (66.6歳) とほぼ同じであった。また、部位別の平均年齢では『子宮』が48.4歳と全体平均を大きく下回り、反対に『肺』は73.0歳で全体平均を上回っていた。 <p>【治療内容の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○胃では内視鏡治療、大腸・乳房・子宮では手術を積極的に行う。手術、化学療法、放射線治療などそれぞれの専門家がいることにより集学的治療が可能となっている。また、2013年に精神腫瘍科外来を開設し、心理的サポートを行う体制を整備している。
--

① 患者住所医療圏別登録割合と件数



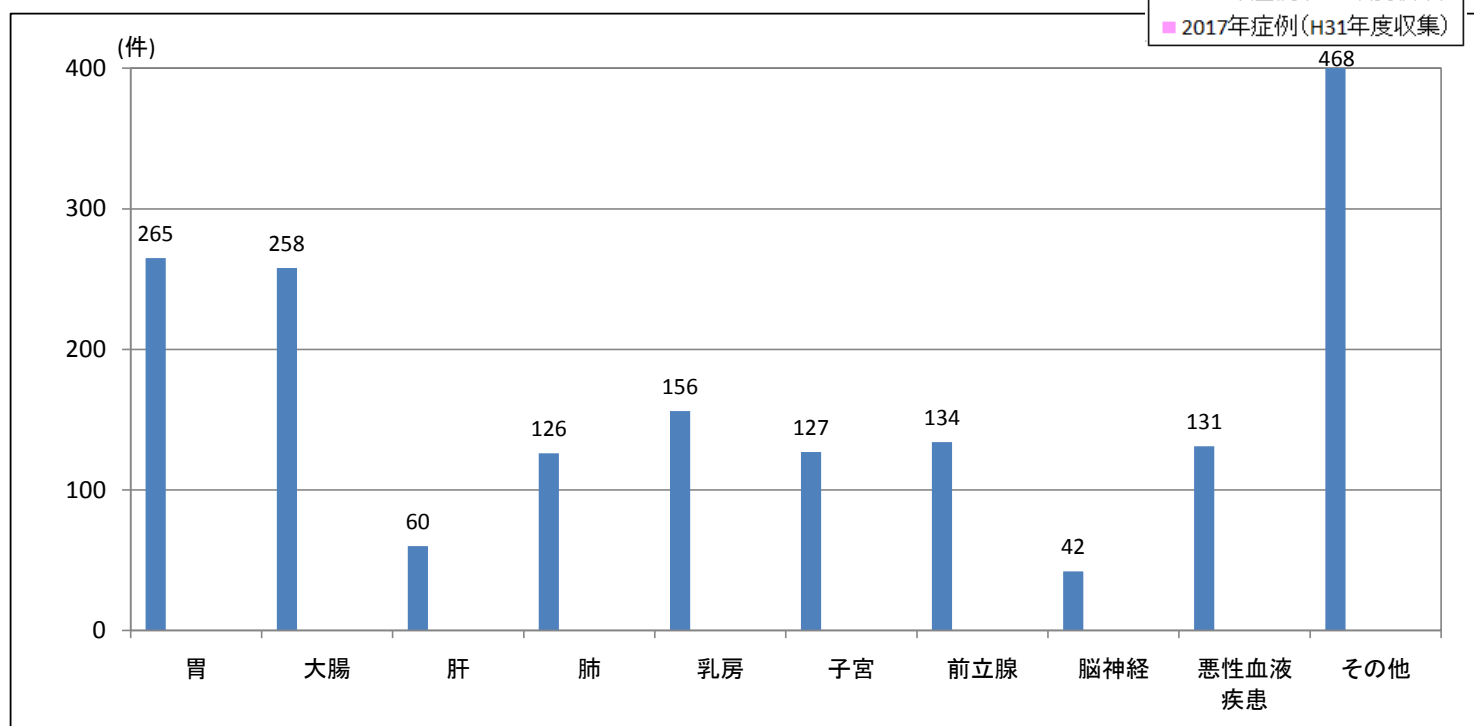
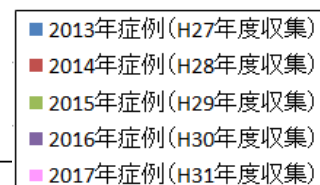
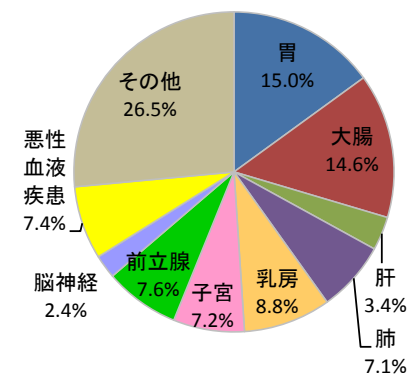
② 診断時年齢分布と平均年齢の推移



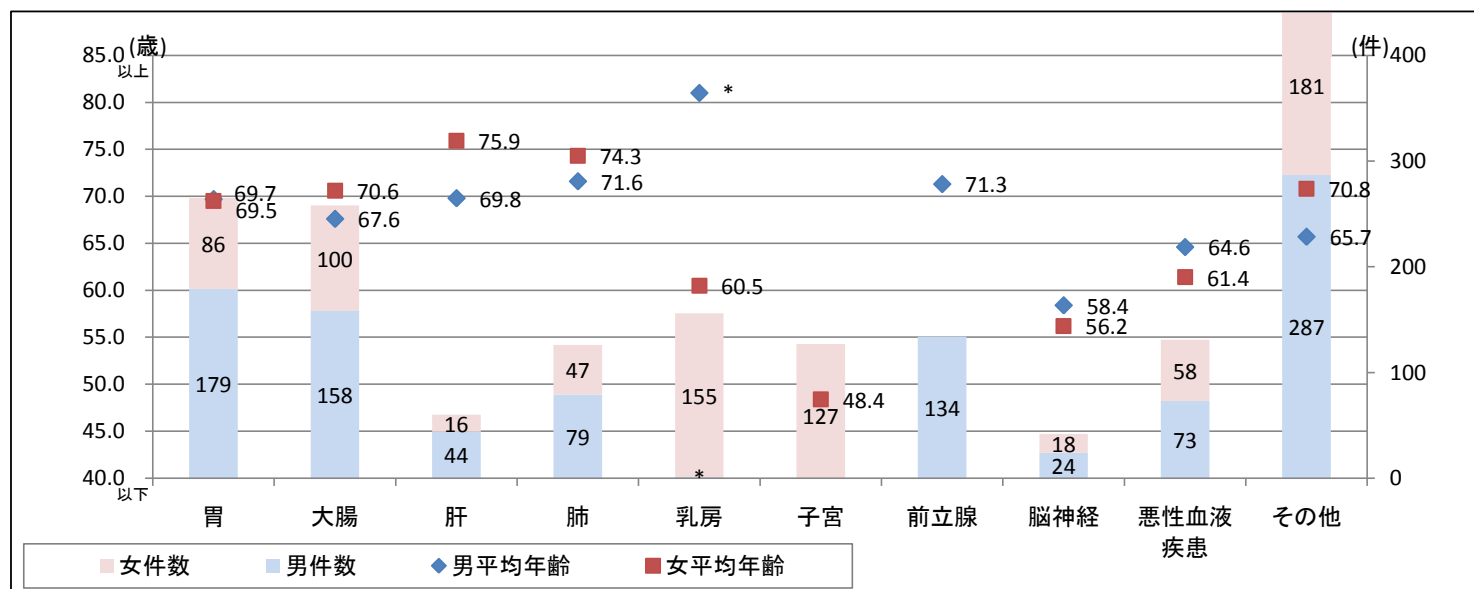
③ 診断年別 主要部位別件数

部位	2013年症例 (H27年度収集)	2014年症例 (H28年度収集)	2015年症例 (H29年度収集)	2016年症例 (H30年度収集)	2017年症例 (H31年度収集)
胃	265				
大腸	258				
肝	60				
肺	126				
乳房	156				
子宮	127				
前立腺	134				
脳神経	42				
悪性血液疾患	131				
その他	468				
計	1,767	0	0	0	0

2013年症例 主要部位別割合



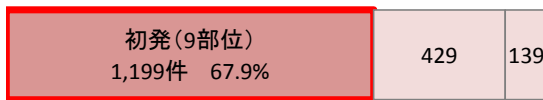
④ 男女別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 主要部位別治療の内訳

- 初発(9部位)
- 初発(その他)
- 症例区分8/治療開始後

総計:1,767件

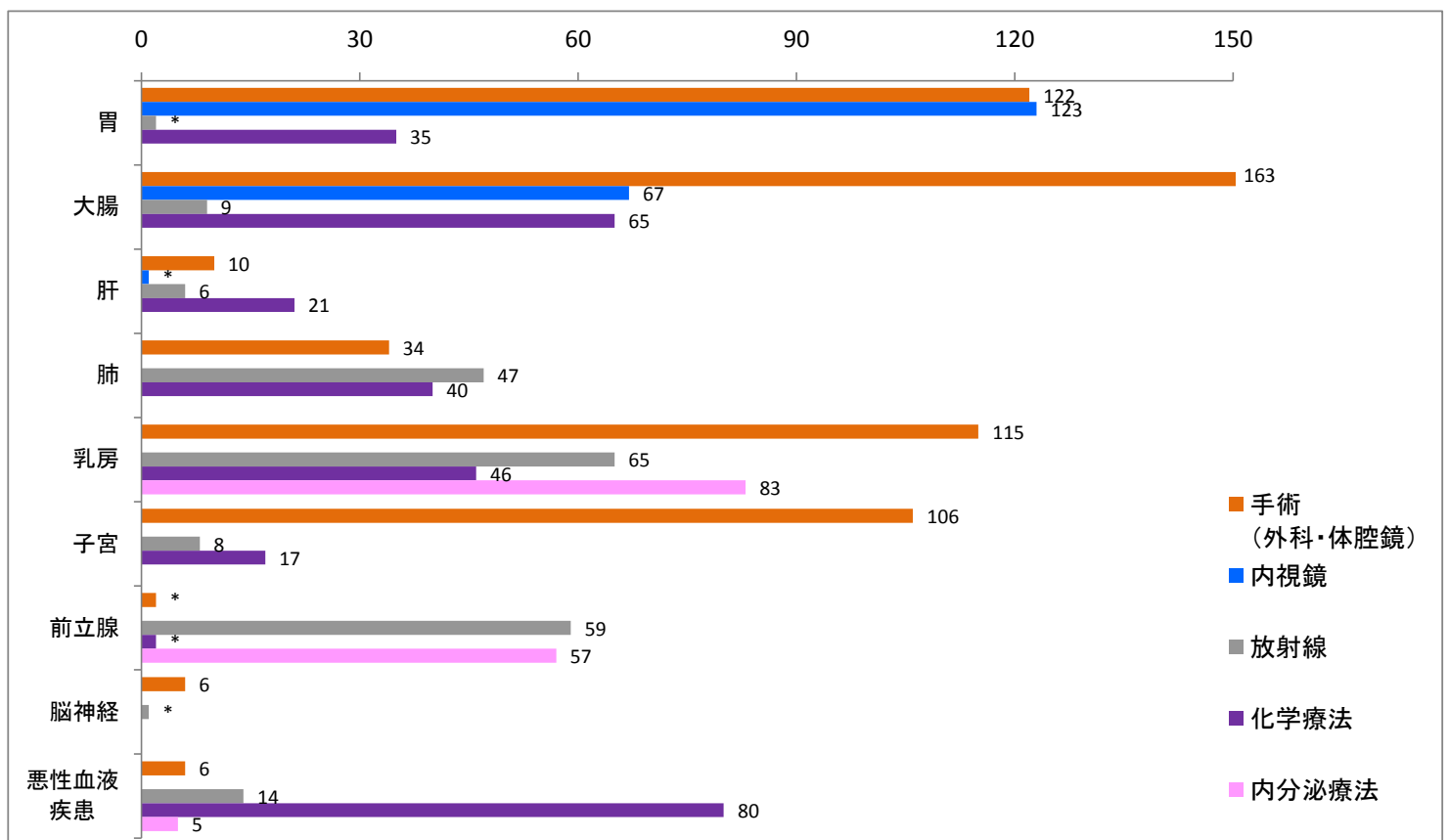


【赤枠部の治療内容を以下に集計】




- ※ 初回治療として当院で施行された治療のみ集計
- ※ 症例区分8(その他)/診断区分2(治療開始後)は除いて集計
- ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
- ※ 手術とは外科的と体腔鏡的治療の計

	(外科・体腔鏡) 手術	内視鏡	放射線	化学療法	内分泌療法	計
胃	122	123	*	35		282
大腸	163	67	9	65		304
肝	10	*	6	21		38
肺	34		47	40		121
乳房	115		65	46	83	309
子宮	106		8	17		131
前立腺	*		59	*	57	120
脳神経	6		*			7
悪性血液疾患	6		14	80	5	105
計	564	191	211	306	145	1,417



熊本県院内がん登録データに係る統計 —2013年診断症例—

医療機関名		独立行政法人労働者健康福祉機構 熊本労災病院
-------	---	---------------------------

○基本情報

【平成25年12月現在】

所在地	八代市竹原町1670
病床数	410床
診療科数	22科
がん診療連携拠点病院指定日	2007.01.31
がん登録開始基準日	2007.01.01
平均在院日数	15.7 (日)
入院患者数	8,531 (人)
外来患者延数	145,785 (人)
院内がん登録件数	584 (件)
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 1 / 初級者 1 / 他 0 (名)

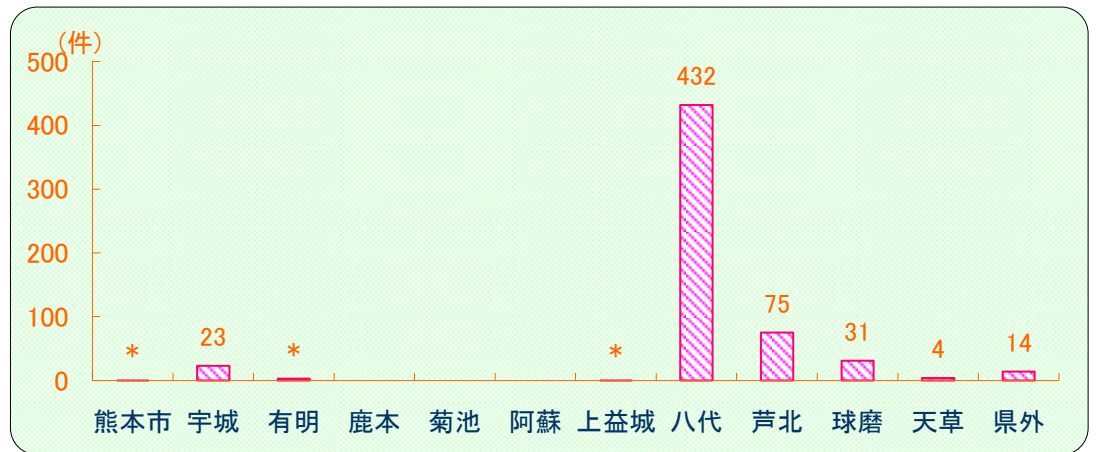
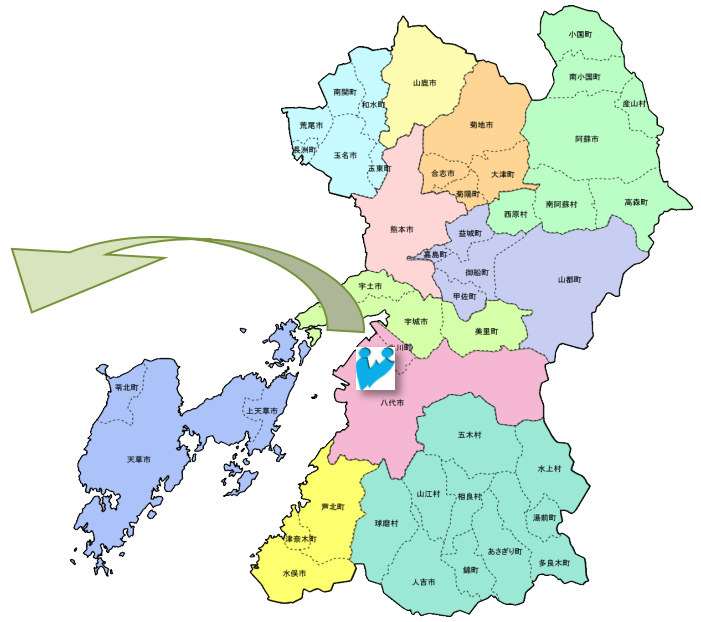
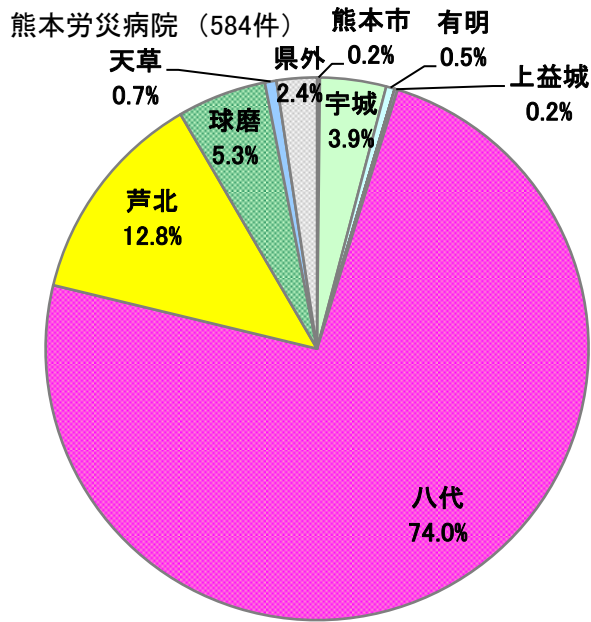
○医療機関からのコメント

- ◇2013年診断症例件数584件(前年比▲35件)
- ◇部位別症例件数(上位5部位)
 - ①肺84件②大腸66件③前立腺66件④子宮52件⑤胃50件
- ◇男女別症例件数
 - 男性329件(56.3%)女性255件(43.7%)
- ◇平均年齢70.9歳(男性72.2歳 女性69.49歳)
- ◇患者住所の割合
 - ①八代74.0%②芦北12.8%③球磨5.3%④宇城3.9%

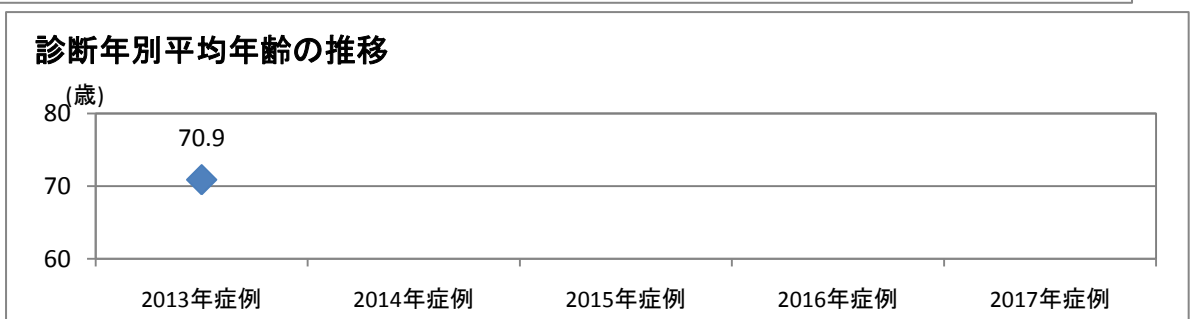
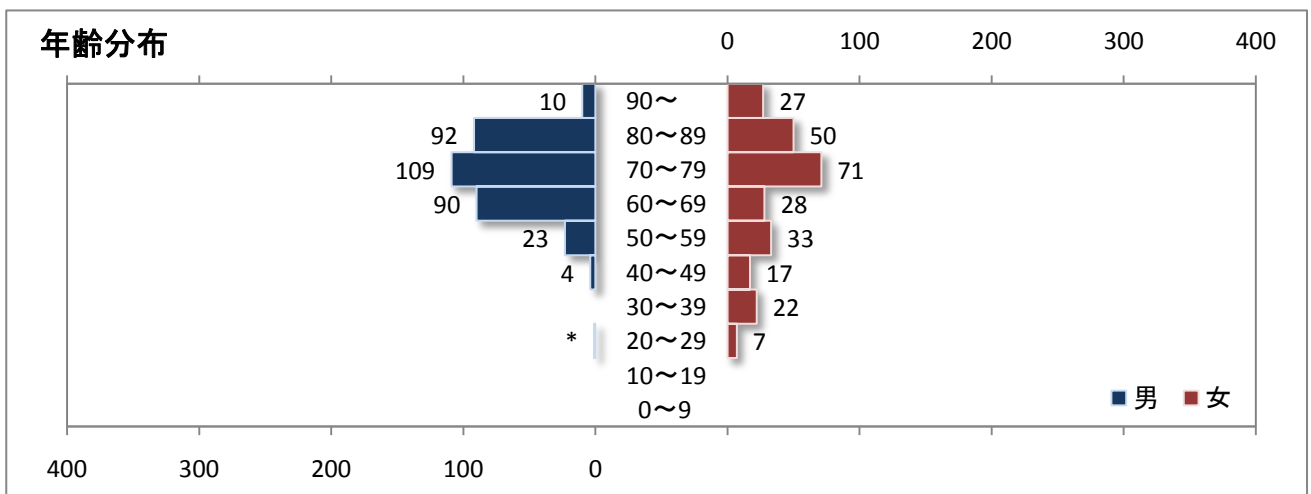
- ・部位別症例数は前年より、大腸が▲28件で大幅に減少した。
- ・男女別主要部位別件数は、肝・肺では男性、脳神経は女性の割合が多い。
- ・登録患者の平均年齢は70.9歳で、全国平均67.4歳を上回っており、例年同様の傾向にある。

八代地域医療圏からの紹介が多く、「私のカルテ」による連携、治療初期段階からの必要に応じた相談支援「がんサロン」の開催、緩和ケアの実施など、地域医療の質の充実を推進している。

① 患者住所医療圏別登録割合と件数



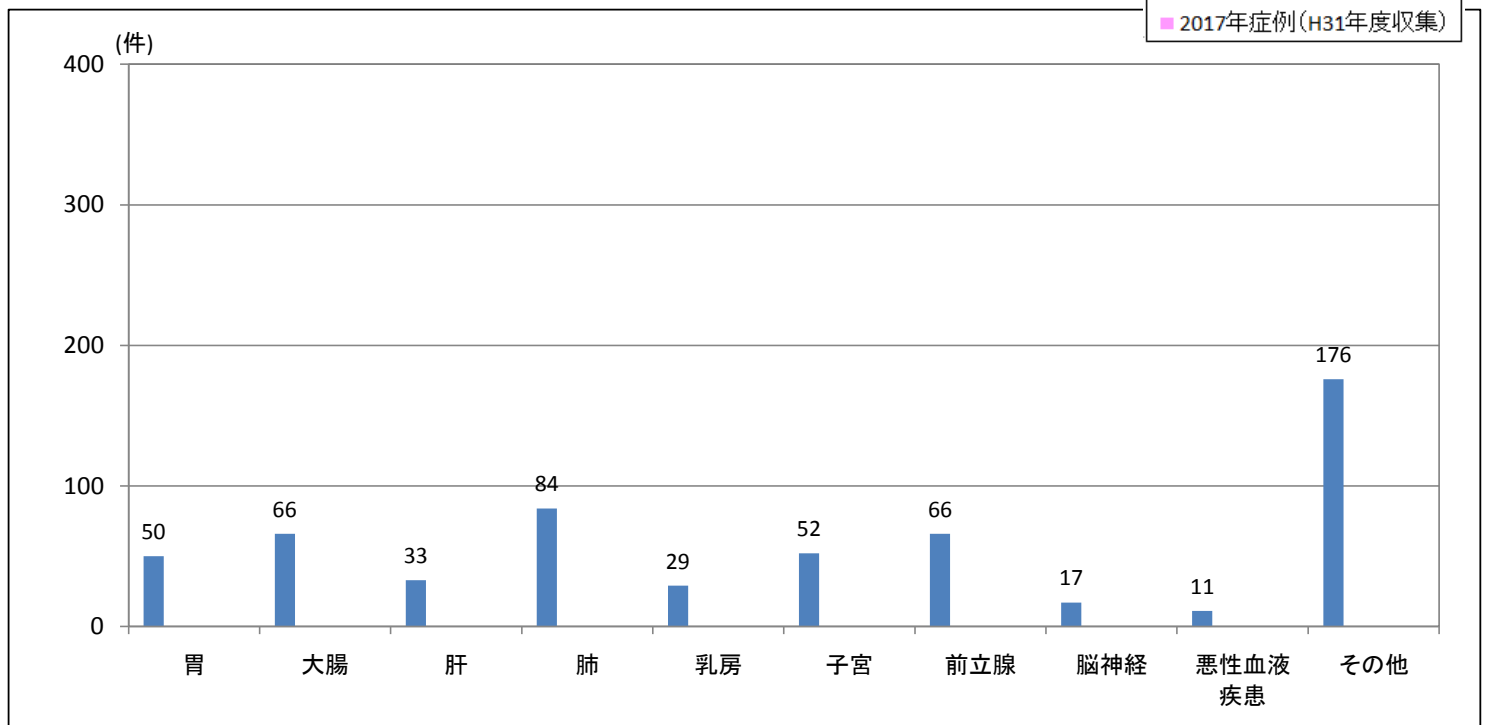
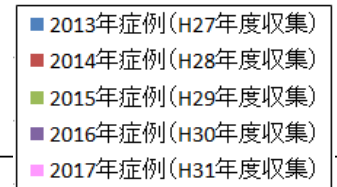
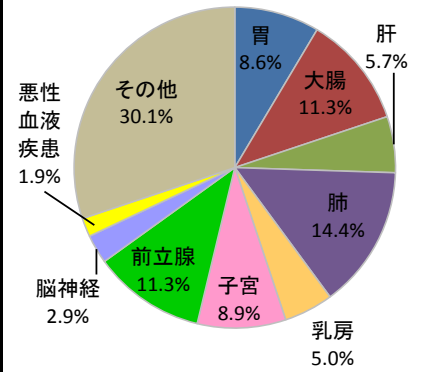
② 診断時年齢分布と平均年齢の推移



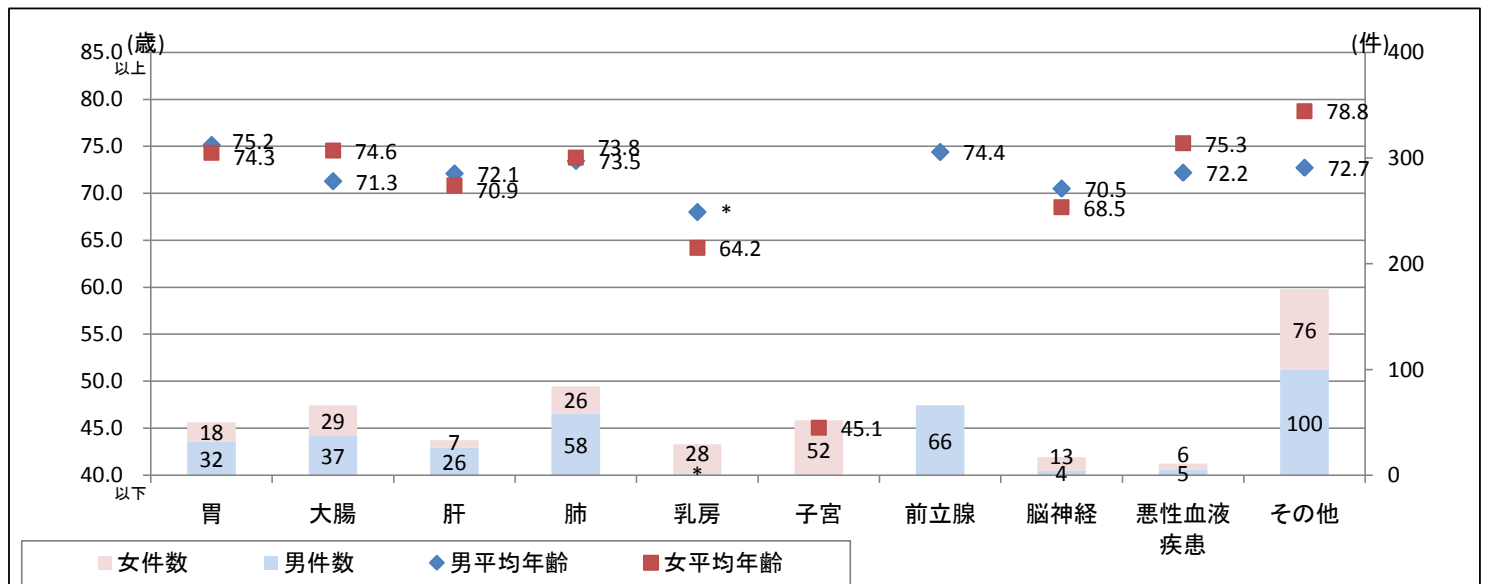
③ 診断年別 主要部位別件数

部位	2013年症例 (H27年度収集)	2014年症例 (H28年度収集)	2015年症例 (H29年度収集)	2016年症例 (H30年度収集)	2017年症例 (H31年度収集)
胃	50				
大腸	66				
肝	33				
肺	84				
乳房	29				
子宮	52				
前立腺	66				
脳神経	17				
悪性血液疾患	11				
その他	176				
計	584	0	0	0	0

2013年症例 主要部位別割合



④ 男女別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 主要部位別治療の内訳

- 初発(9部位)
- 初発(その他)
- 症例区分8/治療開始後

総計:584件

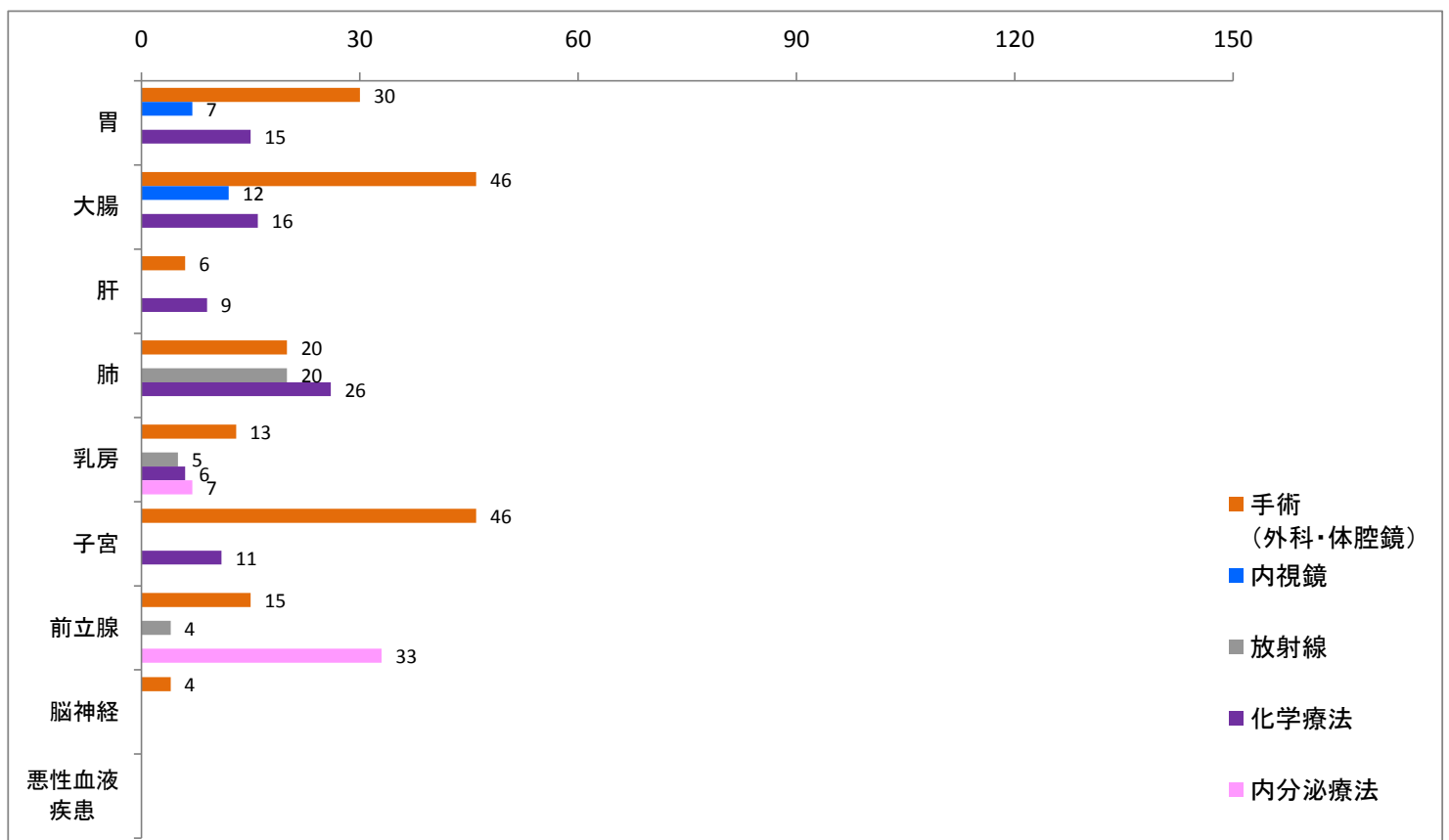
初発(9部位) 390件 66.8%	126	68
-----------------------	-----	----

【赤枠部の治療内容を以下に集計】




- ※ 初回治療として当院で施行された治療のみ集計
- ※ 症例区分8(その他)/診断区分2(治療開始後)は除いて集計
- ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
- ※ 手術とは外科的と体腔鏡的治療の計

	(外科・体腔鏡) 手術	内視鏡	放射線	化学療法	内分泌療法	計
胃	30	7		15		52
大腸	46	12		16		74
肝	6			9		15
肺	20		20	26		66
乳房	13		5	6	7	31
子宮	46			11		57
前立腺	15		4		33	52
脳神経	4					4
悪性血液疾患						0
計	180	19	29	83	40	351



熊本県院内がん登録データに係る統計 —2013年診断症例—

医療機関名		社会福祉法人恩賜財団済生会熊本病院
-------	---	-------------------

○基本情報

【平成25年12月現在】

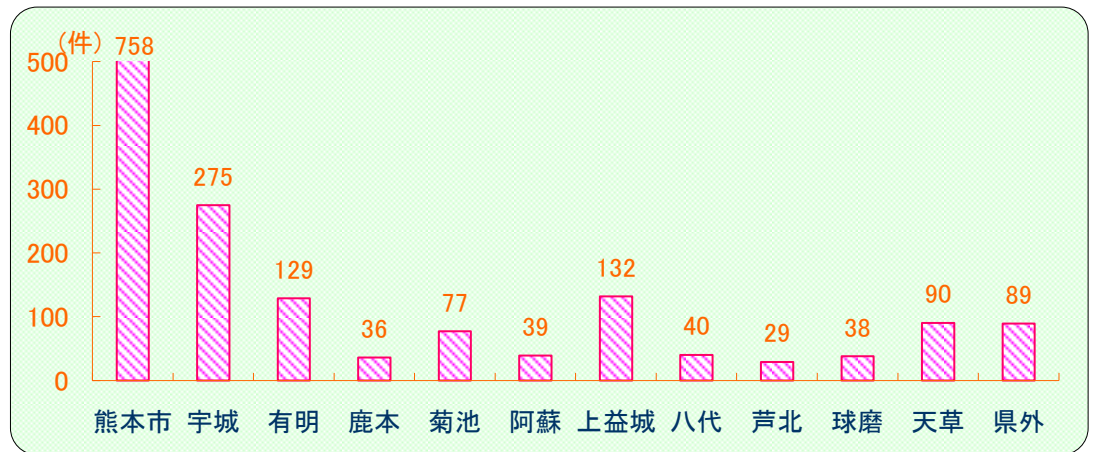
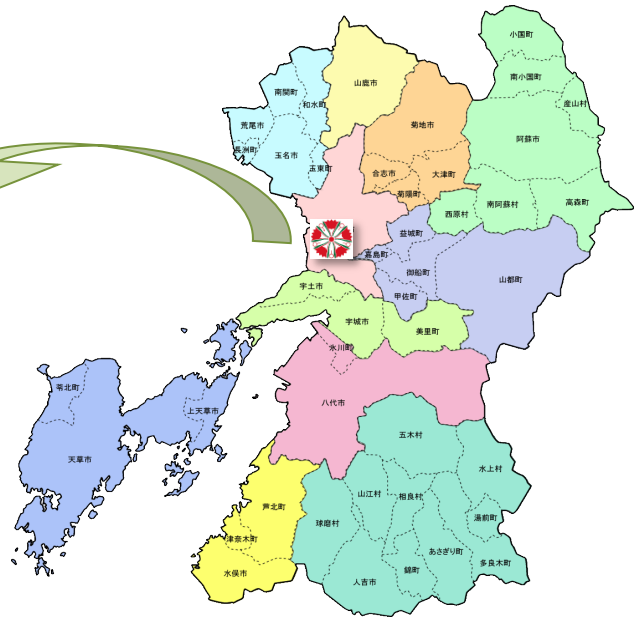
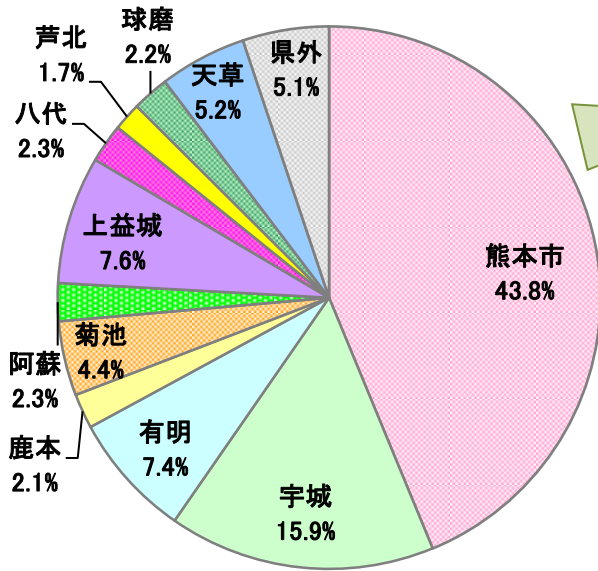
所在地	熊本市南区近見5丁目3番1号
病床数	400床
診療科数	19科
がん診療連携拠点病院指定日	2008.02.08
がん登録開始基準日	2007.01.01
平均在院日数	8.7 (日)
入院患者数	15,679 (人)
外来患者延数	148,319 (人)
院内がん登録件数	1,732 (件)
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 2 / 初級者 2 / 他 0 (名)

○医療機関からのコメント

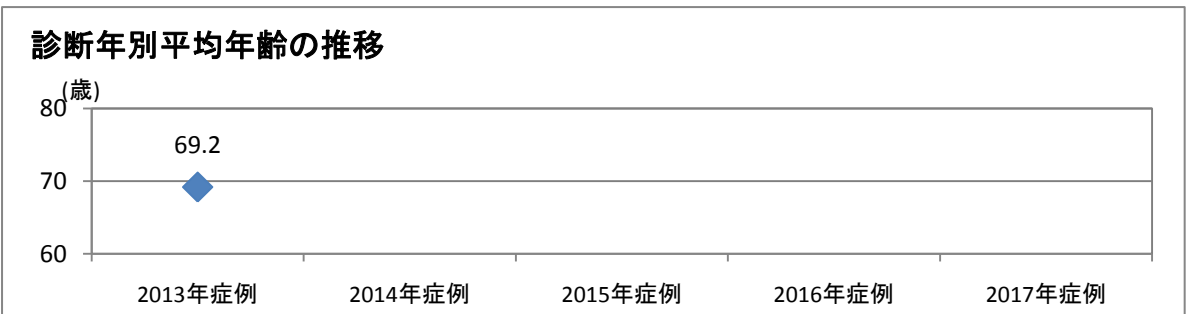
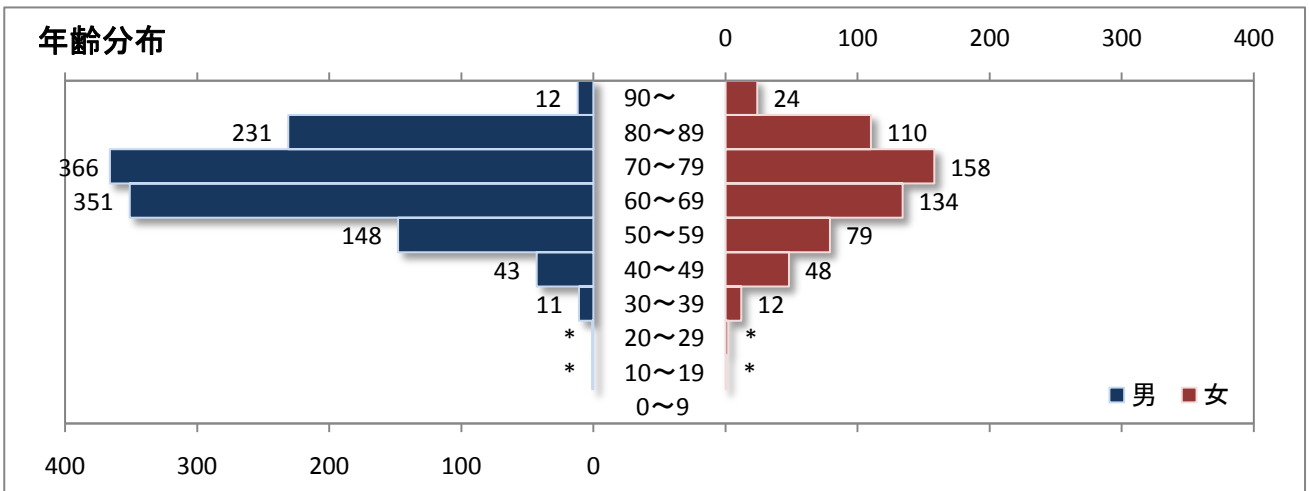
【登録件数】		
2013年症例の登録件数は1,732件であり、前年(2012年症例:1,655件)と比較すると約80件増加しており、がん登録実務者が増員されたことも影響していると考えられる。		
【担当医療圏・担当医療圏における患者住所の割合】		
熊本・宇城 59.7% (前年より2.5%増)		
【年齢】		
平均年齢:69.2歳		
男性平均:69.6歳(前年より+1歳) 女性平均:68.4歳(前年より-1歳)		
【病期分類の割合】		
胃 (334件)	Stage I 71.9% StageIV 11.0%	StageII 7.5% その他 5.1%
大腸 (275件)	Stage I 6.9% StageIII 12.0%	Stage I 29.1% StageIV 14.5% その他 30.9%
前立腺 (241件)	Stage I 46.1% StageIV 10.4%	Stage II 31.5% その他 3.7%
肺 (222件)	Stage I 42.8% StageIV 27.0%	Stage II 9.9% その他 5.9% Stage III 14.4%
肝 (102件)	Stage I 38.2% StageIV 19.6%	Stage II 20.6% その他 9.8% Stage III 11.8%
<p>原発部位における5大がんの割合は56.3%で全体の約半数を占めており、前年よりも胃の件数が約40件増加している。また5大がん以外では前立腺が最も多い。2013年3月から手術支援ロボットda Vinciが導入され、身体的な負担が小さく入院日数の短縮にも繋がる為、前立腺の件数が今後も増加すると思われる。また、外来がん治療センターを併設しており、化学療法や放射線治療(トモセラピー等)も積極的に行っている。男女比率では、男性の罹患率が女性の約2倍であり、胃・前立腺の件数が伸びていることが関係していると思われる。</p>		

① 患者住所医療圏別登録割合と件数

済生会熊本病院 (1,732件)



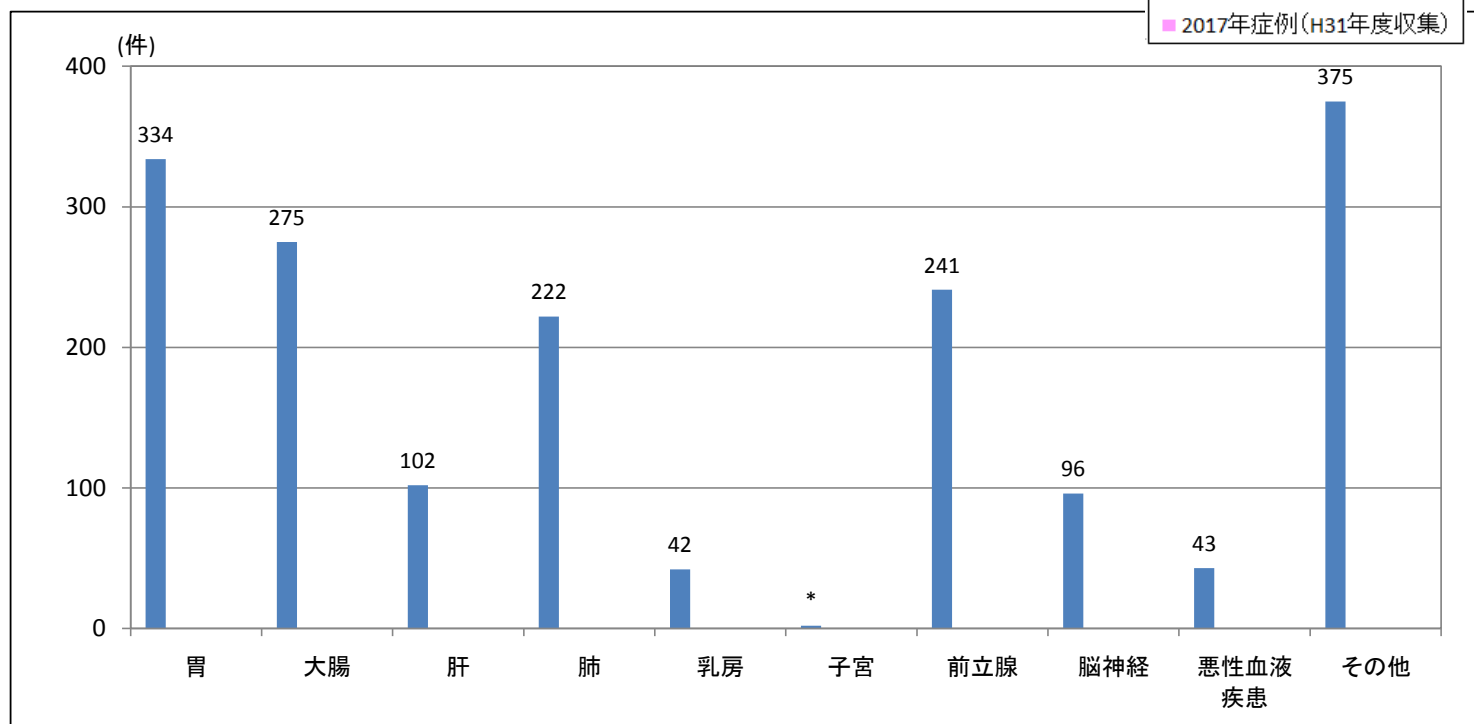
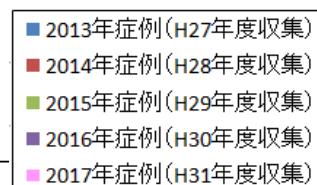
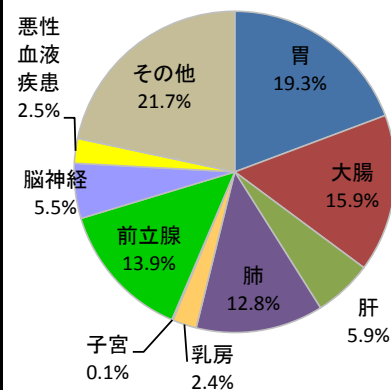
② 診断時年齢分布と平均年齢の推移



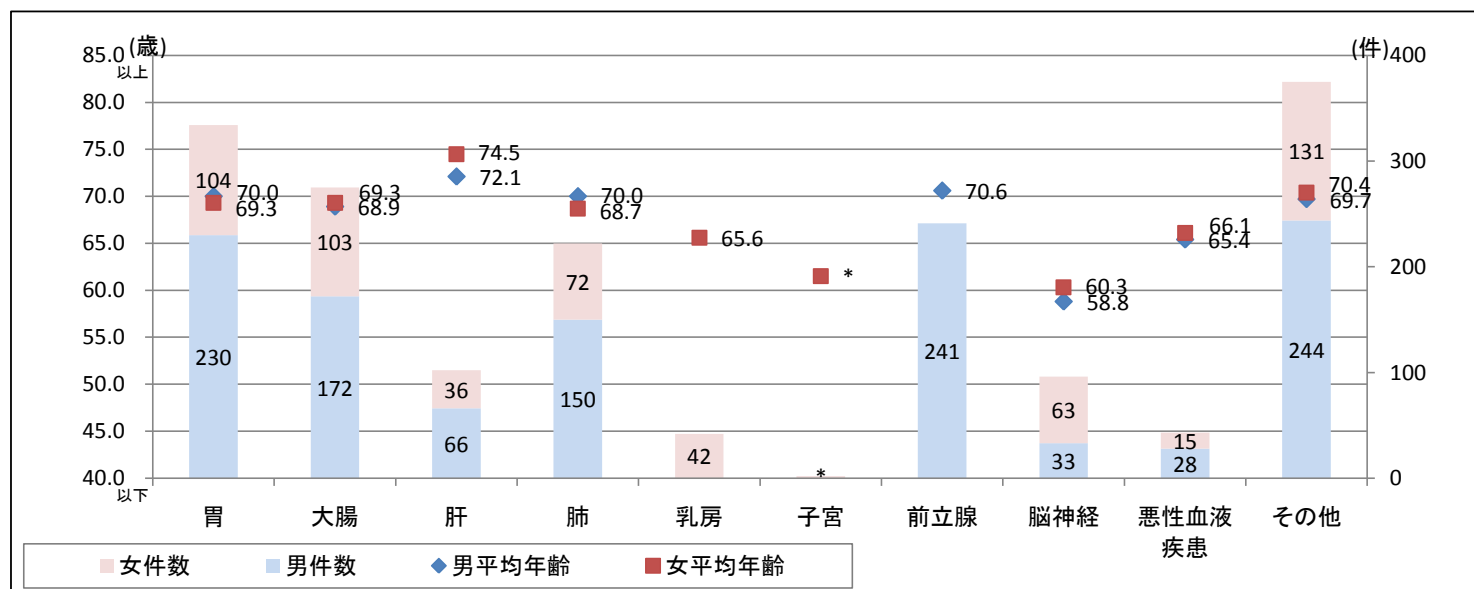
③ 診断年別 主要部位別件数

部位	2013年症例 (H27年度収集)	2014年症例 (H28年度収集)	2015年症例 (H29年度収集)	2016年症例 (H30年度収集)	2017年症例 (H31年度収集)
胃	334				
大腸	275				
肝	102				
肺	222				
乳房	42				
子宮	*				
前立腺	241				
脳神経	96				
悪性血液疾患	43				
その他	375				
計	1,732	0	0	0	0

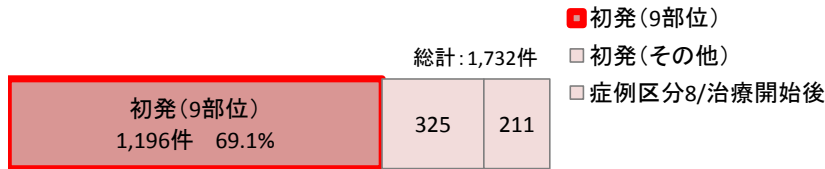
2013年症例 主要部位別割合



④ 男女別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 主要部位別治療の内訳

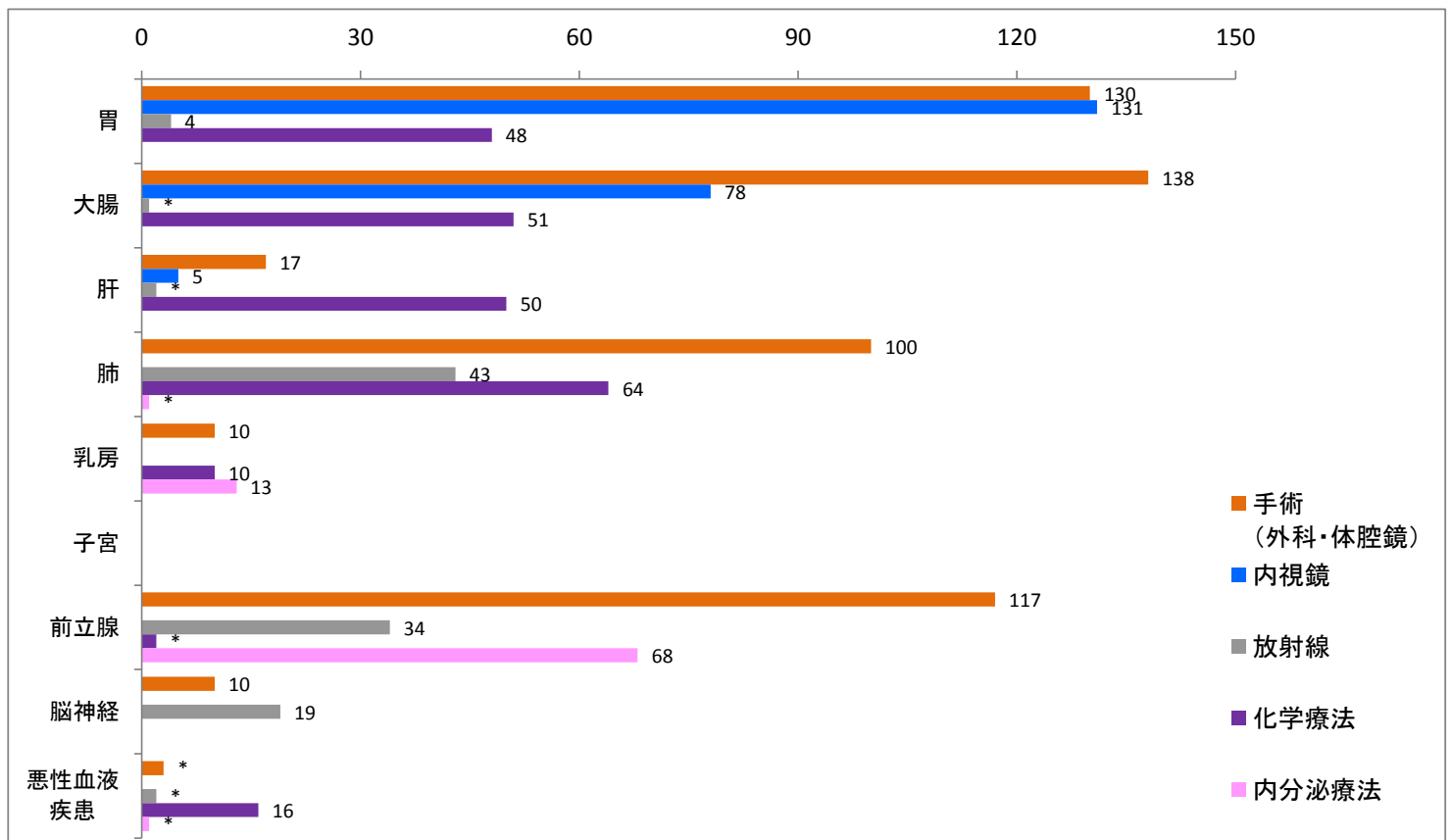


【赤枠部の治療内容を以下に集計】




- ※ 初回治療として当院で施行された治療のみ集計
- ※ 症例区分8(その他)/診断区分2(治療開始後)は除いて集計
- ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
- ※ 手術とは外科的と体腔鏡的治療の計

	(外科・体腔鏡) 手術	内視鏡	放射線	化学療法	内分泌療法	計
胃	130	131	4	48		313
大腸	138	78	*	51		268
肝	17	5	*	50		74
肺	100		43	64	*	208
乳房	10			10	13	33
子宮						0
前立腺	117		34	*	68	221
脳神経	10		19			29
悪性血液疾患	*		*	16	*	22
計	525	214	105	241	83	1,168



熊本県院内がん登録データに係る統計 —2013年診断症例—

医療機関名		健康保険人吉総合病院 (現 JCHO人吉医療センター)
-------	---	--------------------------------

○基本情報

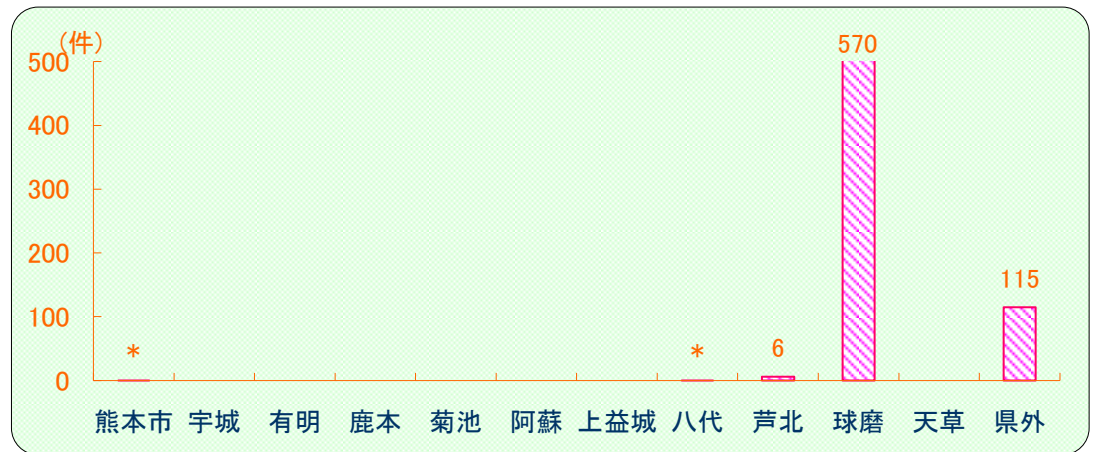
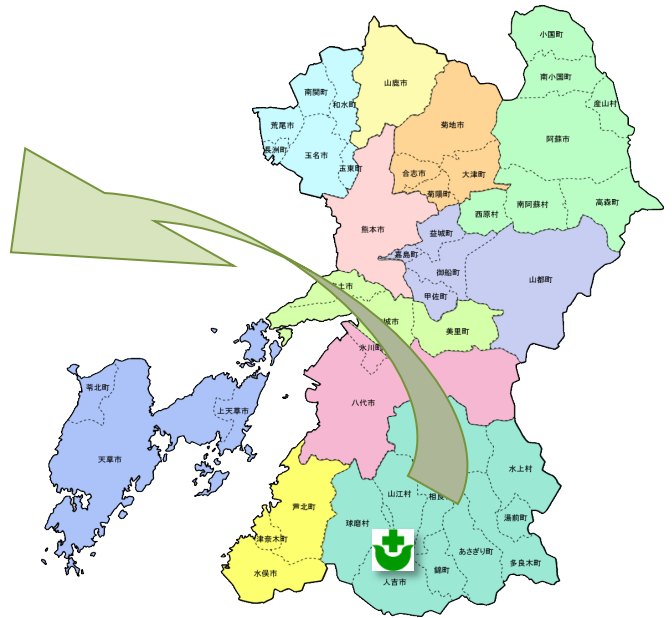
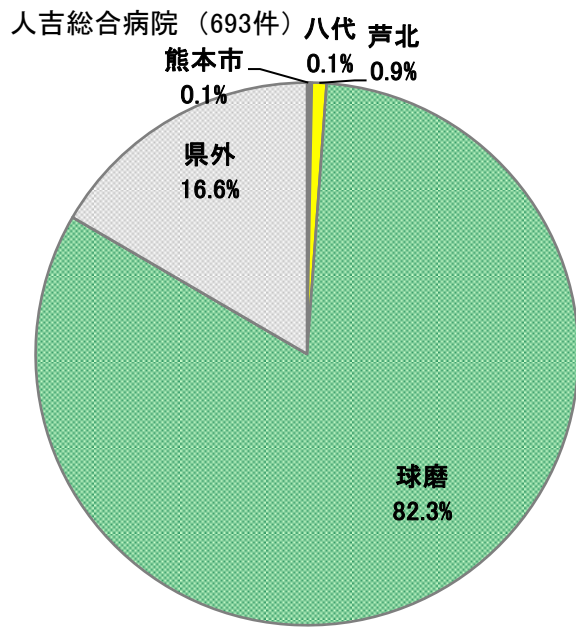
【平成25年12月現在】

所在地	人吉市老神町35番地
病床数	237床
診療科数	27科
がん診療連携拠点病院指定日	2007.01.31
がん登録開始基準日	2006.10.01
平均在院日数	11.5 (日)
入院患者数	5,229 (人)
外来患者延数	68,893 (人)
院内がん登録件数	693 (件)
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 1 / 初級者 1 / 他 0 (名)

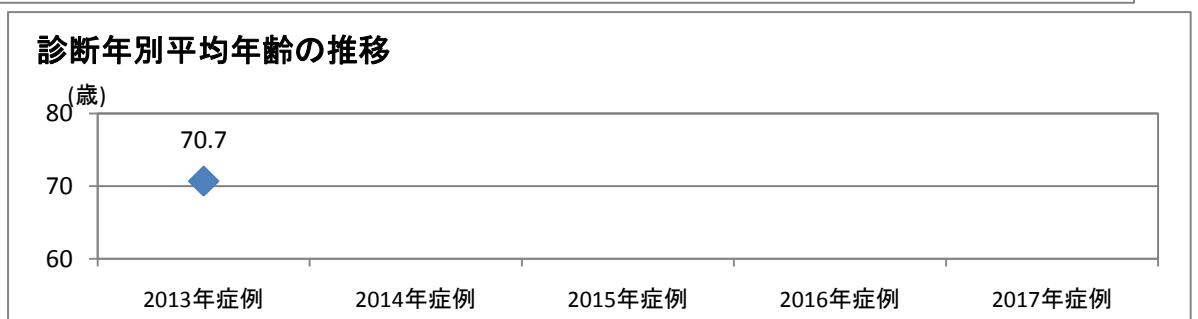
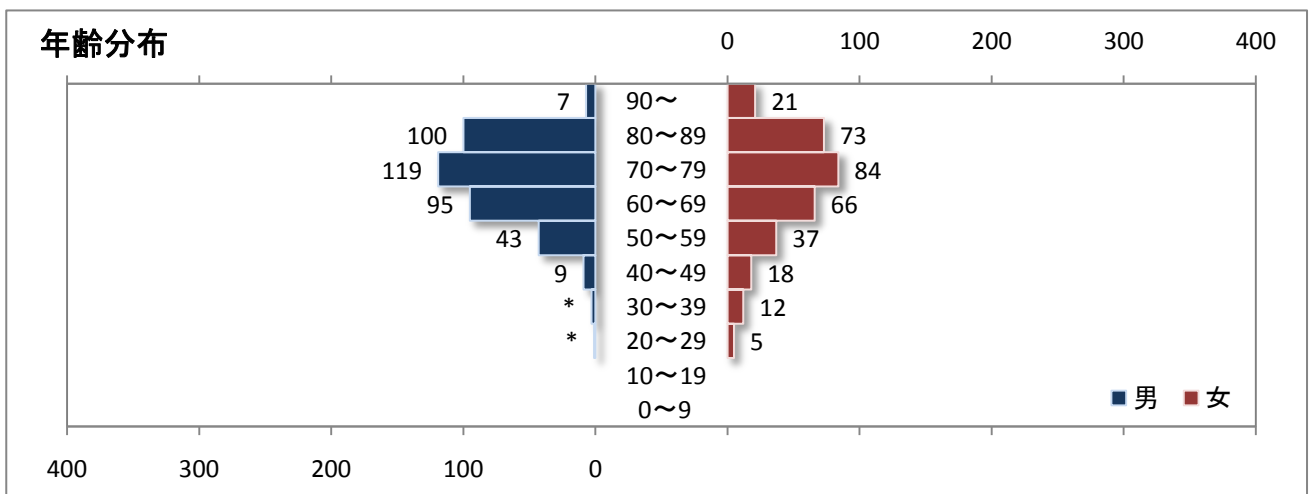
○医療機関からのコメント

【全登録数】2013年の全登録数は693件であった。前年比は-2.9%となったが、登録開始後2番目多い結果となった。【性別】男性が377件、女性が316件で、男女比は1.19となった。前年は1.26で、若干女性の割合が増加した。これまで、女性特有のがん以外で、女性の割合が大きい部位は内分泌であったが、今回初めて、悪性血液疾患に於いて女性が男性を上回った。【地域】担当診療圏の割合は82.3%であった。担当診療圏外のうち県内は8.1%、県外は16.6%であった。県外では、当院所在地(人吉市)と隣接している宮崎県えびの市と鹿児島県伊佐市が多くを占めていた。【年齢】今回も前年同様、最も多かったのは70代であった。近年の傾向として、やはり高齢化に伴う65歳以上の登録数の増加が目立つ。その中でも、特に80代が増加傾向にあった。65歳未満では、2010年以降、210件前後とあまり変化がみられない。【部位】登録数上位5部位は、大腸、肺、胃、悪性血液疾患、乳腺の順で、1位の大腸は2011年から3年間変わっていない。5大がんの1つ肝臓は、2009年から減少傾向にある。また、5大がんの占める割合では、前年が49.8%と50%を割り、今回は更に46.6%と低下していた。近年、子宮や前立腺の登録数が増えており、その影響が考えられる。増加率が最も高かった部位は、胆嚢・胆管であった。【5大がんのStageと初回治療】[胃]cStageでは、1期が全体の70%を占め、その治療は内視鏡治療が最も多く、次いで外科手術となっていた。次に多いIV期では、主に化学療法が行われていた。pStageに於いても、I期が70%以上を占めていた。[大腸]cStageでは「不明」が最も多かった。これは、内視鏡治療の結果、「がん」と診断された症例で、pStageはほとんど0期となっていた。次に多かったのはI期で、腹腔鏡手術が多く行われていた。[肝]cステージ別では僅かにI期が多かったが、他はあまり差がみられなかった。治療は、前回同様TA(C)Eが多かった。[肺]これまでと同様、最も多かったのはIV期で、次いでI期であった。全国集計でも同じ傾向がみられる。I期に於いては1例を除き全て胸腔鏡下手術が行われ、IV期では化学療法が前年と比べ増加していた。[乳腺]cStage・pStageとも0・I期の早期がんの割合が約65%を占めた。治療の約80%は、手術・薬物療法・放射線療法の組み合わせで行われていた。

① 患者住所医療圏別登録割合と件数



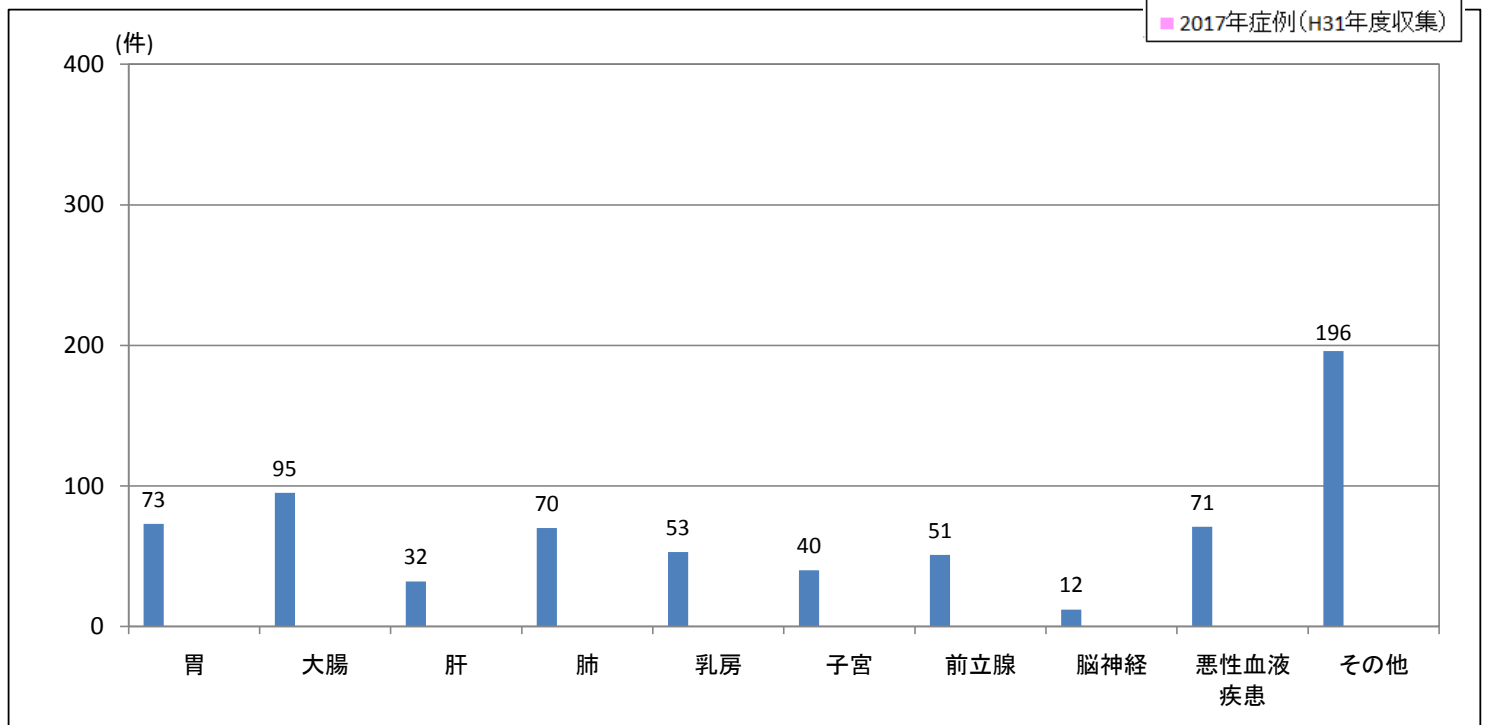
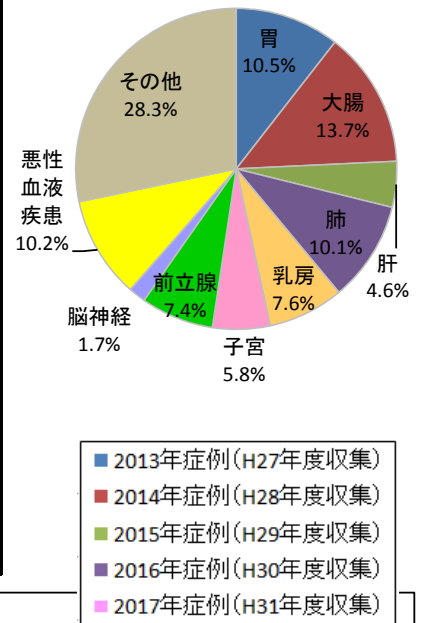
② 診断時年齢分布と平均年齢の推移



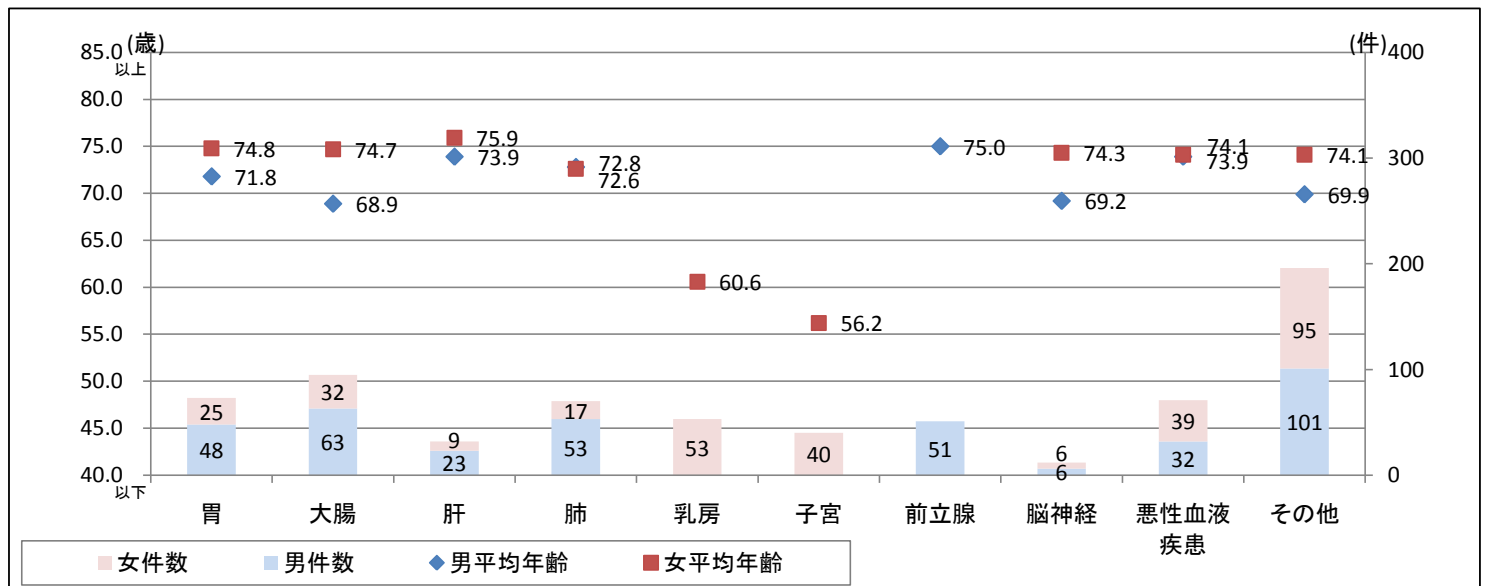
③ 診断年別 主要部位別件数

部位	2013年症例 (H27年度収集)	2014年症例 (H28年度収集)	2015年症例 (H29年度収集)	2016年症例 (H30年度収集)	2017年症例 (H31年度収集)
胃	73				
大腸	95				
肝	32				
肺	70				
乳房	53				
子宮	40				
前立腺	51				
脳神経	12				
悪性血液疾患	71				
その他	196				
計	693	0	0	0	0

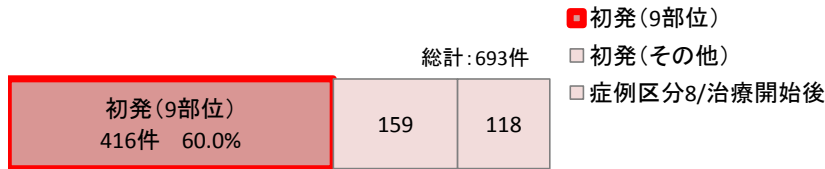
2013年症例 主要部位別割合



④ 男女別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 主要部位別治療の内訳

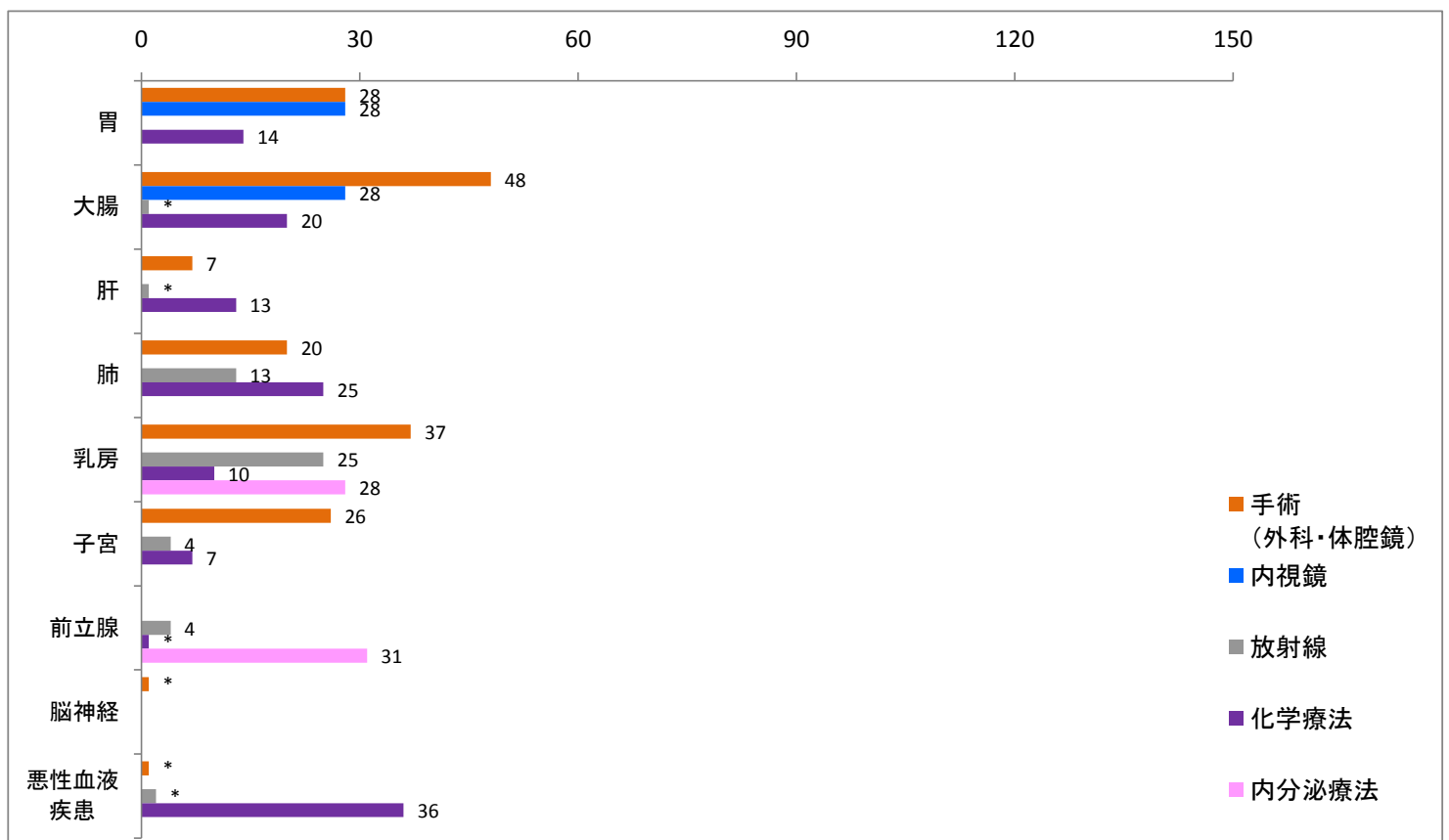


【赤枠部の治療内容を以下に集計】



- ※ 初回治療として当院で施行された治療のみ集計
- ※ 症例区分8(その他)/診断区分2(治療開始後)は除いて集計
- ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
- ※ 手術とは外科的と体腔鏡的治療の計

	(外科・体腔鏡) 手術	内視鏡	放射線	化学療法	内分泌療法	計
胃	28	28		14		70
大腸	48	28	*	20		97
肝	7		*	13		21
肺	20		13	25		58
乳房	37		25	10	28	100
子宮	26		4	7		37
前立腺			4	*	31	36
脳神経	*					*
悪性血液疾患	*		*	36		39
計	168	56	50	126	59	459



熊本県院内がん登録データに係る統計 - 2013年診断症例 -

医療機関名		天草都市医師会立 天草地域医療センター
-------	---	------------------------

○基本情報

【平成25年12月現在】

所在地	天草市亀場町食場854番1
病床数	210床
診療科数	13科
がん診療連携拠点病院指定日	2010.08.17
がん登録開始基準日	2007.04.01
平均在院日数	16.6 (日)
入院患者数	4,225 (人)
外来患者延数	49,811 (人)
院内がん登録件数	335 (件)
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 0 / 初級者 2 / 他 0 (名)

○医療機関からのコメント

【登録件数】2013年登録件数は335件で前年より約26%の増加が見られた。これは、外来症例での拾い出し件数増加のためと思われる。

【性別】男性(57.9%)1位:胃癌(57)、2位:大腸癌(34)、3位:前立腺癌(30) 女性(42.1%)1位:大腸癌(30)、2位:胃癌(26)、3位:乳癌(21)となっており前年と変わらない。

【年齢】好発年齢は、70才台が101件、80才台が88件。70才台以上で全体の61%を占める。全体の平均は72.1才であり60~70才台で男性:113名、女性:67名と男性が多い。2012年73.1才、2011年72.0才と高齢化傾向が覗がえる。

【住所】335件中330件(98.5%)が天草地域となっている。

【部位】5大癌は206件(61.5%)、2012年は168件(60.6%)であった。部位として胃・肺が増加。また5大癌以外では前年同様に前立腺の増加が目立ち、検診受診を契機としたPSA高値による増加と推測される。

【病期】登録症例全体ではStage I が23.9%。胃癌ではStage I が61.2%と早期発見の割合が高いが、大腸癌においてはStageによる差は認められない。膵癌ではStageIVが23件中14件(60.8%)と診断が遅れている状況である。

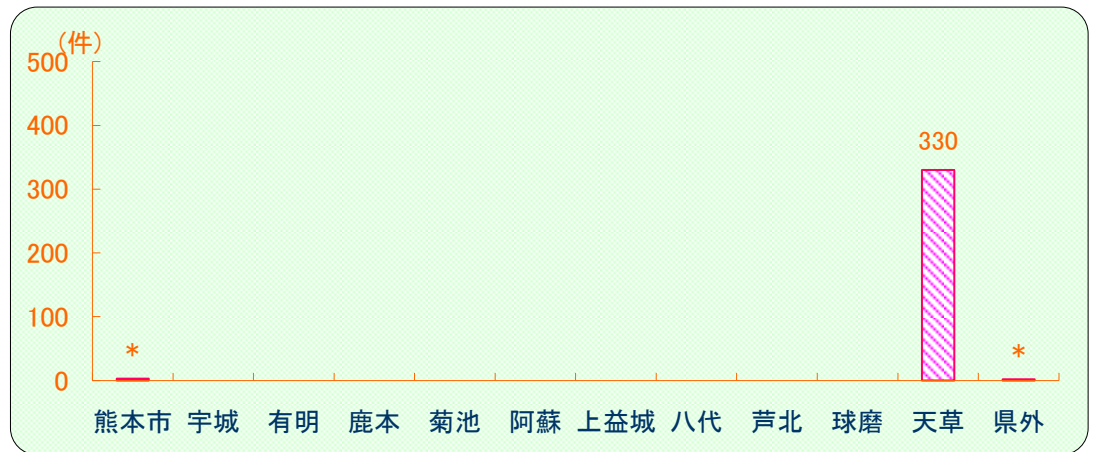
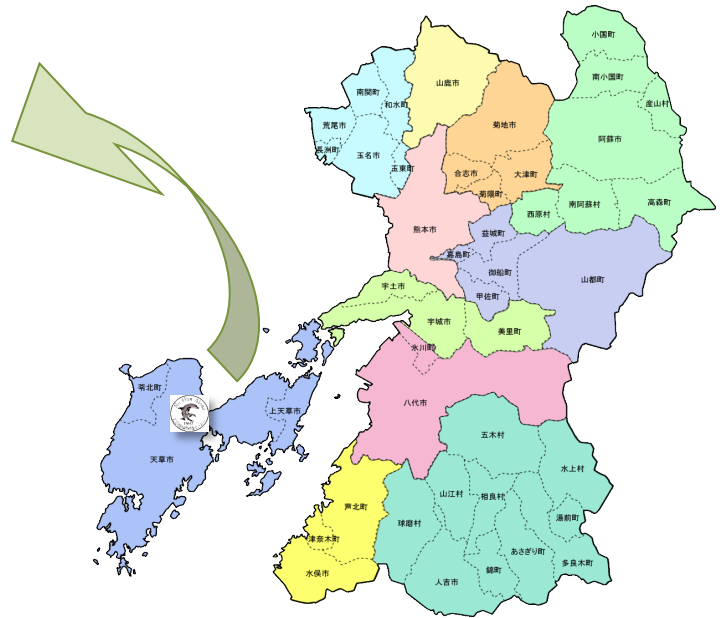
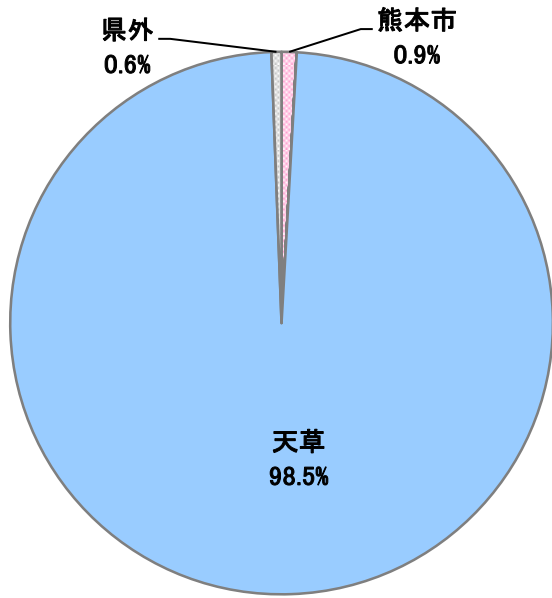
【治療】当院を受診する5大部位癌の治療において、手術、化学療法、内視鏡的治療、体腔鏡治療などは、ほぼ自施設において治療を行っているが放射線治療が必要な場合は、放射線照射可能施設へ紹介を行っている。

- ・血液、リンパ系の悪性症例は、専門医不在のため他院(主に熊本市内)へ紹介を行っている。
- ・肺癌は2015年4月より呼吸器内科診療の再開に伴い自施設での診断症例が増えている。

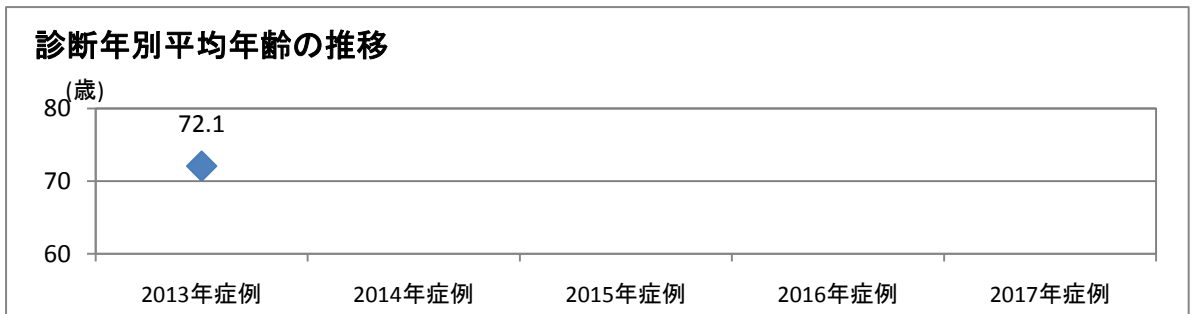
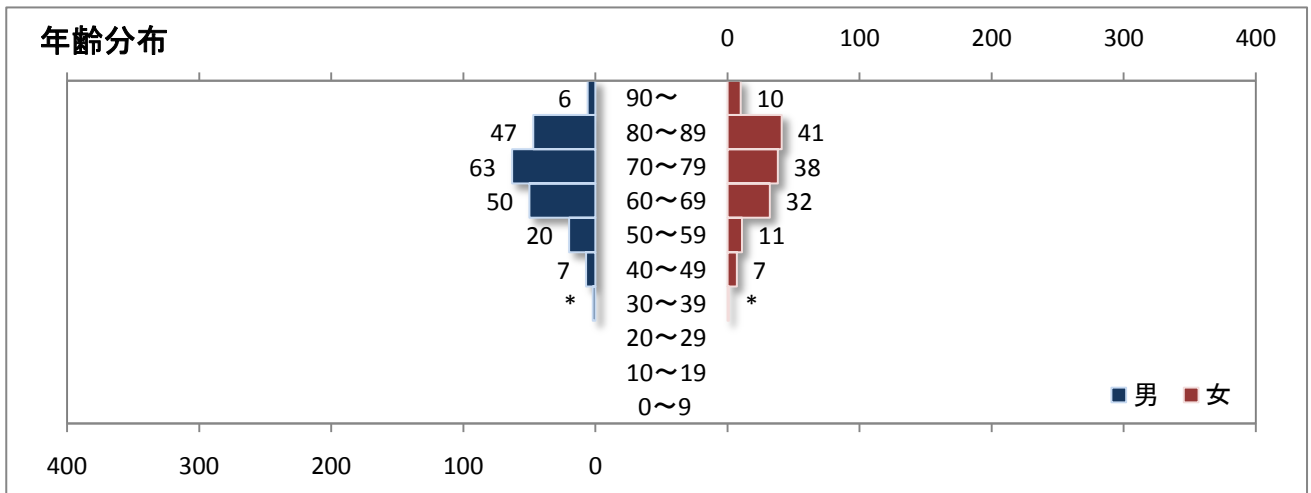
◆2014年8月よりスタートした『天草メディカルネット』は2016年2月現在、利用者数約4,300人となっており、ICT医療連携による天草医療圏の診療情報(画像、検査、投薬、注射等)を共有することにより、日常診療における診断や治療の不安感の軽減、天草医療圏全体の医療水準の底上げや、地域医療再生の一助となるシステムとして充実発展をしてもらいたいと願っております。

① 患者住所医療圏別登録割合と件数

天草地域医療センター（335件）



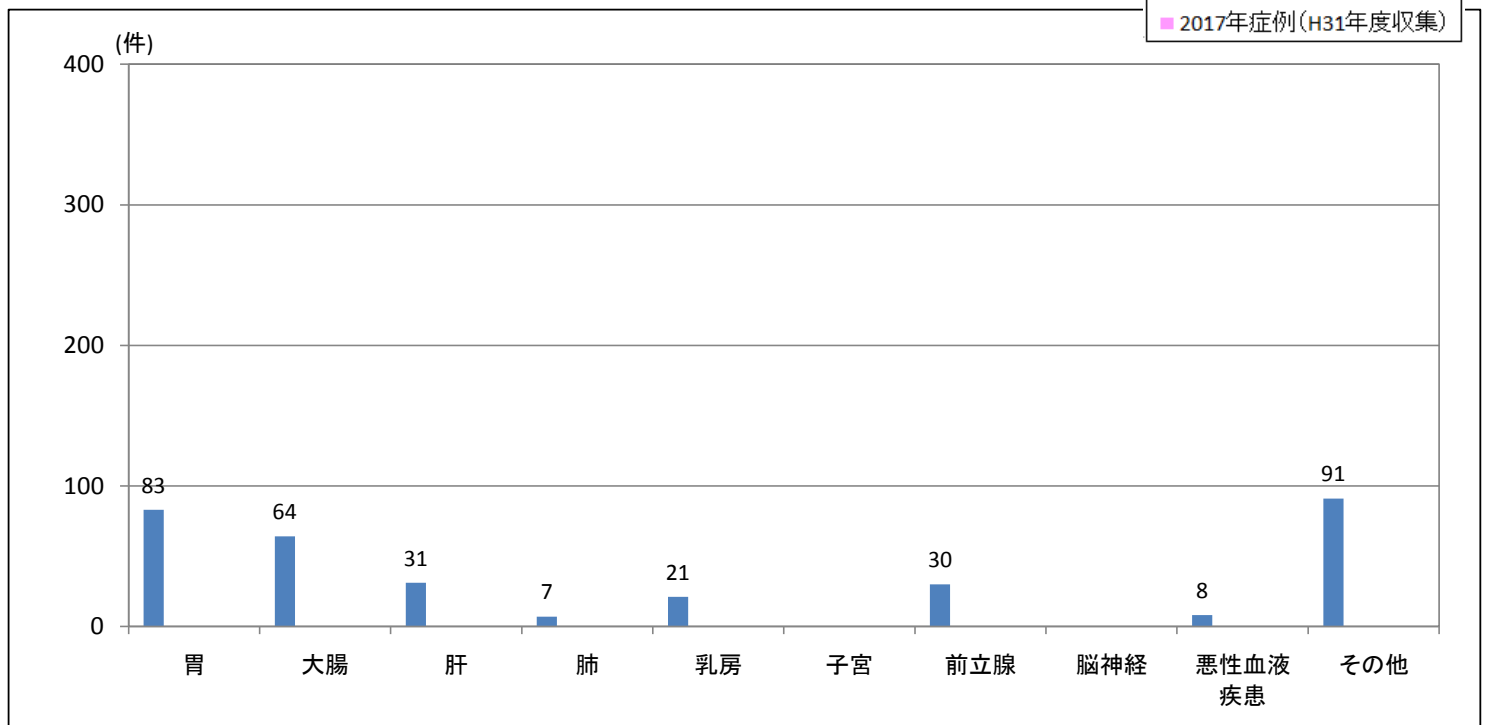
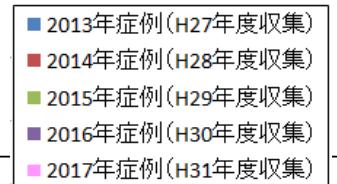
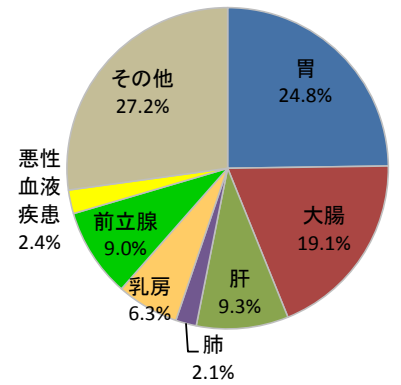
② 診断時年齢分布と平均年齢の推移



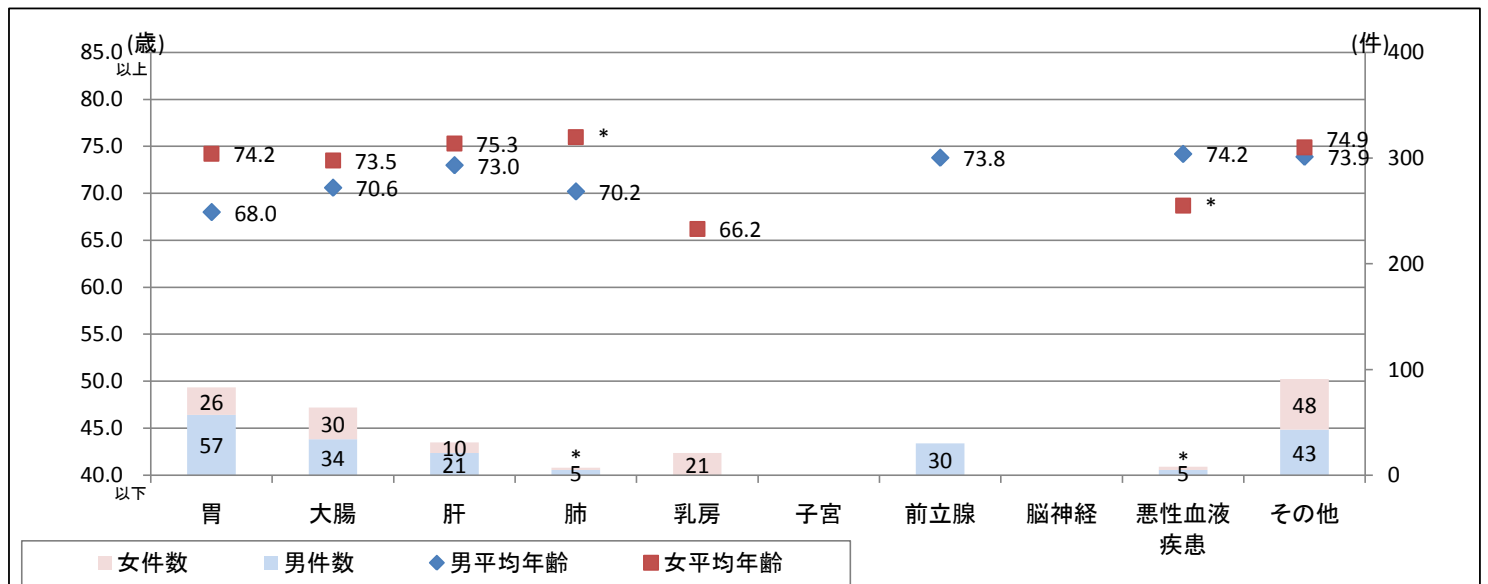
③ 診断年別 主要部位別件数

部位	2013年症例 (H27年度収集)	2014年症例 (H28年度収集)	2015年症例 (H29年度収集)	2016年症例 (H30年度収集)	2017年症例 (H31年度収集)
胃	83				
大腸	64				
肝	31				
肺	7				
乳房	21				
子宮					
前立腺	30				
脳神経					
悪性血液疾患	8				
その他	91				
計	335	0	0	0	0

2013年症例 主要部位別割合



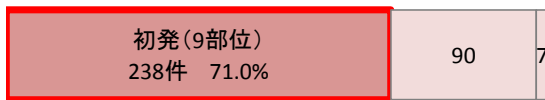
④ 男女別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 主要部位別治療の内訳

- 初発(9部位)
- 初発(その他)
- 症例区分8/治療開始後

総計:335件

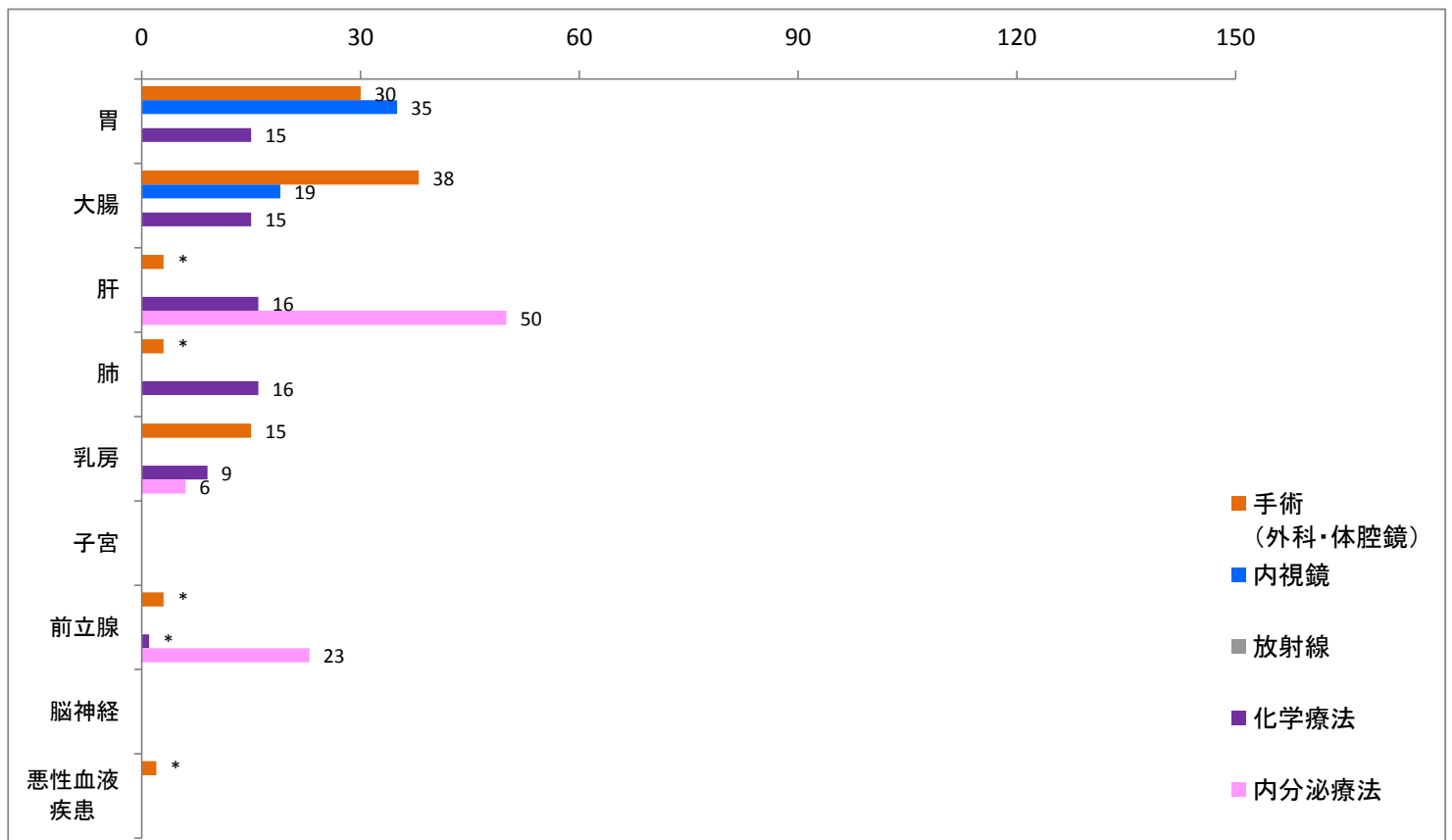


【赤枠部の治療内容を以下に集計】




- ※ 初回治療として当院で施行された治療のみ集計
- ※ 症例区分8(その他)/診断区分2(治療開始後)は除いて集計
- ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
- ※ 手術とは外科的と体腔鏡的治療の計

	(外科・体腔鏡) 手術	内視鏡	放射線	化学療法	内分泌療法	計
胃	30	35		15		80
大腸	38	19		15		72
肝	*			16	50	69
肺	*			16		19
乳房	15			9	6	30
子宮						0
前立腺	*			*	23	27
脳神経						0
悪性血液疾患	*					*
計	94	54	0	72	79	299



熊本県院内がん登録データに係る統計 —2013年診断症例—

医療機関名		健康保険天草中央総合病院 (現 JCHO天草中央総合病院)
-------	---	----------------------------------

○基本情報

【平成25年12月現在】

所在地	天草市東町101番地
病床数	155床
診療科数	13科
がん診療連携拠点病院指定日	2010.08.17
がん登録開始基準日	2007.01.01
平均在院日数	13.9 (日)
入院患者数	2,613 (人)
外来患者延数	85,408 (人)
院内がん登録件数	316 (件)
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 0 / 初級者 2 / 他 0 (名)

○医療機関からのコメント

【登録件数】 2013年登録件数は316件で前年より13%の増加がみられた。

【性別】 男性157件、女性159件とほぼ同率であった。

【年齢】 平均年齢72.1歳、男性平均73.3歳、女性平均71歳、75歳以上の割合は45.9%である。

【部位別症例件数と平均年齢(上位5部位)】

1.肺癌(52件) 2.乳癌(45件、63.2歳) 3.大腸癌(41件) 4.皮膚癌(38件、79.2歳) 5.胃癌(27件)

【男女別症例件数と平均年齢(上位5部位)】

男性

1.肺癌(40件、77.0歳) 2.大腸癌(26件、41.3歳) 3.前立腺癌(16件、78.9歳) 3.皮膚癌(16件、73.1歳) 5.胃癌(13件、69.3歳)

女性

1.乳癌(45件、63.2歳) 2.皮膚癌(22件、83.5歳) 3.大腸癌(15件、68.5歳) 4.子宮癌(14件、65.9歳) 4.胃癌(14件、73.7歳)

【医療圏】 殆どが天草医療圏在住の患者(99.1%)

【病期分類】

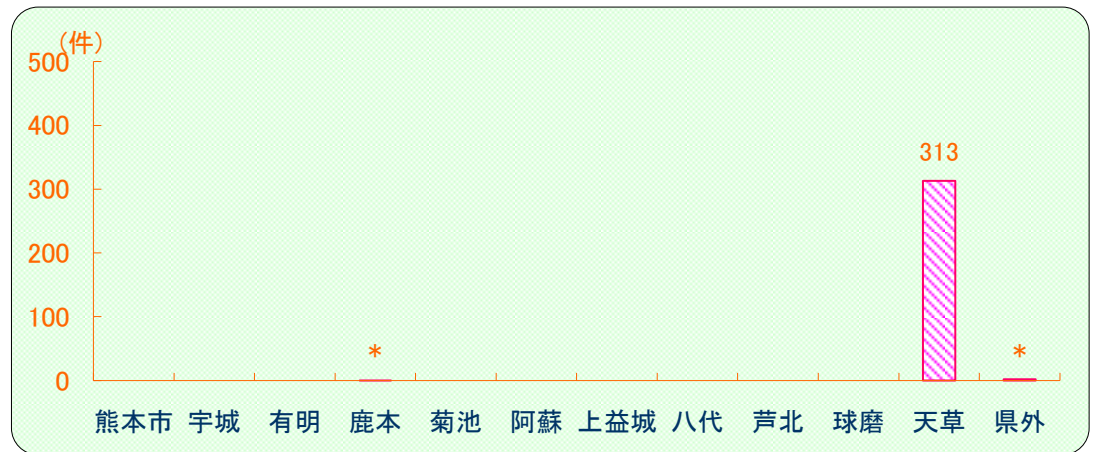
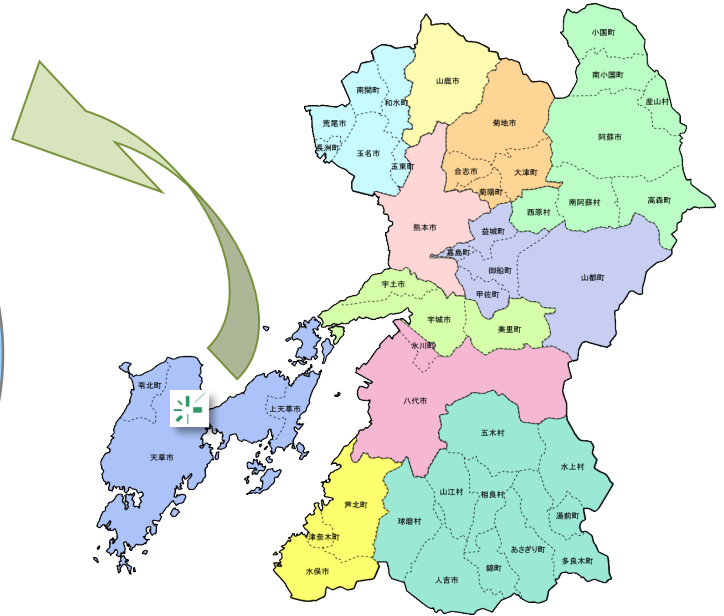
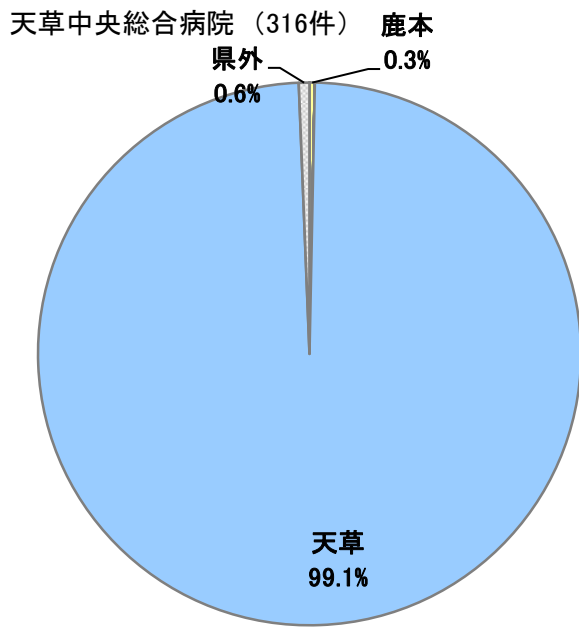
0期7.3%、Ⅰ期25%、Ⅱ期10.1%、Ⅲ期9.9%、Ⅳ期18.3%

地域の特性として高齢者が多い。特に皮膚癌に高齢者がみられ平均年齢が79.2歳である。

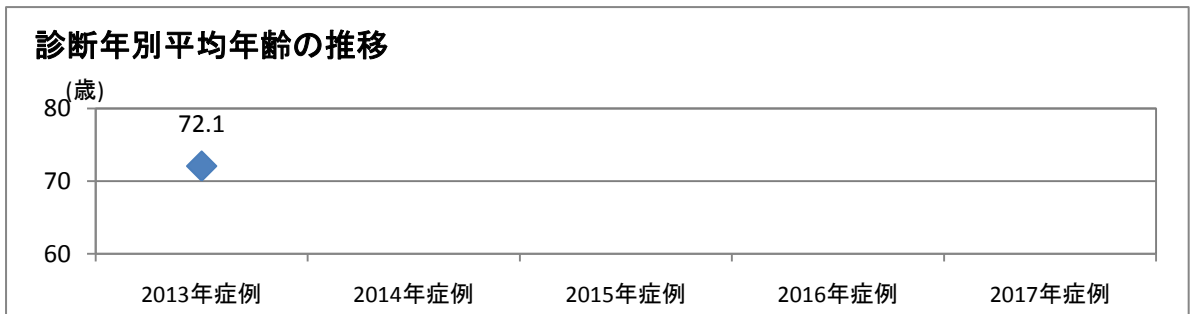
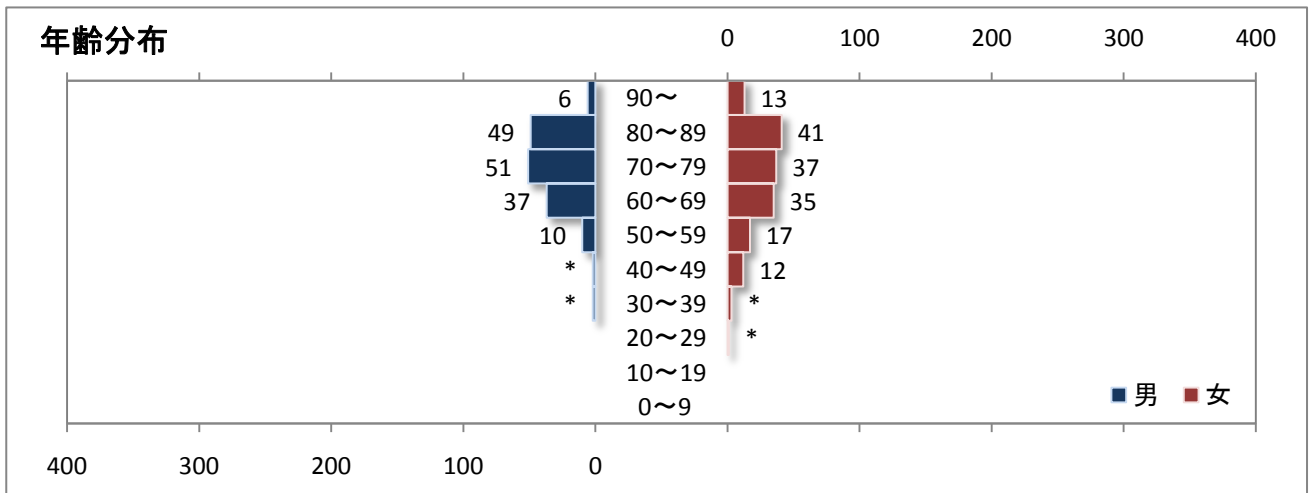
肺癌は52件中22件がⅣ期の診断である。健診での発見よりも自覚症状での受診が多くみられる。

当院は他医療機関からの治療後の経過観察・放射線治療・化学療法・緩和ケアに対応している。

① 患者住所医療圏別登録割合と件数



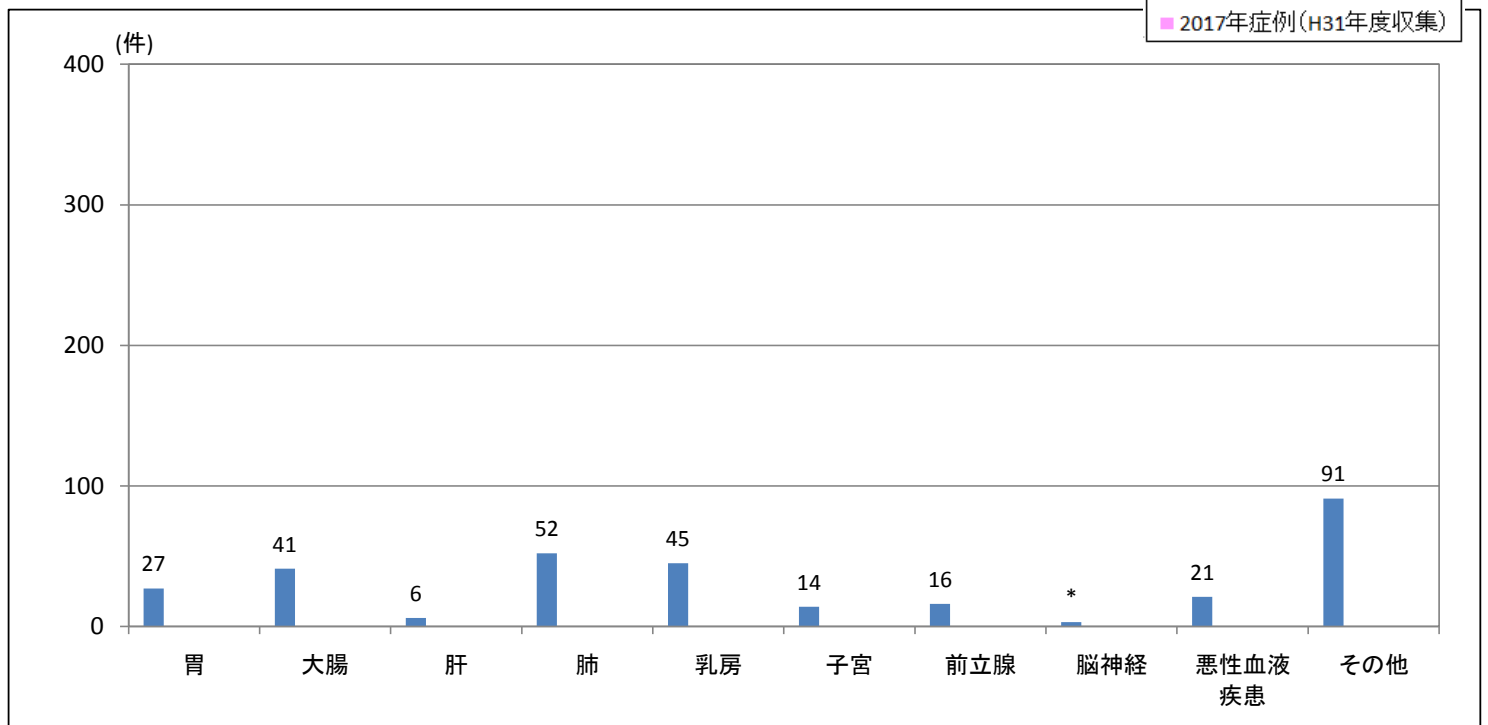
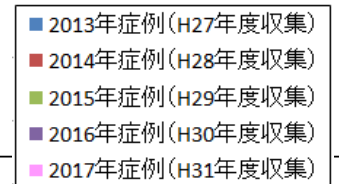
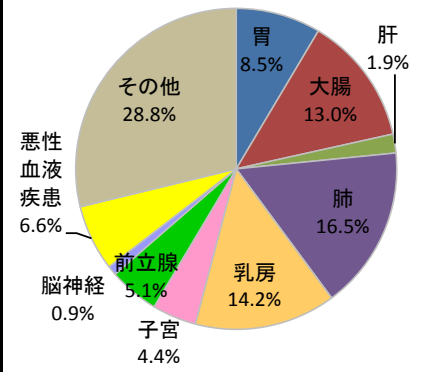
② 診断時年齢分布と平均年齢の推移



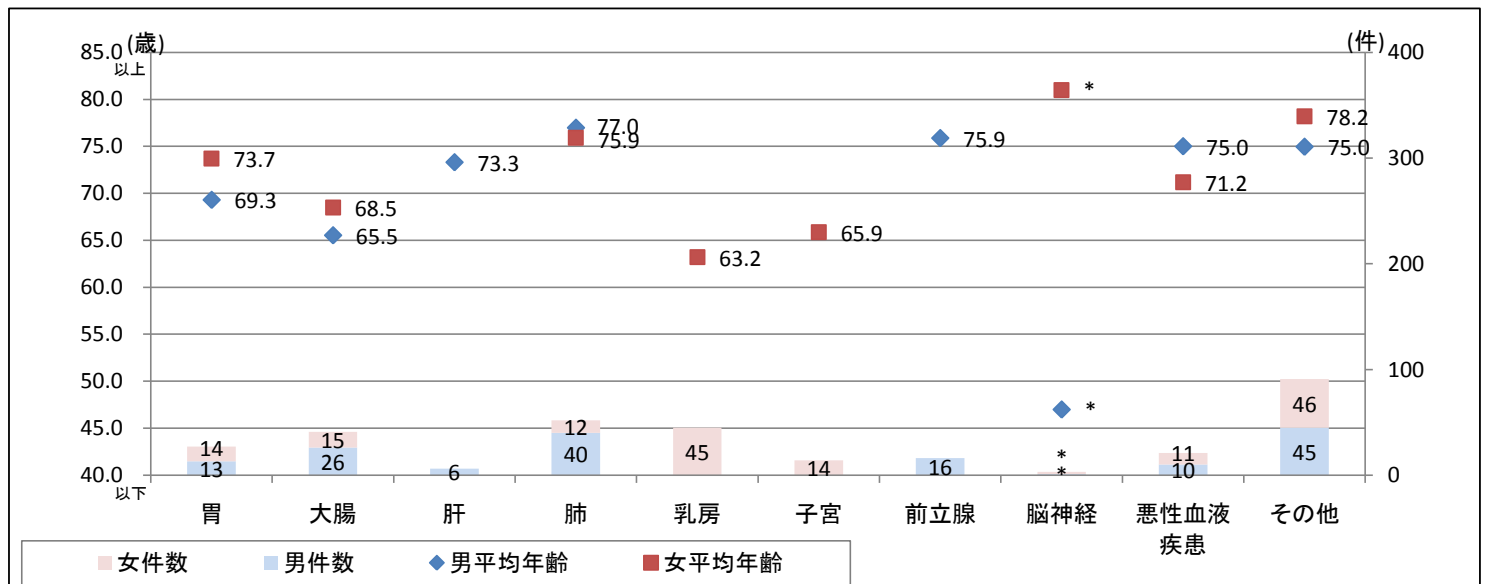
③ 診断年別 主要部位別件数

部位	2013年症例 (H27年度収集)	2014年症例 (H28年度収集)	2015年症例 (H29年度収集)	2016年症例 (H30年度収集)	2017年症例 (H31年度収集)
胃	27				
大腸	41				
肝	6				
肺	52				
乳房	45				
子宮	14				
前立腺	16				
脳神経	*				
悪性血液疾患	21				
その他	91				
計	316	0	0	0	0

2013年症例 主要部位別割合



④ 男女別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 主要部位別治療の内訳

- 初発(9部位)
- 初発(その他)
- 症例区分8/治療開始後

総計:316件

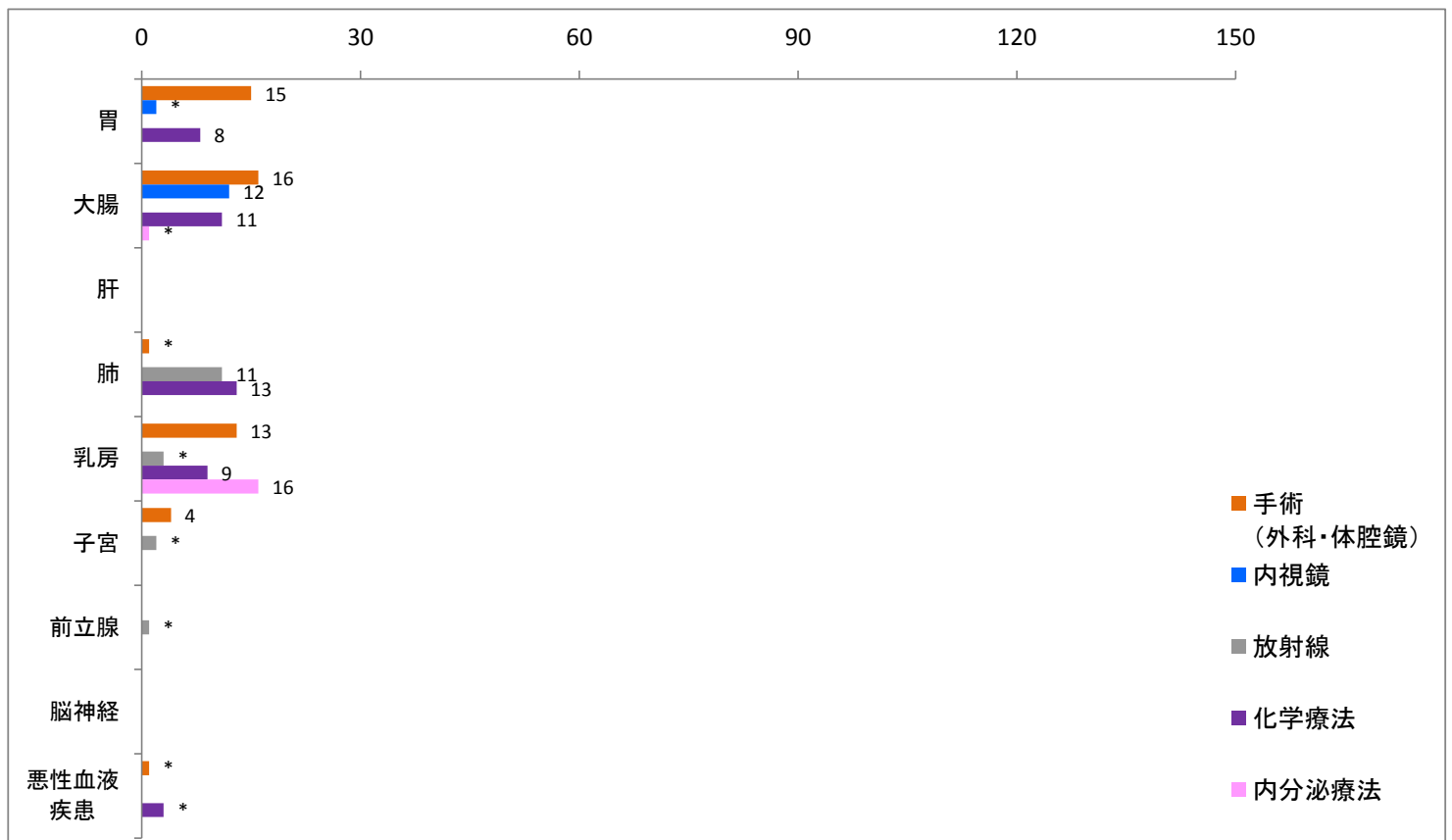


【赤枠部の治療内容を以下に集計】




- ※ 初回治療として当院で施行された治療のみ集計
- ※ 症例区分8(その他)/診断区分2(治療開始後)は除いて集計
- ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
- ※ 手術とは外科的と体腔鏡的治療の計

	(外科・体腔鏡) 手術	内視鏡	放射線	化学療法	内分泌療法	計
胃	15	*		8		25
大腸	16	12		11	*	40
肝						0
肺	*		11	13		25
乳房	13		*	9	16	41
子宮	4		*			6
前立腺			*			*
脳神経						0
悪性血液疾患	*			*		4
計	50	14	17	44	17	142



熊本県院内がん登録データに係る統計 —2013年診断症例—

医療機関名		独立行政法人国立病院機構 熊本再春荘病院
-------	---	-------------------------

○基本情報

【平成25年12月現在】

所在地	合志市須屋2659番地
病床数	461床
診療科数	17科
がん診療連携拠点病院指定日	2010.08.17
がん登録開始基準日	2009.11.01
平均在院日数	28.5 (日)
入院患者数	4,870 (人)
外来患者延数	63,865 (人)
院内がん登録件数	202 (件)
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 0 / 初級者 1 / 他 0 (名)

○医療機関からのコメント

国立病院機構熊本再春荘病院は合志市須屋に位置し、菊池郡市医療圏に属しています。平成22年8月に熊本県から、「がん診療連携拠点病院」へ指定されました。平成24年8月から地域医療連携拠点病院の指定を受けました。

県北の中核病院として救急急性期一般医療と政策医療(神経筋疾患、重症心身障害、成育医療、運動器疾患など)を受け持っています。

がん診療に関しては肺癌・大腸癌・胃癌・肝癌・膵癌・乳癌などの診断と治療を行っています。診断機能としては、CT・MRI・シンチグラム(核医学)・マンモグラフィ・超音波・気管支鏡を始めとする内視鏡・超音波診断装置を有しています。

がん治療に関しては外科手術(大部分は胸腔鏡、腹腔鏡による鏡視下手術)抗癌化学療法・放射線治療・緩和医療を行っております。外来化学療法・外来放射線治療も併せて行っております。

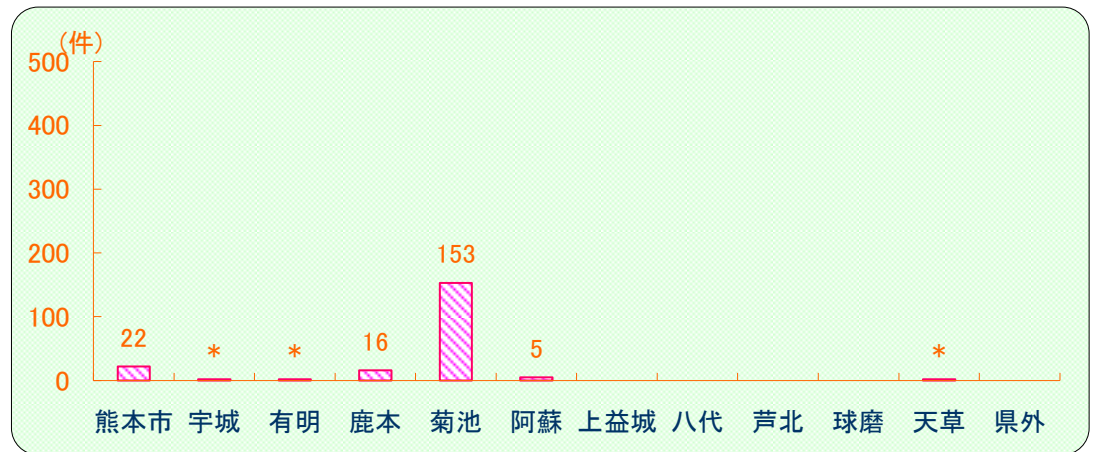
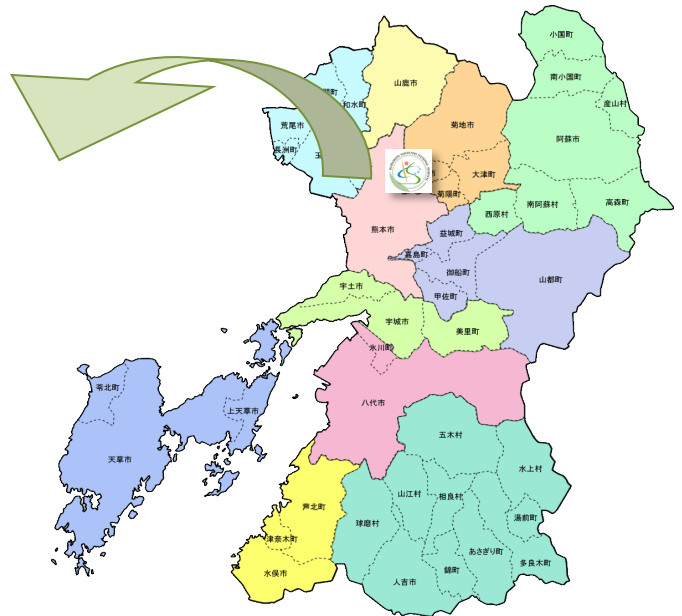
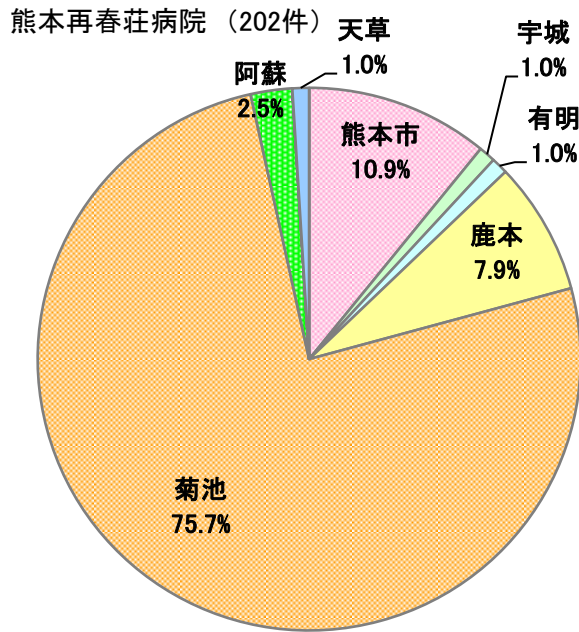
平成23年から当院でも年一回の緩和ケア講習会を医師・看護師・薬剤師を含めた医療従事者30名前後の参加のもとに開催しております。

また、「がんサロン再春」を院内に設け、がん患者さん同士の交流の場を提供しており、桜の花見会・クリスマス会などを行っています。

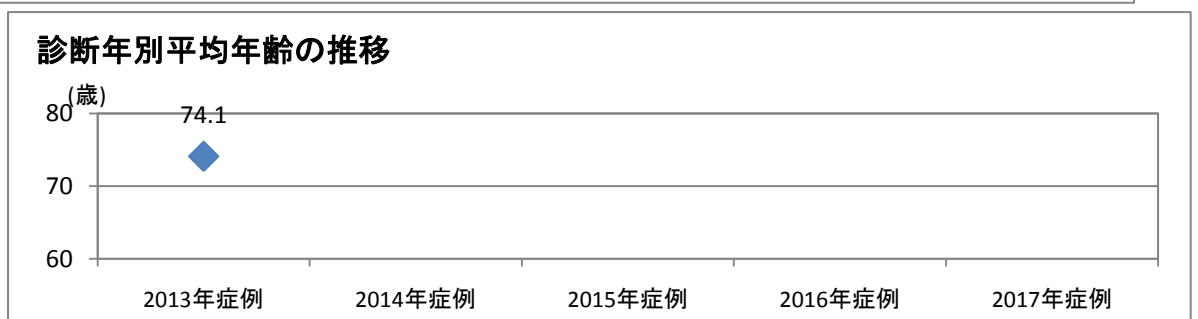
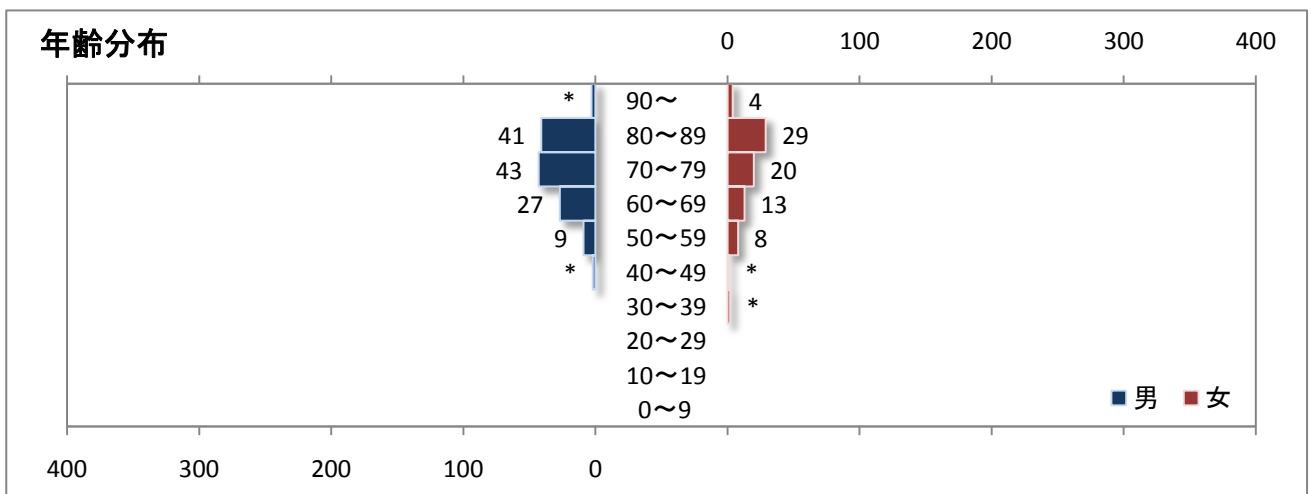
2013年症例(H27年収集)内訳は、202症例で2012年に比べ50例減少しています。肺癌81例(30例減少)、大腸癌55例(5例減少)、胃癌19例(9例減少)、食道癌4例(4例減少)、乳癌8例(6例減少)、その他です。

本院で診療を受けるがん患者が居住する医療圏は担当医療圏である菊池郡市が75.7%、熊本市11%、山鹿・鹿本7.9%となっています。また、70歳以上とりわけ80歳以上の高齢者が占める割合が高いことが特徴です。がん発生部位は肺癌40%・大腸癌26.7%・胃癌9.4%・肝・胆、膵臓を含め11.4%・乳癌4.0%となっています。肺癌は鏡視下手術を中心に取り組んでいます。がん診療拠点病院として、がん診療の地域連携を進め、「私のカルテ」の導入を一層図りたいと考えています。

① 患者住所医療圏別登録割合と件数



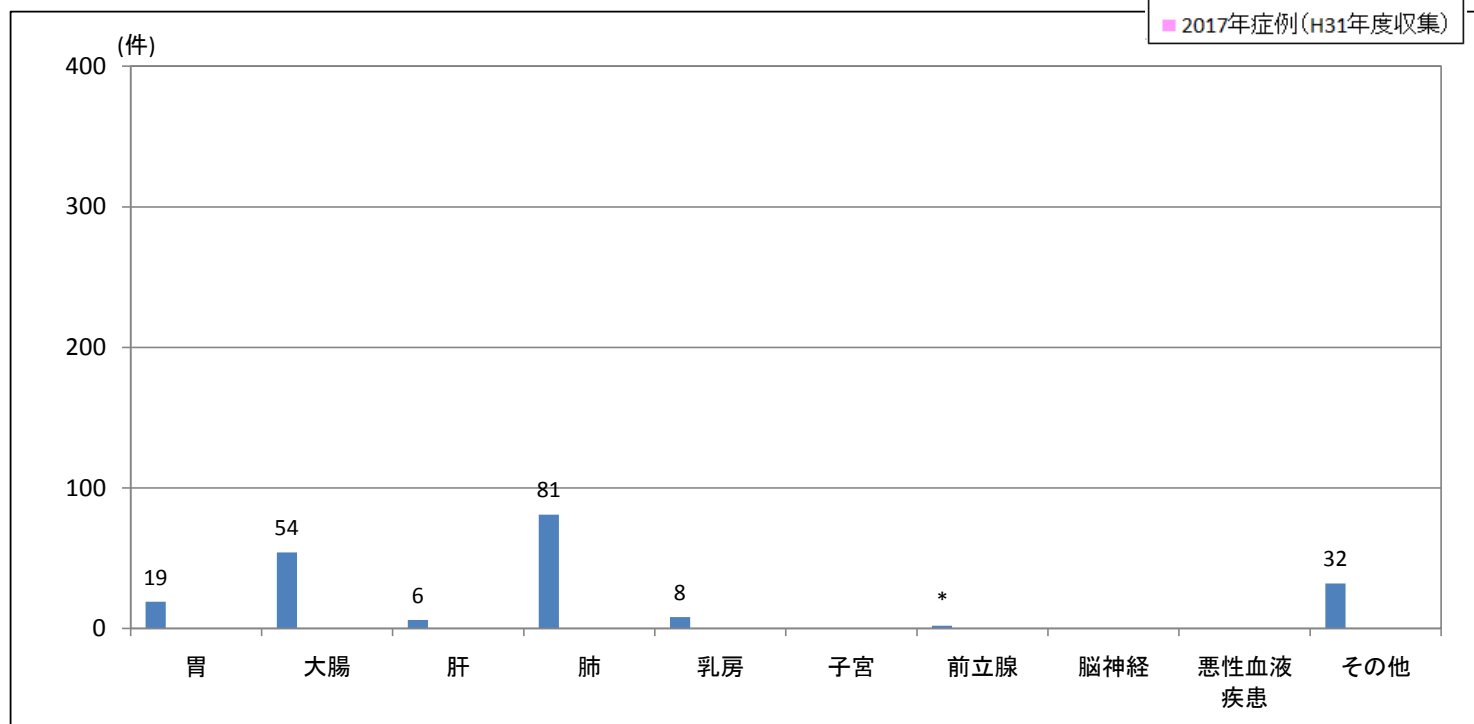
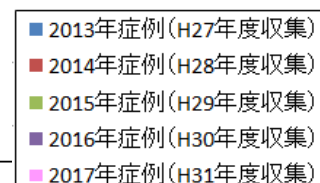
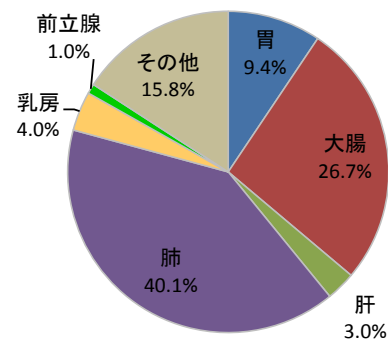
② 診断時年齢分布と平均年齢の推移



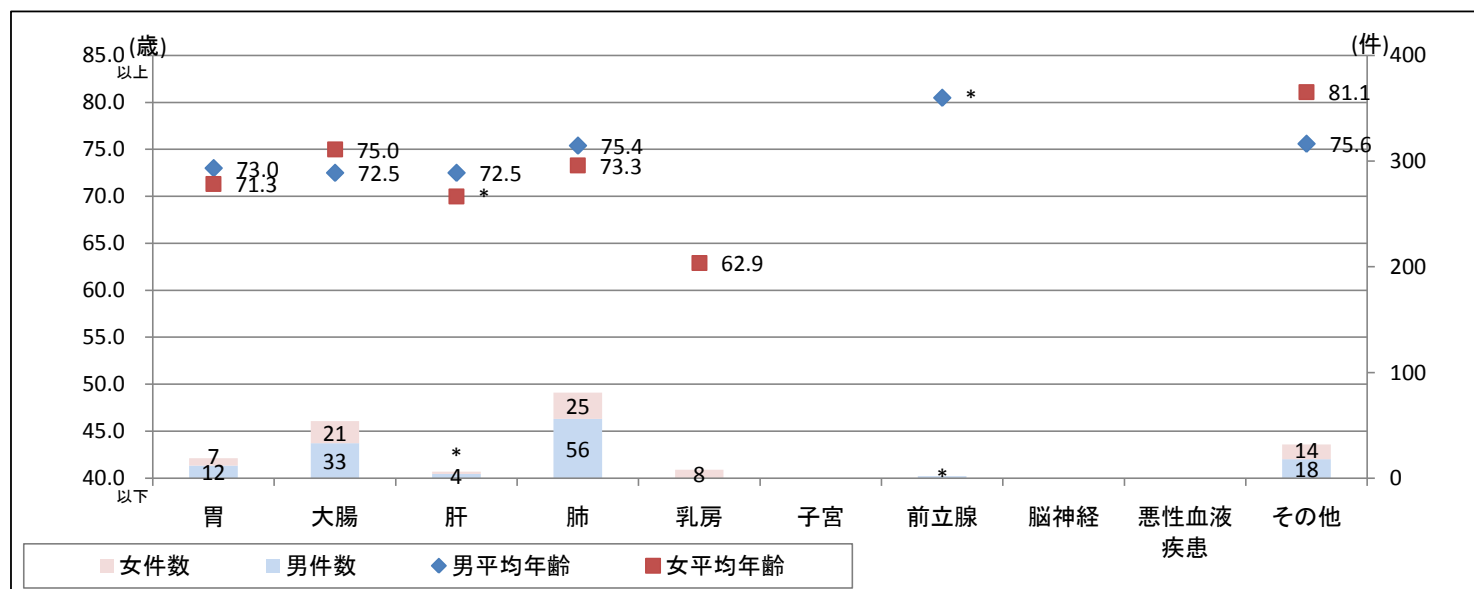
③ 診断年別 主要部位別件数

部位	2013年症例 (H27年度収集)	2014年症例 (H28年度収集)	2015年症例 (H29年度収集)	2016年症例 (H30年度収集)	2017年症例 (H31年度収集)
胃	19				
大腸	54				
肝	6				
肺	81				
乳房	8				
子宮					
前立腺	*				
脳神経					
悪性血液疾患					
その他	32				
計	202	0	0	0	0

2013年症例 主要部位別割合



④ 男女別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 主要部位別治療の内訳

■ 初発(9部位)
 □ 初発(その他)
 □ 症例区分8/治療開始後

総計: 202件

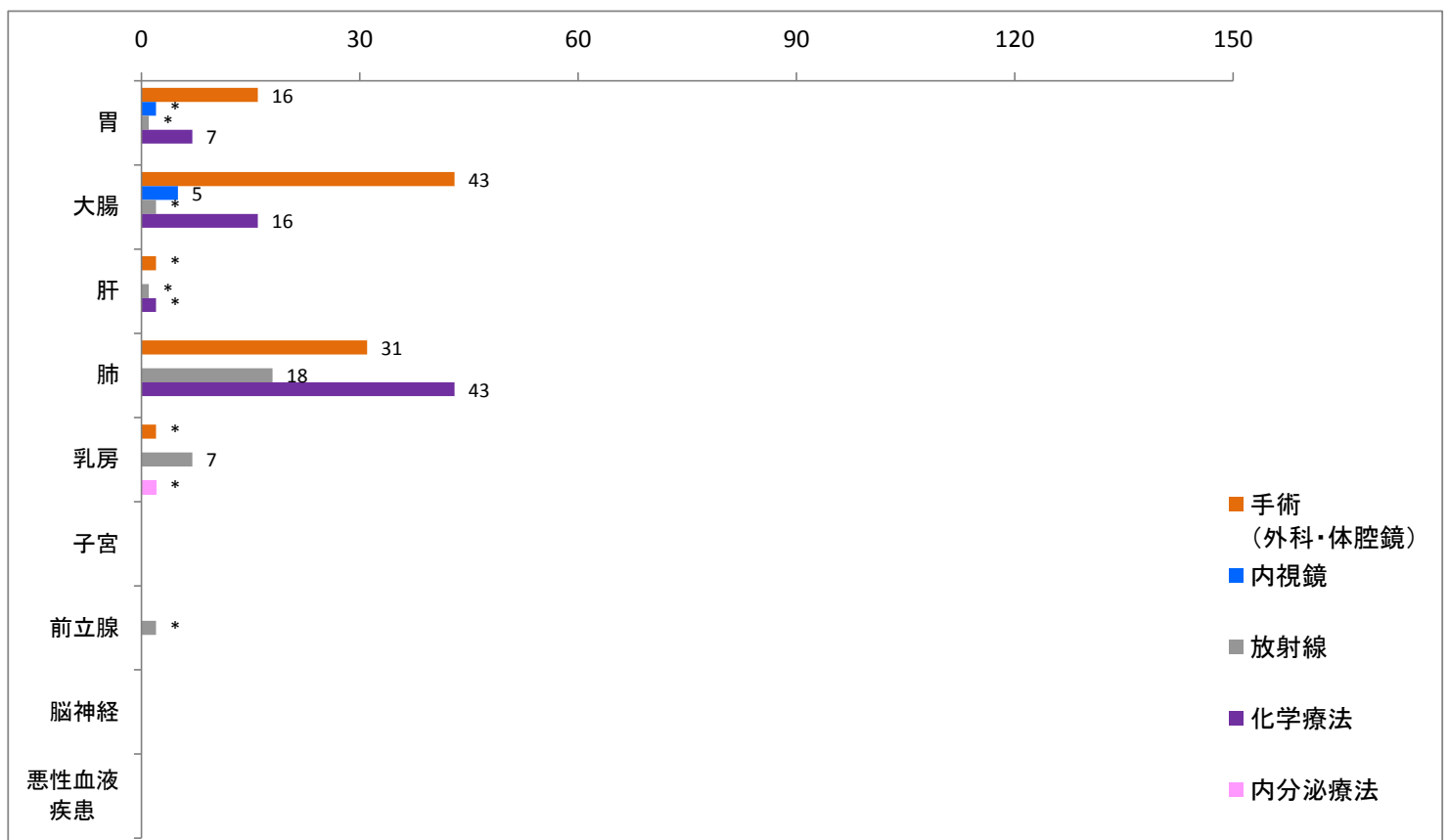


【赤枠部の治療内容を以下に集計】



※ 初回治療として当院で施行された治療のみ集計
 ※ 症例区分8(その他)/診断区分2(治療開始後)は除いて集計
 ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
 ※ 手術とは外科的と体腔鏡的治療の計

	(外科・体腔鏡) 手術	内視鏡	放射線	化学療法	内分泌療法	計
胃	16	*	*	7		26
大腸	43	5	*	16		66
肝	*		*	*		5
肺	31		18	43		92
乳房	*		7		*	11
子宮						
前立腺			*			*
脳神経						
悪性血液疾患						
計	94	7	31	68	*	202



熊本県院内がん登録データに係る統計 —2013年診断症例—

医療機関名		医療法人創起会くまもと森都総合病院
-------	---	-------------------

○基本情報

【平成25年12月現在】

所在地	熊本市中央区新屋敷1丁目17番27号
病床数	199床
診療科数	38科
がん診療連携拠点病院指定日	2011.11.07
がん登録開始基準日	2008.04.01
平均在院日数	15.2 (日)
入院患者数	3,580 (人)
外来患者延数	110,536 (人)
院内がん登録件数	221 (件)
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 0 / 初級者 2 / 他 0 (名)

○医療機関からのコメント

本年度は合計221件のがん登録を行った。登録数は昨年より16件減少した。

【当院の特徴】

当院では例年通り造血器悪性腫瘍が多く87例(39.4%)であり、肝がん66例(29.9%)と合わせて全体のほぼ7割を占めていることが大きな特徴と考えられる。その他は大腸がん18例(8.1%)、胃がん13例(5.6%)の順に多かった。5大がんについてはほぼ自施設で診断から治療まで施行されている。

【患者の年齢層】

登録患者の平均年齢は72.5歳(男性71.9歳、女性73.5歳)。男女比は1.4:1と男性がやや多い傾向にあった。主な内訳は造血器腫瘍が74.3歳、肝がん71.8歳、胃がん73.0歳、大腸がん63.2歳であり、ほぼ前年同様だった。

【患者の医療圏】

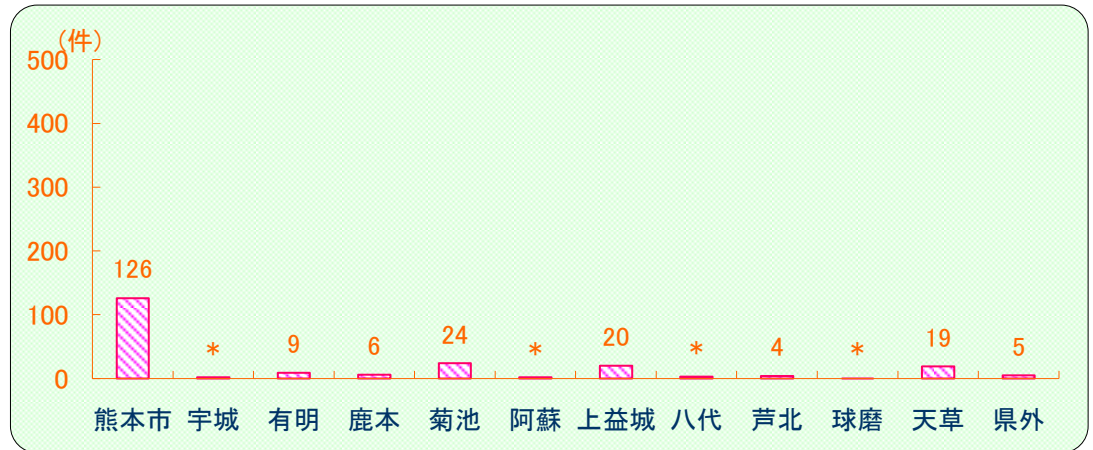
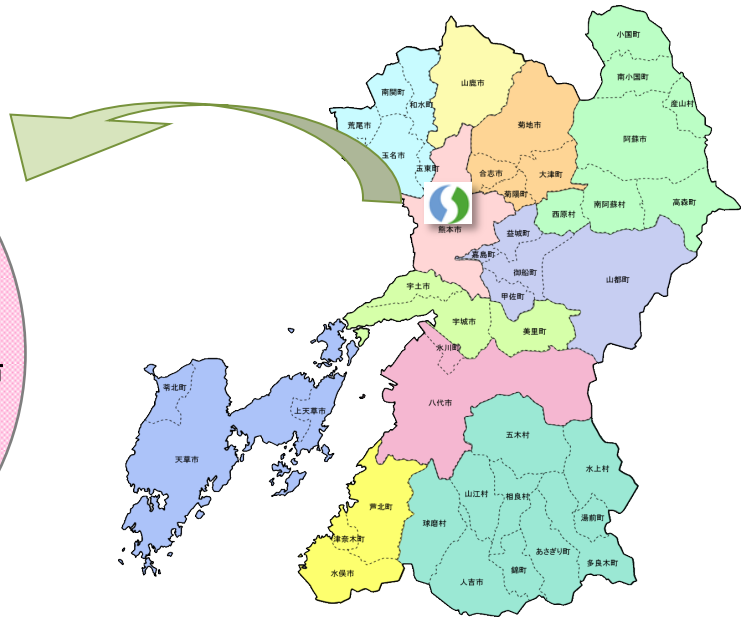
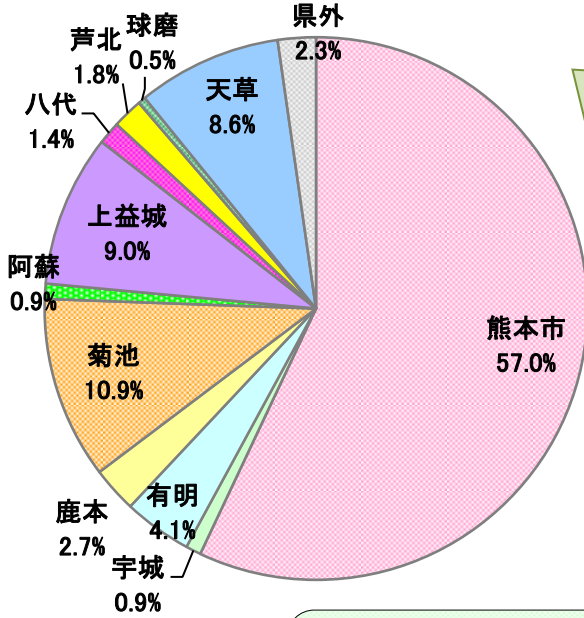
患者住所は、ほぼ半数(57.0%)が熊本市内だったが、その他にも菊池10.9%、上益城9.0%、天草8.6%と周辺地域からの紹介も多い。昨年との比較では阿蘇からの紹介が減少したのに比べ、上益城からの紹介が増加した。

【部位別臨床ステージと治療内容】

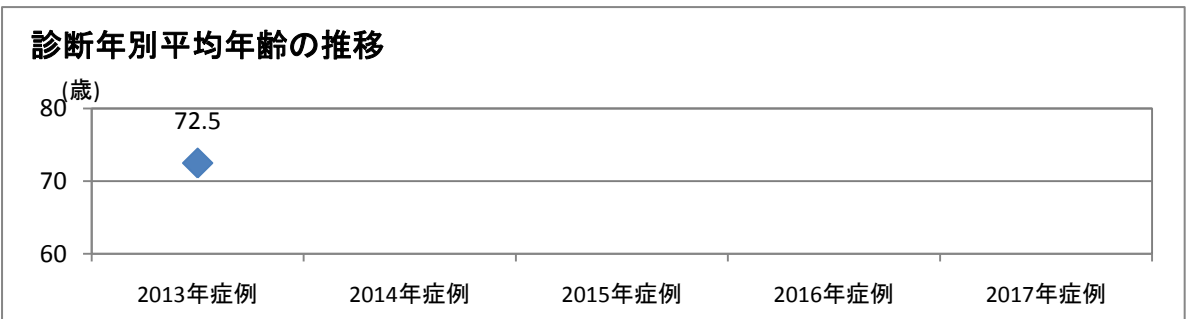
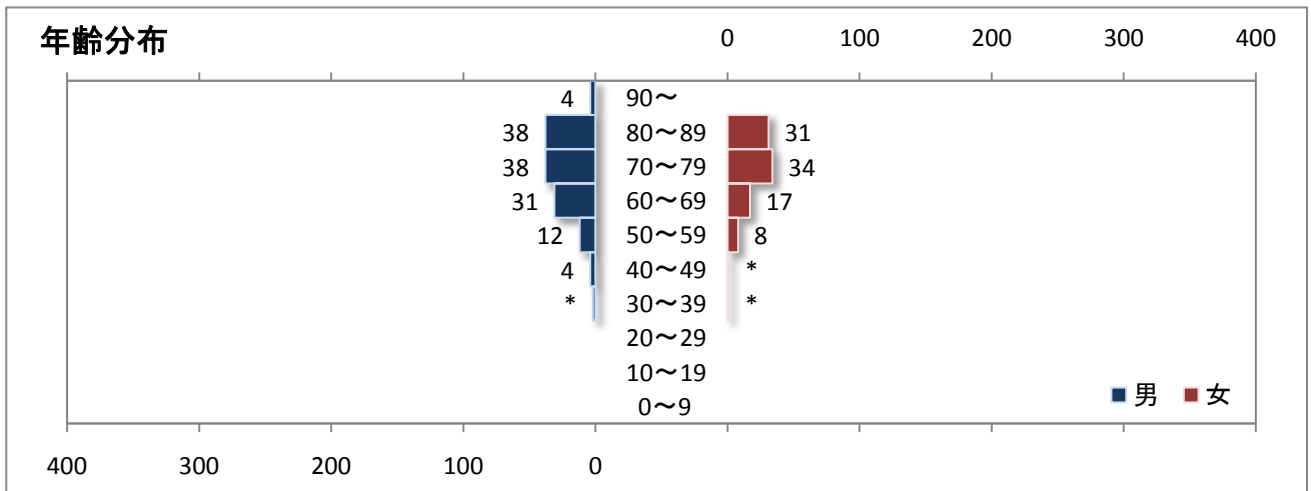
最も多い造血器腫瘍はほぼ全例に化学療法が施行されており、時に自己血末梢血幹細胞移植を併用した大量化学療法まで施行されている。胃がんは早期がんが多く内視鏡的切除が69.2%と多かった。大腸がんでは18例中15例に外科的あるいは腹腔鏡下での手術が施行されている。肝臓がんについては他院で治療後の後治療目的に紹介になる場合が多いため手術症例が少なくTACEなどを含む化学療法を施行した症例が多い特徴がある。

① 患者住所医療圏別登録割合と件数

くまもと森都総合病院 (221件)



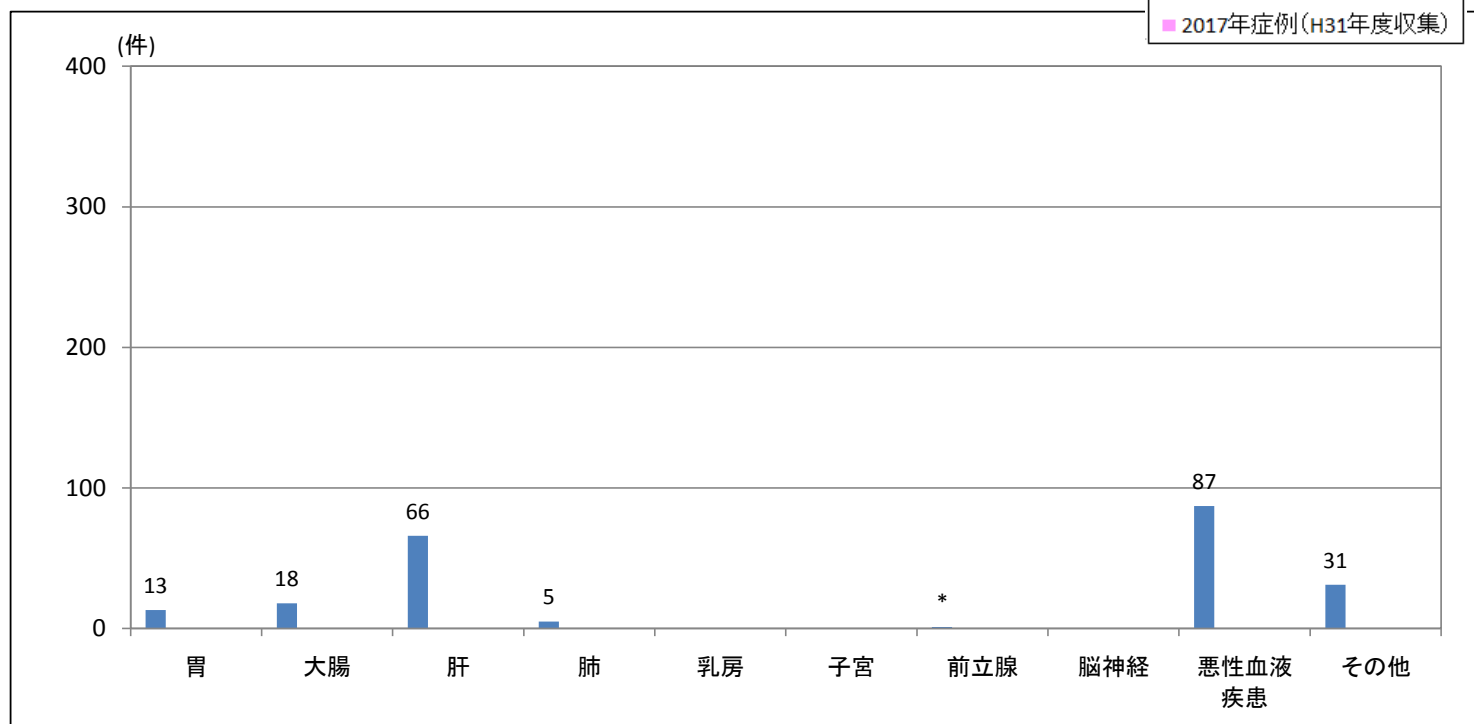
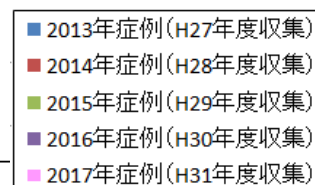
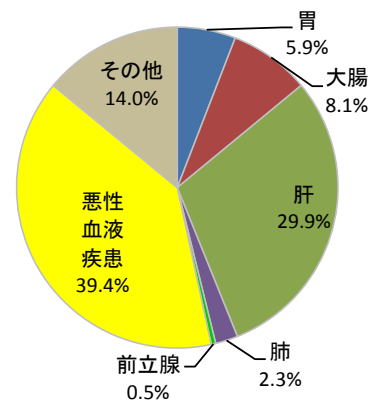
② 診断時年齢分布と平均年齢の推移



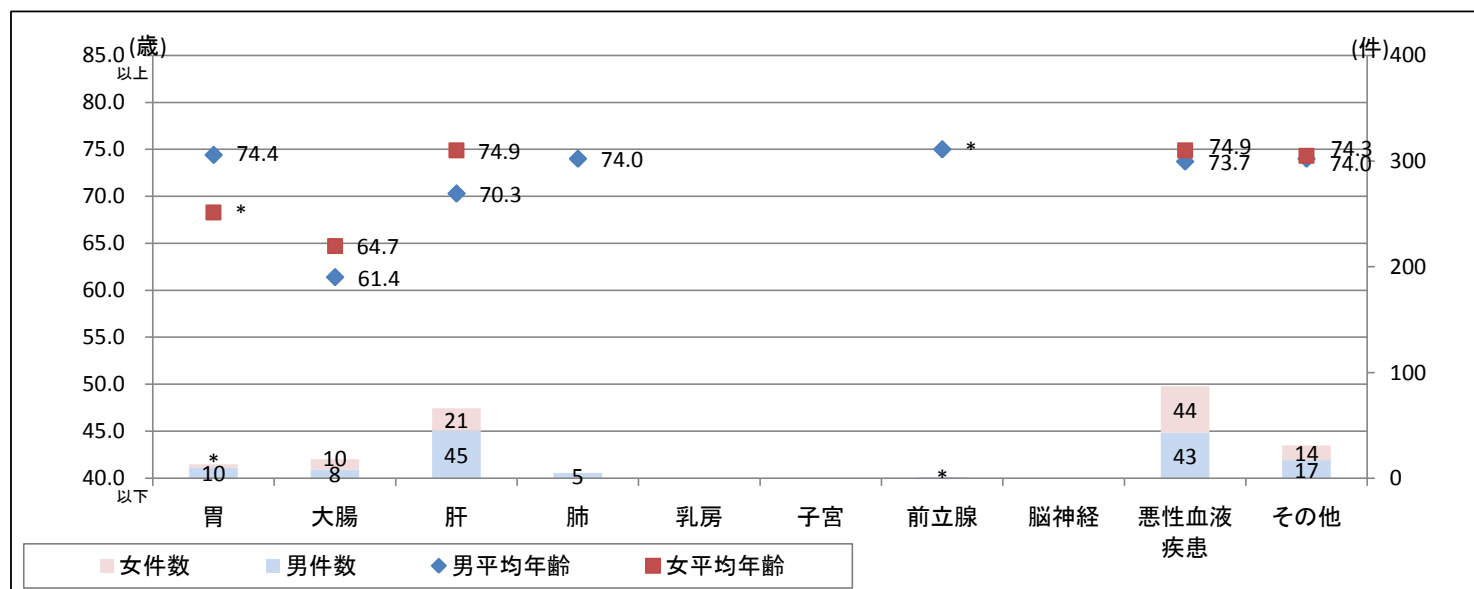
③ 診断年別 主要部位別件数

部位	2013年症例 (H27年度収集)	2014年症例 (H28年度収集)	2015年症例 (H29年度収集)	2016年症例 (H30年度収集)	2017年症例 (H31年度収集)
胃	13				
大腸	18				
肝	66				
肺	5				
乳房					
子宮					
前立腺	*				
脳神経					
悪性血液疾患	87				
その他	31				
計	221	0	0	0	0

2013年症例 主要部位別割合



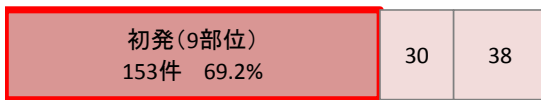
④ 男女別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 主要部位別治療の内訳

- 初発(9部位)
- 初発(その他)
- 症例区分8/治療開始後

総計: 221件

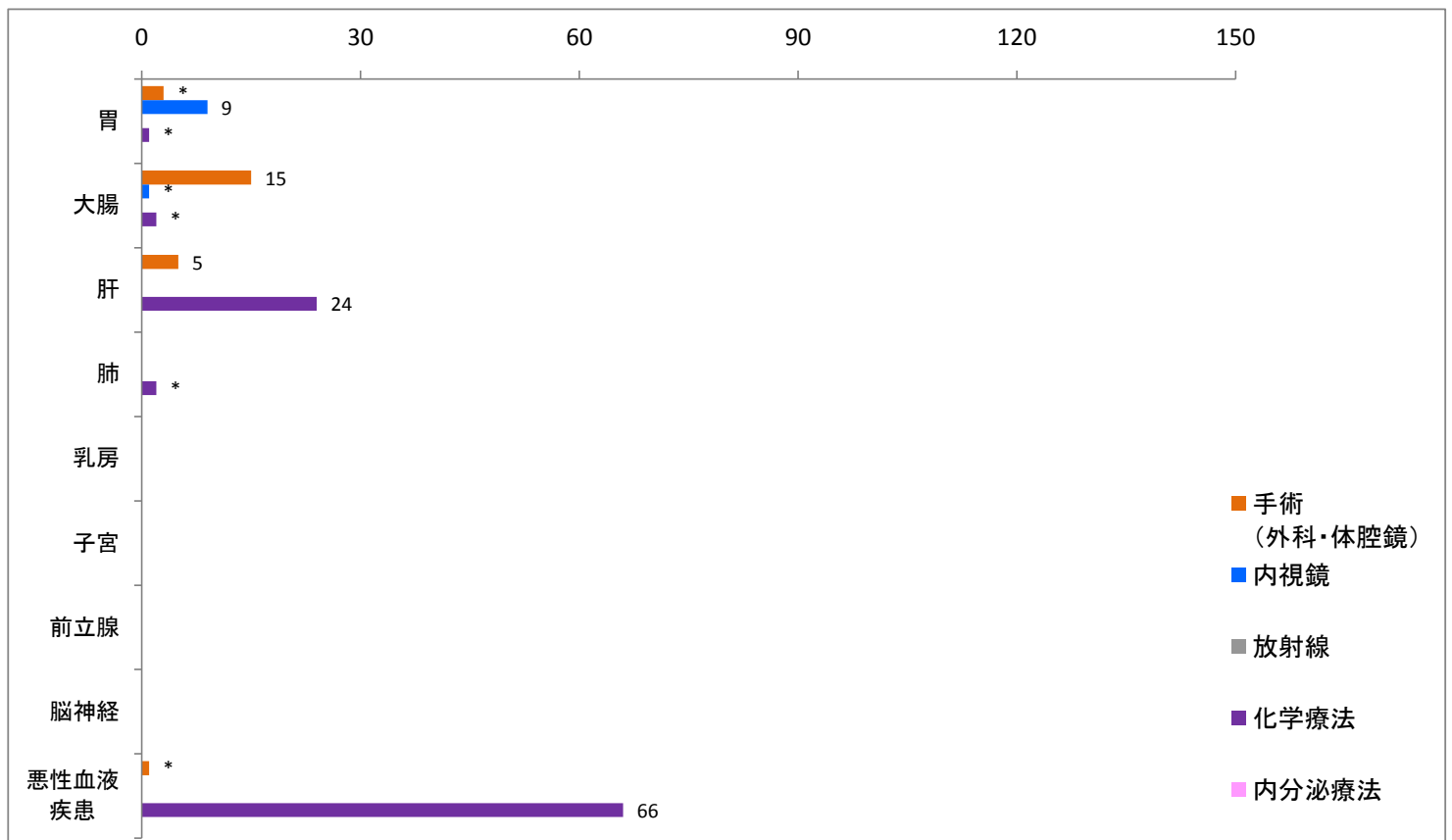


【赤枠部の治療内容を以下に集計】




- ※ 初回治療として当院で施行された治療のみ集計
- ※ 症例区分8(その他)/診断区分2(治療開始後)は除いて集計
- ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
- ※ 手術とは外科的と体腔鏡的治療の計

	(外科・体腔鏡) 手術	内視鏡	放射線	化学療法	内分泌療法	計
胃	*	9		*		13
大腸	15	*		*		18
肝	5			24		29
肺				*		*
乳房						0
子宮						0
前立腺						0
脳神経						0
悪性血液疾患	*			66		67
計	24	10	0	95	0	129



熊本県院内がん登録データに係る統計 —2013年診断症例—

医療機関名		健康保険熊本総合病院 (現 JCHO熊本総合病院)
-------	---	------------------------------

○基本情報

【平成25年12月現在】

所在地	八代市通町10番10号
病床数	344床
診療科数	45科
がん診療連携拠点病院指定日	2010.08.17
がん登録開始基準日	2007.04.01
平均在院日数	18.9 (日)
入院患者数	5,856 (人)
外来患者延数	124,515 (人)
院内がん登録件数	633 (件)
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 0 / 初級者 1 / 他 0 (名)

○医療機関からのコメント

1. 症例件数

当院における2013年の症例件数は633件(前年比+62件)となっており年々増加してきている。

また、八代医療圏における患者の割合は89%(前年比+2.2%)を占めた。

2. 平均年齢

登録症例の平均年齢は71.4歳(前年比-0.5歳)となっている。年齢層では男女とも70歳代が最も多く、次いで80歳代、60歳代となっており60歳以上が全体の86%を占めている。これは昨年と同様の結果である。男女別主要部位別の平均年齢を見てみると、子宮・前立腺以外のすべての部位で平均年齢が高くなっている。

3. 部位別症例件数

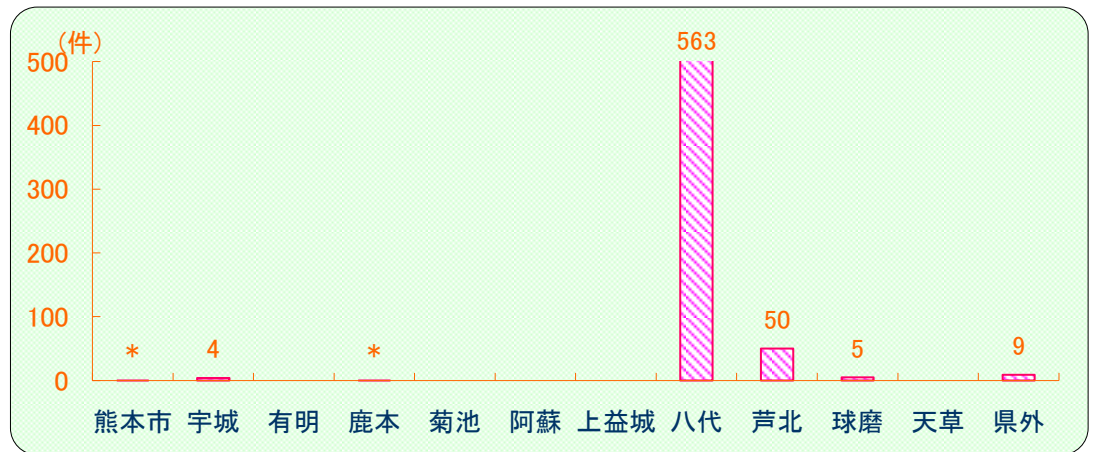
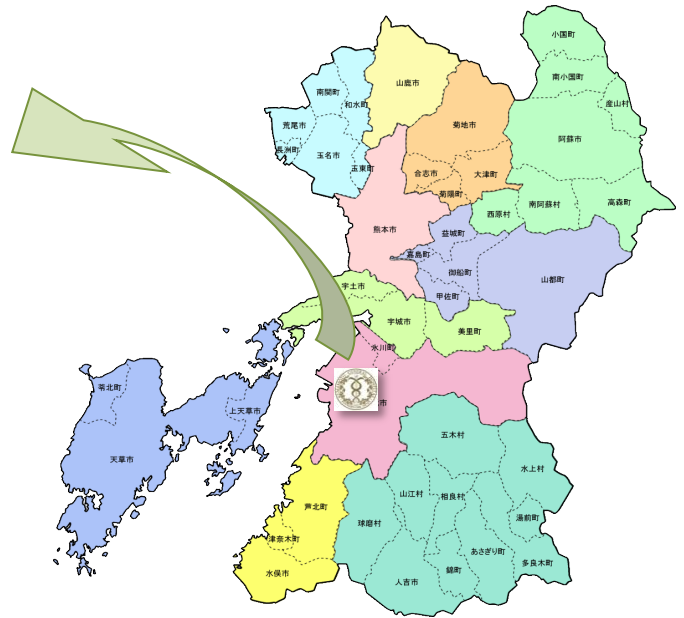
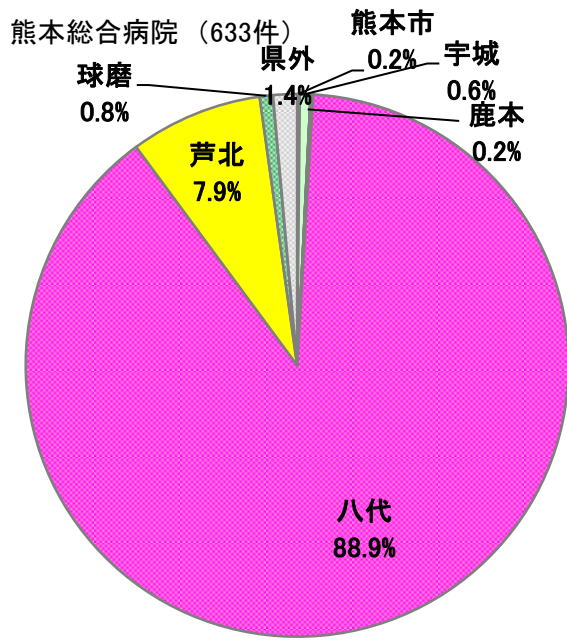
発生部位は悪性血液疾患 103件(16.3%)、胃 102件(16.1%)、大腸 92件(14.5%)、前立腺 51件(8.1%)の順で多かった。全ての部位で増加がみられたが、最も症例数の多い悪性血液疾患が本院の特色である。登録症例数の順に変わりは見られないが、胃・大腸で30件(18.3%)増加している。

4. 治療

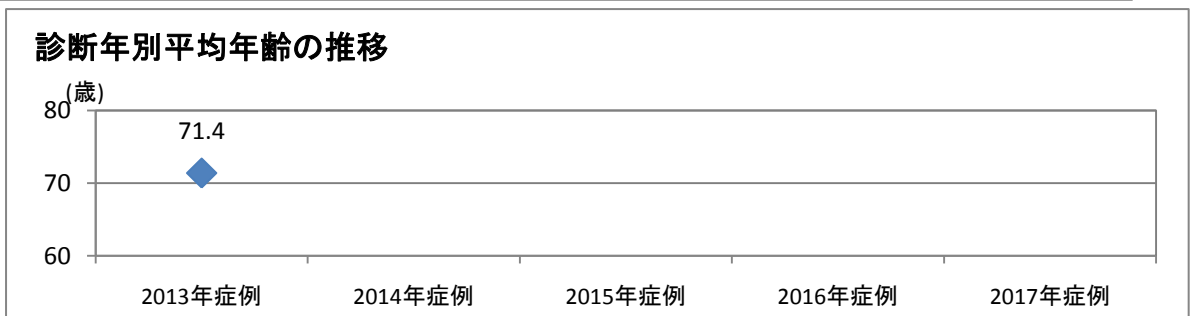
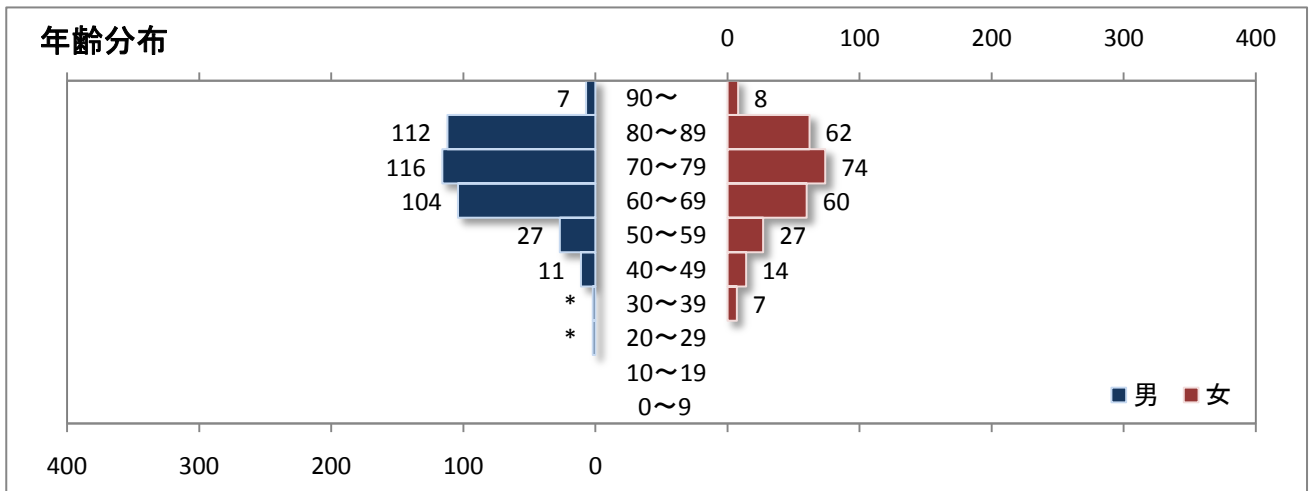
大腸では、手術(外科・体腔鏡)の件数が最も多く、次いで化学療法となっている。胃では手術(外科・体腔鏡)、内視鏡治療、化学療法の順となっている。悪性血液疾患では化学療法、内分泌療法となっている。全体の治療の内訳をみると、手術が39%、化学療法が33.1%、内分泌療法が12.4%、内視鏡が11.6%、放射線が3.9%である。

がんの診断から治療、緩和医療に至るまで当院で完結しているが、今後も継続してさらなる地域病院や施設との連携強化を図っていく必要がある。

① 患者住所医療圏別登録割合と件数



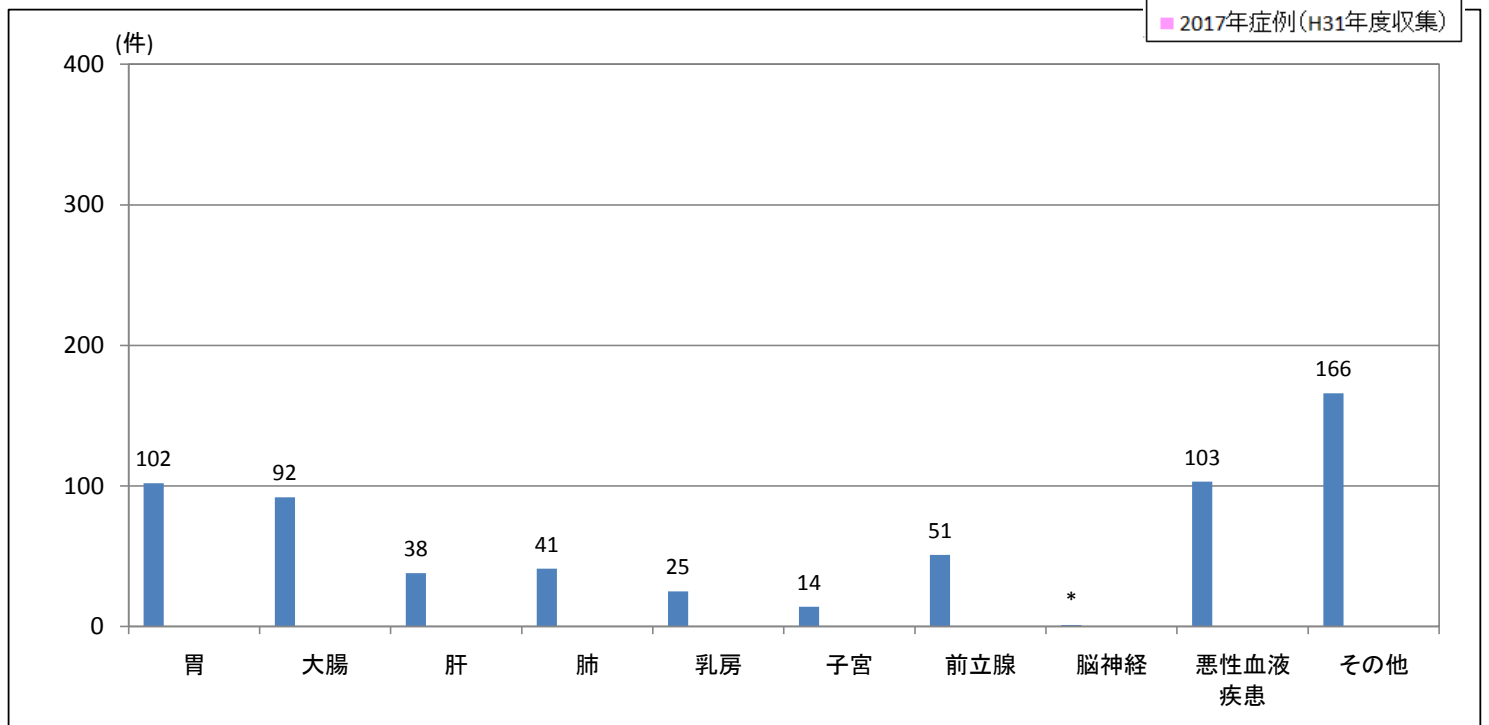
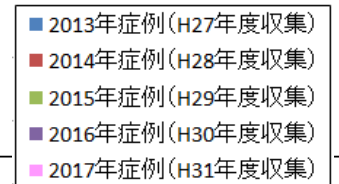
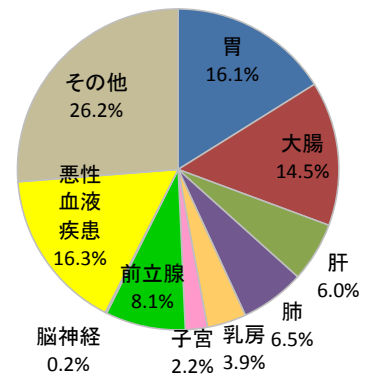
② 診断時年齢分布と平均年齢の推移



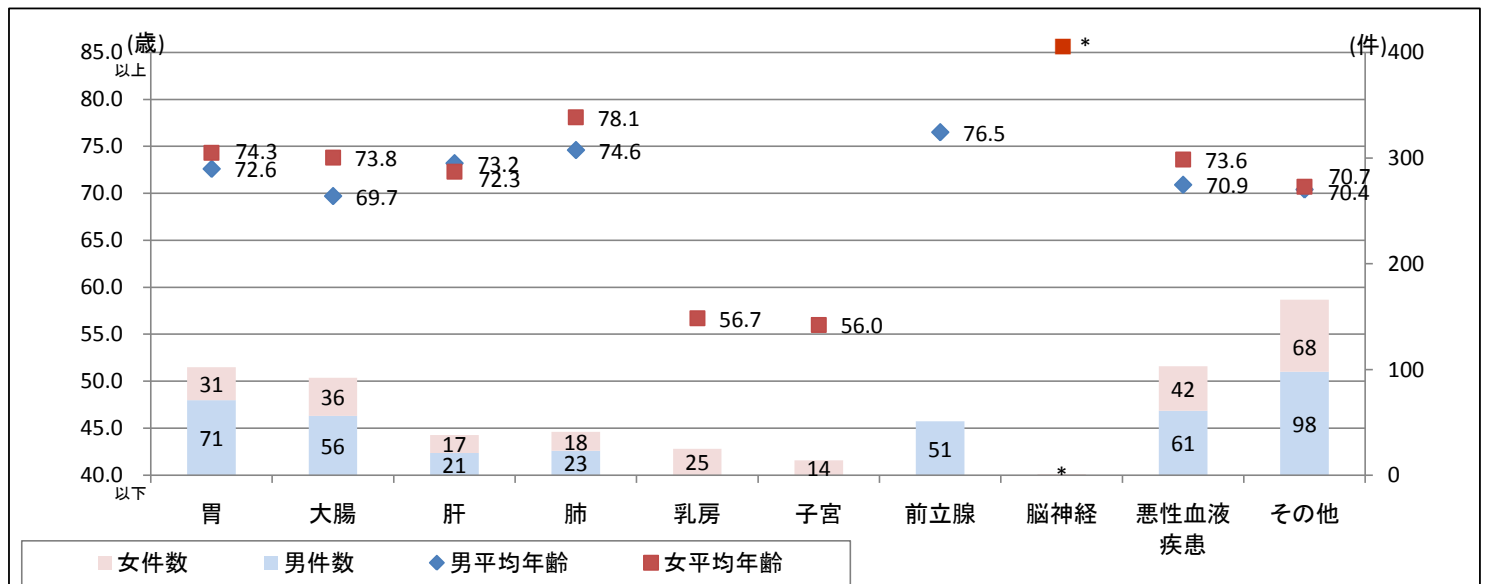
③ 診断年別 主要部位別件数

部位	2013年症例 (H27年度収集)	2014年症例 (H28年度収集)	2015年症例 (H29年度収集)	2016年症例 (H30年度収集)	2017年症例 (H31年度収集)
胃	102				
大腸	92				
肝	38				
肺	41				
乳房	25				
子宮	14				
前立腺	51				
脳神経	*				
悪性血液疾患	103				
その他	166				
計	633	0	0	0	0

2013年症例 主要部位別割合



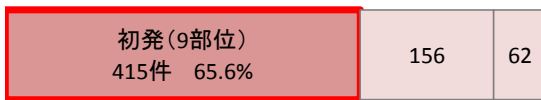
④ 男女別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 主要部位別治療の内訳

- 初発(9部位)
- 初発(その他)
- 症例区分8/治療開始後

総計:633件

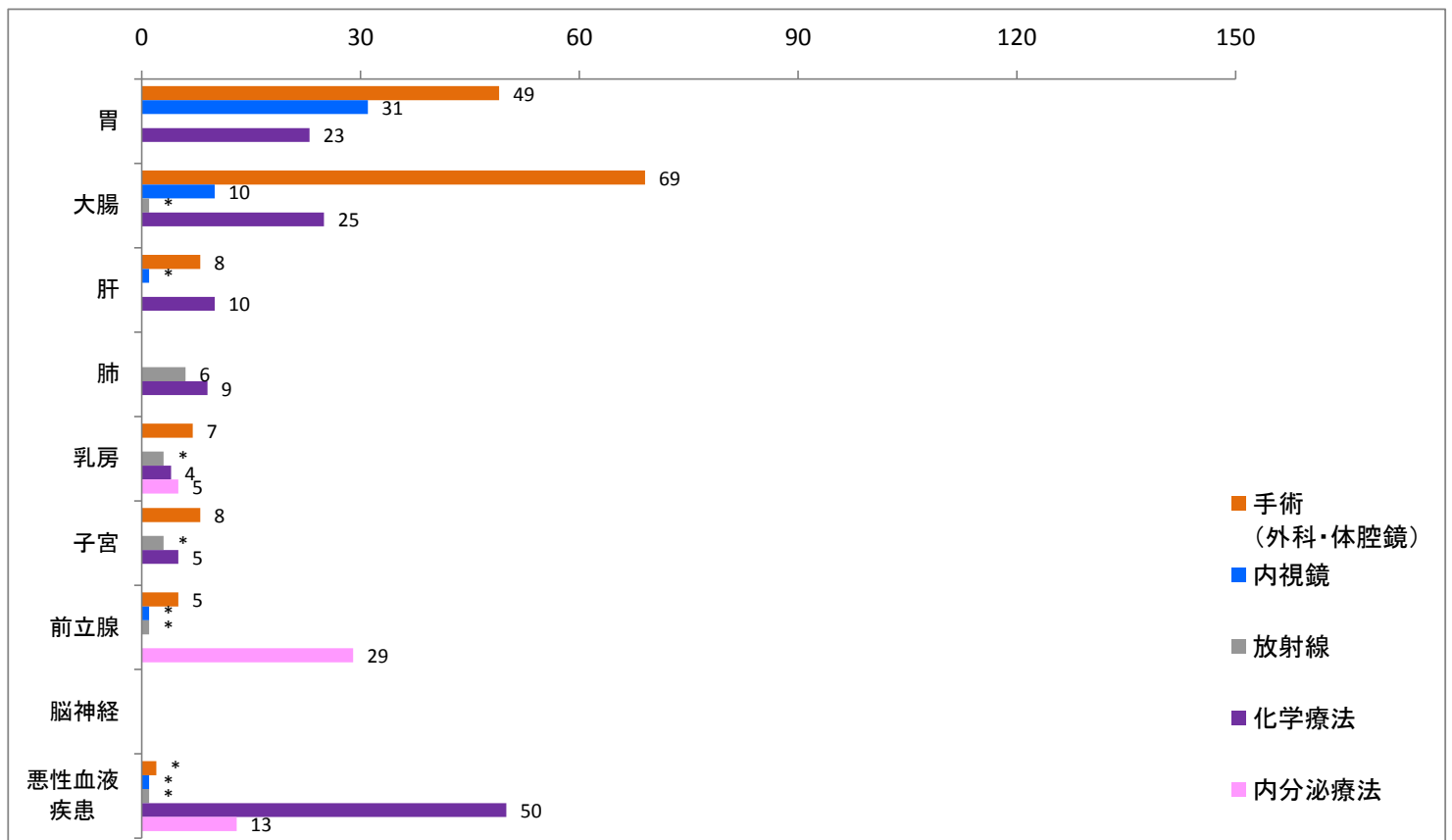


【赤枠部の治療内容を以下に集計】




- ※ 初回治療として当院で施行された治療のみ集計
- ※ 症例区分8(その他)/診断区分2(治療開始後)は除いて集計
- ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
- ※ 手術とは外科的と体腔鏡的治療の計

	(外科・体腔鏡) 手術	内視鏡	放射線	化学療法	内分泌療法	計
胃	49	31		23		103
大腸	69	10	*	25		105
肝	8	*		10		19
肺			6	9		15
乳房	7		*	4	5	19
子宮	8		*	5		16
前立腺	5	*	*		29	36
脳神経						0
悪性血液疾患	*	*	*	50	13	67
計	148	44	15	126	47	380



熊本県院内がん登録データに係る統計 - 2013年診断症例 -

医療機関名	 一般社団法人熊本市医師会 熊本地域医療センター
-------	--

○基本情報

【平成25年12月現在】

所在地	熊本市中央区本荘5丁目16-10
病床数	227床
診療科数	11科
がん診療連携拠点病院指定日	2011.11.07
がん登録開始基準日	2011.01.01
平均在院日数	11.0 (日)
入院患者数	5,061 (人)
外来患者延数	64,905 (人)
院内がん登録件数	531 (件)
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 0 / 初級者 2 / 他 0 (名)

○医療機関からのコメント

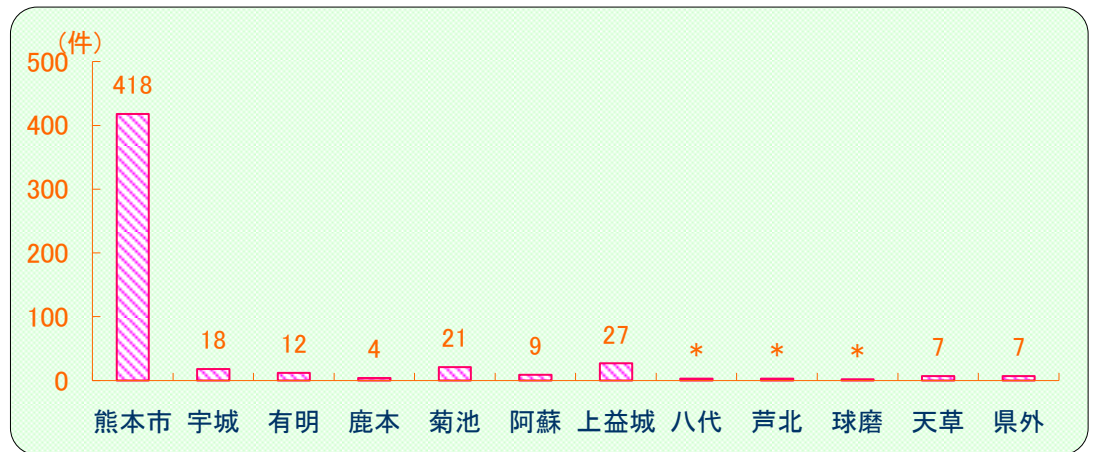
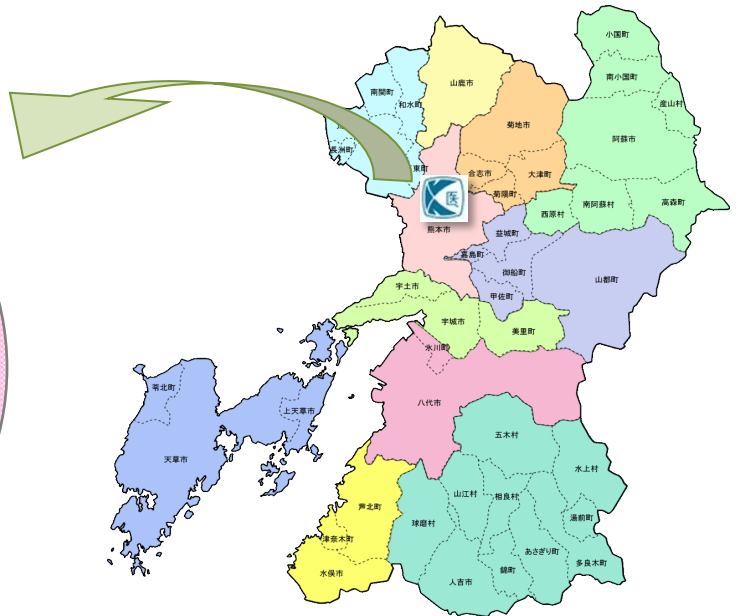
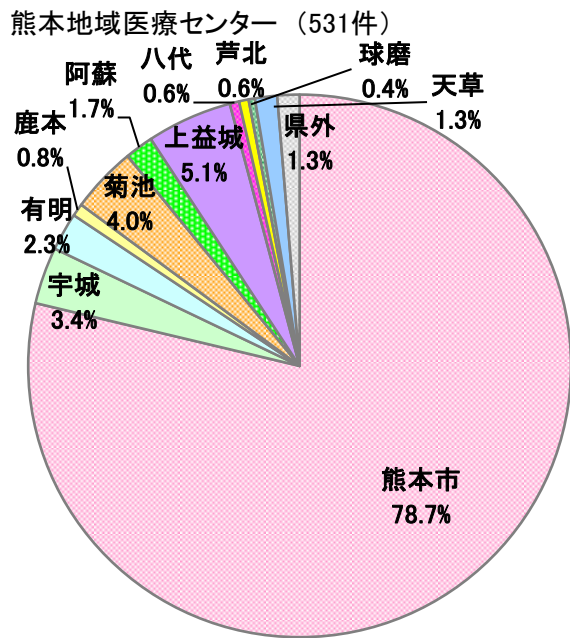
2013年症例は531件で前年より56件(約11.7%)増加した。2011年症例が459件、2012年症例が475件で、徐々に増加してきている。男女別にみると男性が301件(56.7%)、女性が230件(43.3%)と男性が多かった。前年と比較すると男性266件(56.0%)、女性209件(44.0%)と大差はなかった。平均年齢は72.1歳で、前年度73.1歳であった。

診療圏では熊本市が全体の78.7%を占めており、これは当院が熊本市の医師会病院であり、基本的に医師会員からの紹介患者を受け入れているためと考えられる。紹介率は82.4%であった。

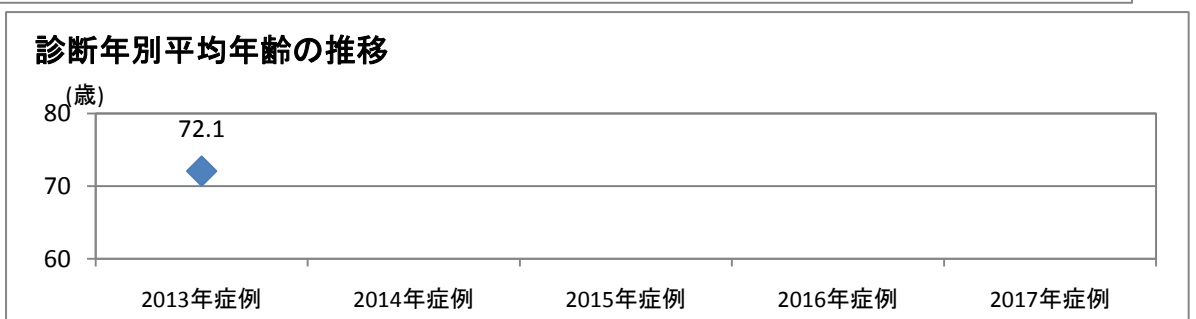
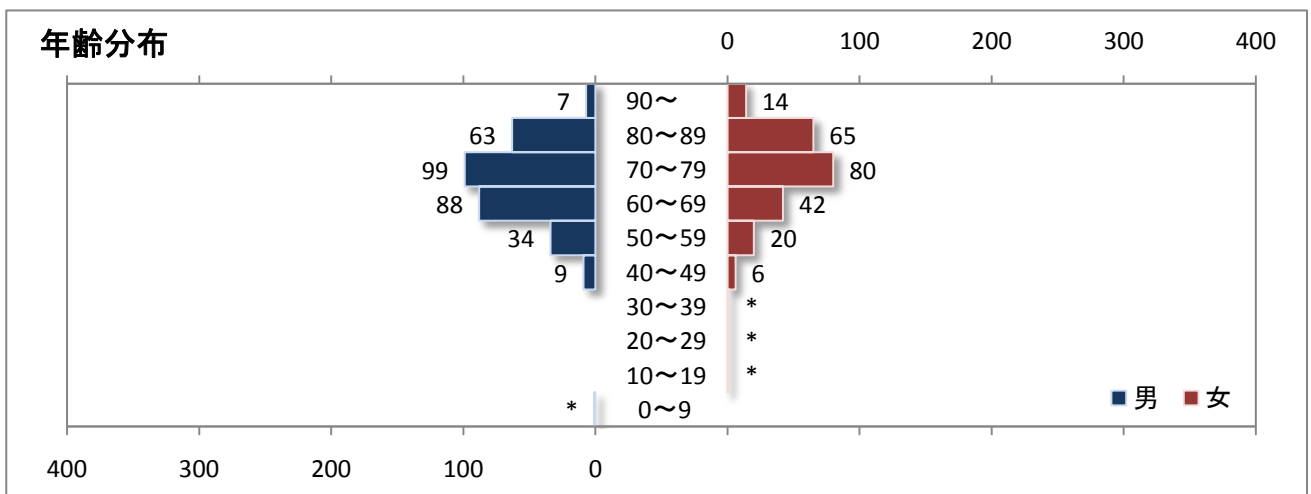
2013年の上位5部位は大腸、胃、膵臓、肺、肝の順であり、2012年と順位差はなかった。当院では現院長の着任後膵臓がんの症例が増えている。内訳は大腸173例(28例増)、胃95例(19例増)、膵70例(9例増)、肺67例(8例増)、肝23例(8例減)であった。

がん治療については胃、大腸で、内視鏡的手術・外科・体腔鏡手術が多く行われた。胃のⅠ期の割合は68.4%、Ⅱ期7.3%、Ⅲ期6.3%、Ⅳ期2.1%であった。大腸は0期29.4%、Ⅰ期12%、Ⅱ期19.6%、Ⅲ期17.3%、Ⅳ期8.6%であった。登録件数のうち早期がんの占める割合は33.7%であった。2012年が32.0%で微増していた。膵臓がんは亜全胃温存膵頭十二指腸切除術が14件行われた。

① 患者住所医療圏別登録割合と件数



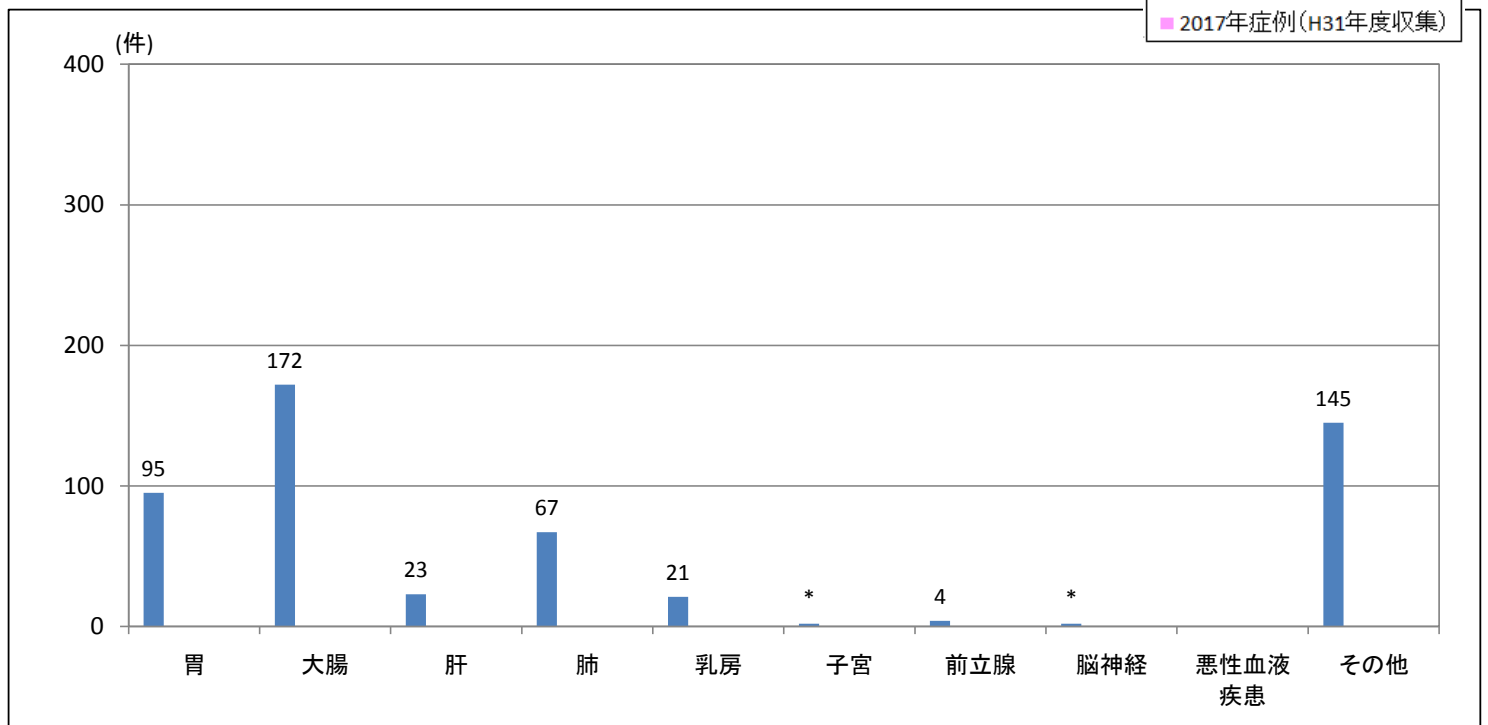
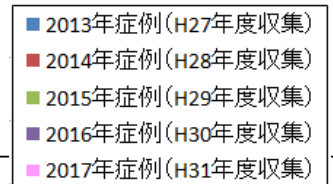
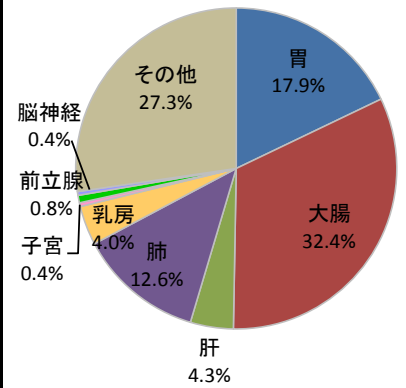
② 診断時年齢分布と平均年齢の推移



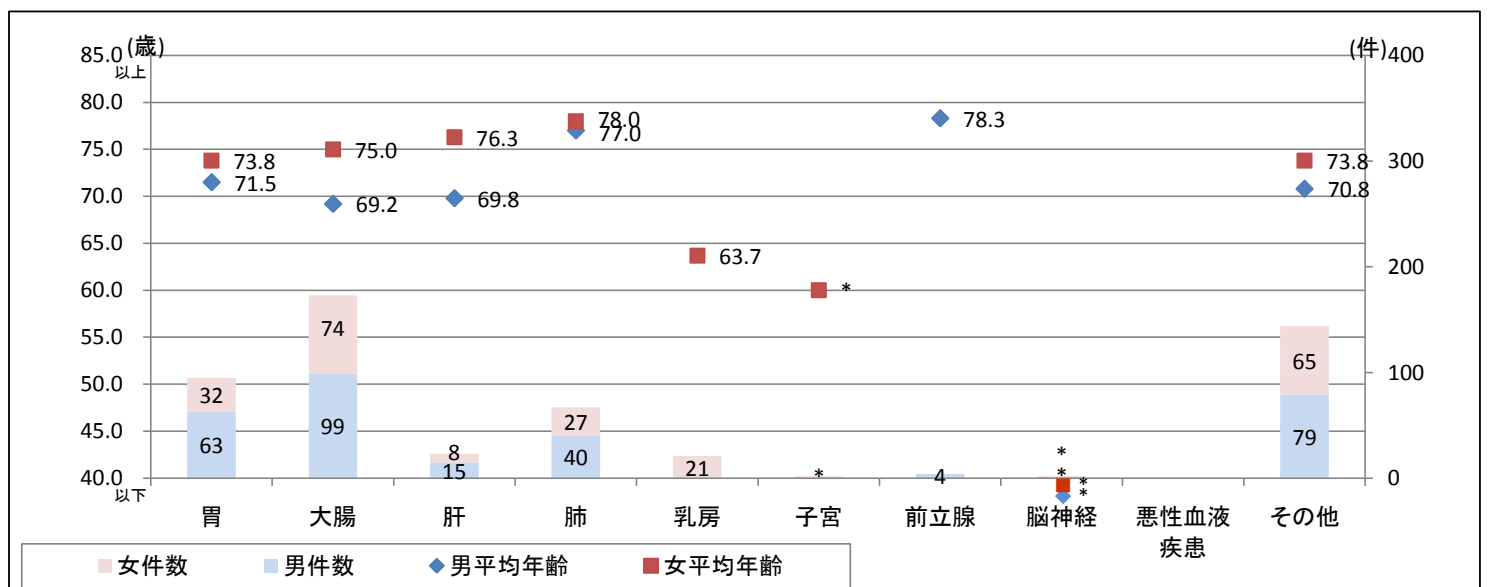
③ 診断年別 主要部位別件数

部位	2013年症例 (H27年度収集)	2014年症例 (H28年度収集)	2015年症例 (H29年度収集)	2016年症例 (H30年度収集)	2017年症例 (H31年度収集)
胃	95				
大腸	172				
肝	23				
肺	67				
乳房	21				
子宮	*				
前立腺	4				
脳神経	*				
悪性血液疾患					
その他	145				
計	531	0	0	0	0

2013年症例 主要部位別割合



④ 男女別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 主要部位別治療の内訳

- 初発(9部位)
- 初発(その他)
- 症例区分8/治療開始後

総計:531件

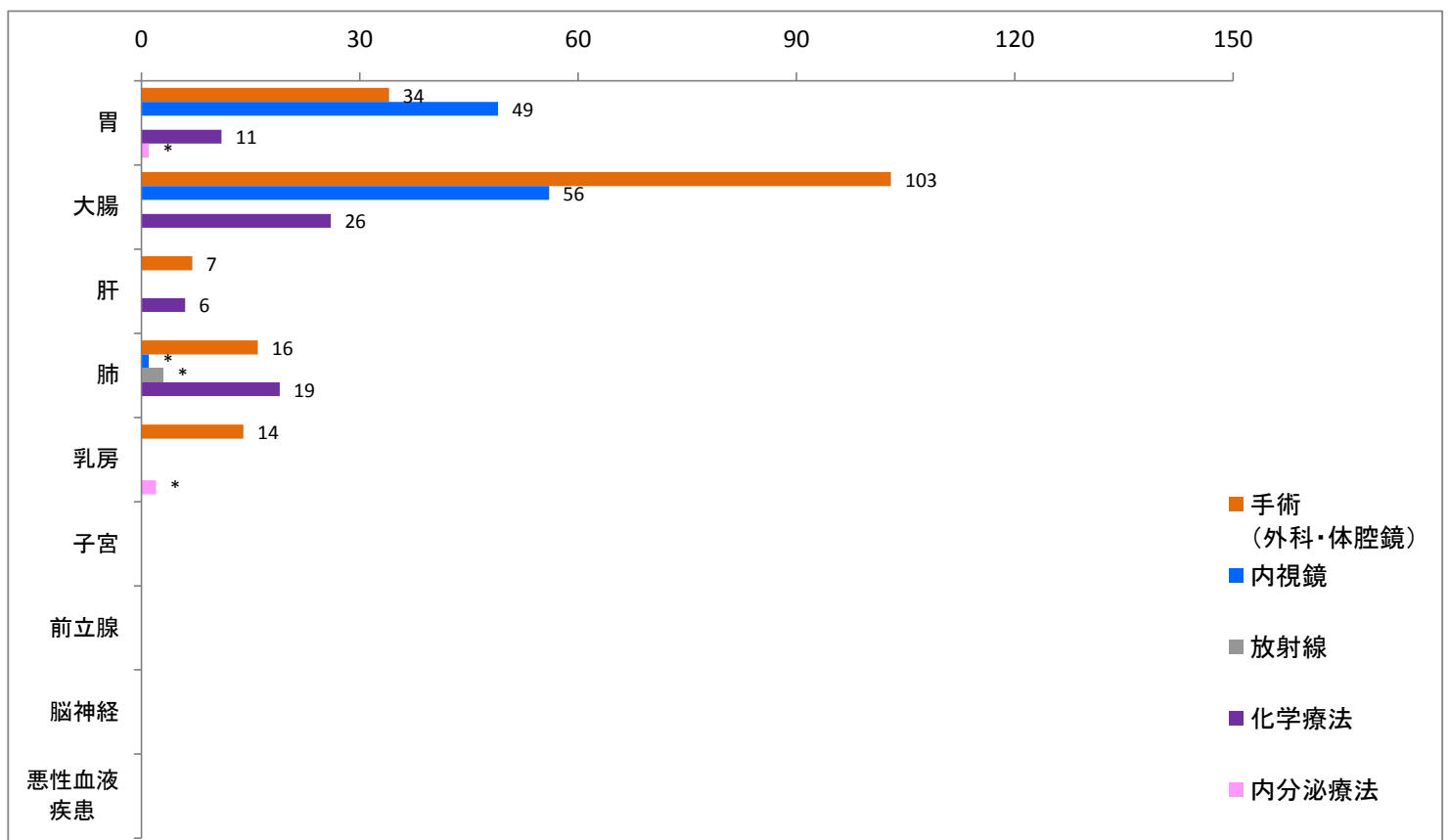
初発(9部位) 339件 63.8%	117	75
-----------------------	-----	----

【赤枠部の治療内容を以下に集計】



- ※ 初回治療として当院で施行された治療のみ集計
- ※ 症例区分8(その他)/診断区分2(治療開始後)は除いて集計
- ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
- ※ 手術とは外科的と体腔鏡的治療の計

	(外科・体腔鏡) 手術	内視鏡	放射線	化学療法	内分泌療法	計
胃	34	49		11	*	95
大腸	103	56		26		185
肝	7			6		13
肺	16	*	*	19		39
乳房	14				*	16
子宮						0
前立腺						0
脳神経						0
悪性血液疾患						0
計	174	106	*	62	*	348



熊本県院内がん登録データに係る統計 —2013年診断症例—

医療機関名	 国家公務員共済組合連合会 熊本中央病院
-------	--

○基本情報

【平成25年12月現在】

所在地	熊本市南区田井島1丁目5番1号
病床数	361床
診療科数	17科
がん診療連携拠点病院指定日	2010.08.17
がん登録開始基準日	2008.01.01
平均在院日数	12.8 (日)
入院患者数	7,706 (人)
外来患者延数	110,429 (人)
院内がん登録件数	966 (件)
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 0 / 初級者 2 / 他 0 (名)

○医療機関からのコメント

[件数]
当院の症例数は966件であり、前年の1015件に比べ約5%減少している。前年はケースファインディングの範囲を拡大したため増加となったが、本年は例年同様となっている。

[男女比・平均年齢]
男女比率は男性71%(688件)、女性29%(278件)、平均年齢は71.3歳であり、ほぼ前年同様である。

[患者住所医療圏]
熊本が47.1%を占め、続いて上益城(15%)、宇城(9.4%)、天草(7.7%)と前年同様であり、地域連携に取り組んでいる結果といえる。

[当院の特徴]
当院症例の特徴としては、肺と前立腺で全体の半数以上(約55%)を占めていることが挙げられ、肺の手術、化学療法、放射線療法等を主とする呼吸器系の治療と、前立腺の手術、内分泌療法等を主とする泌尿器系の治療に特化している。

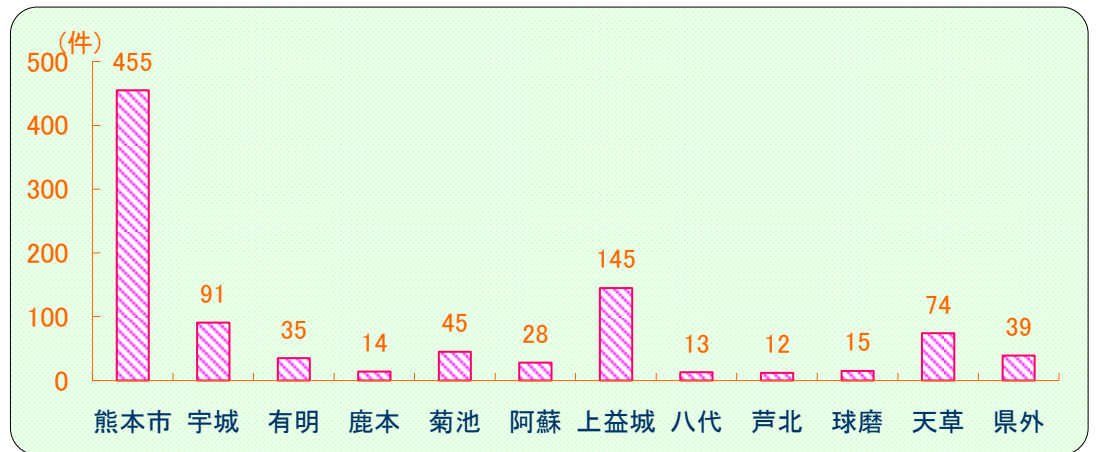
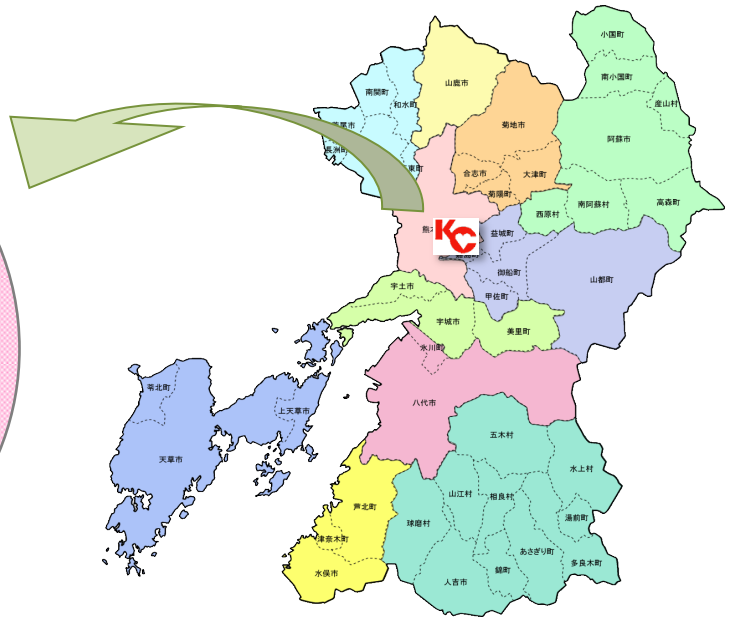
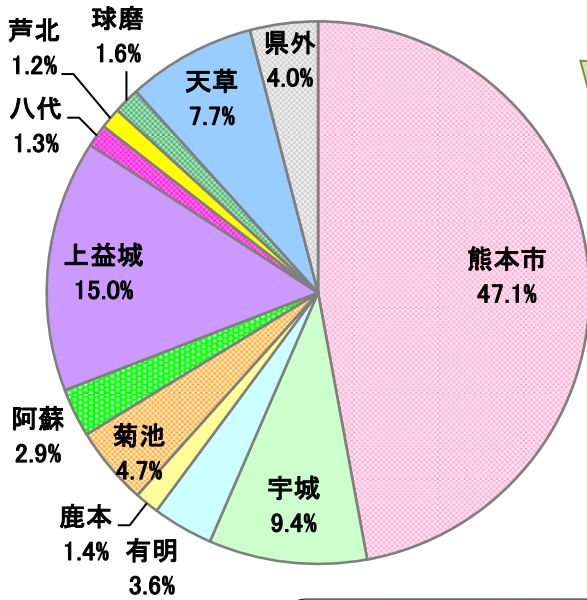
主要部位別件数の上位からみると、肺(281件)、前立腺(255件)、大腸(89件)、胃(76件)、乳房(61件)となり、上位5部位に5大がんのうち4部位が入っている。乳房については、他施設との連携で放射線治療を多く行っていることから、初発症例は数件のみであり、90%以上が治療開始後の症例となった。

また、今回の統計では「部位区分:その他」に含まれているが、膀胱尿路、腎等の症例数も多く、前立腺と合わせると泌尿器系の症例数は376件に上る。同様に「部位区分:その他」に含まれる膵、胆等の症例を大腸、胃等と合わせると、消化器系の症例数は295件となる。

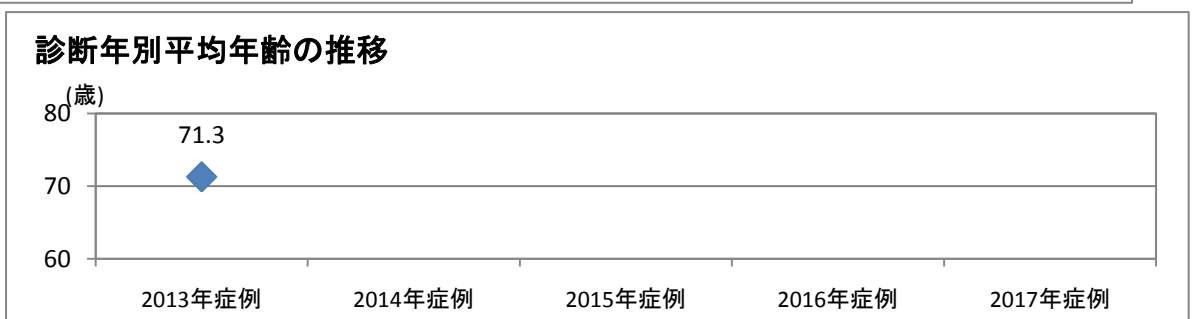
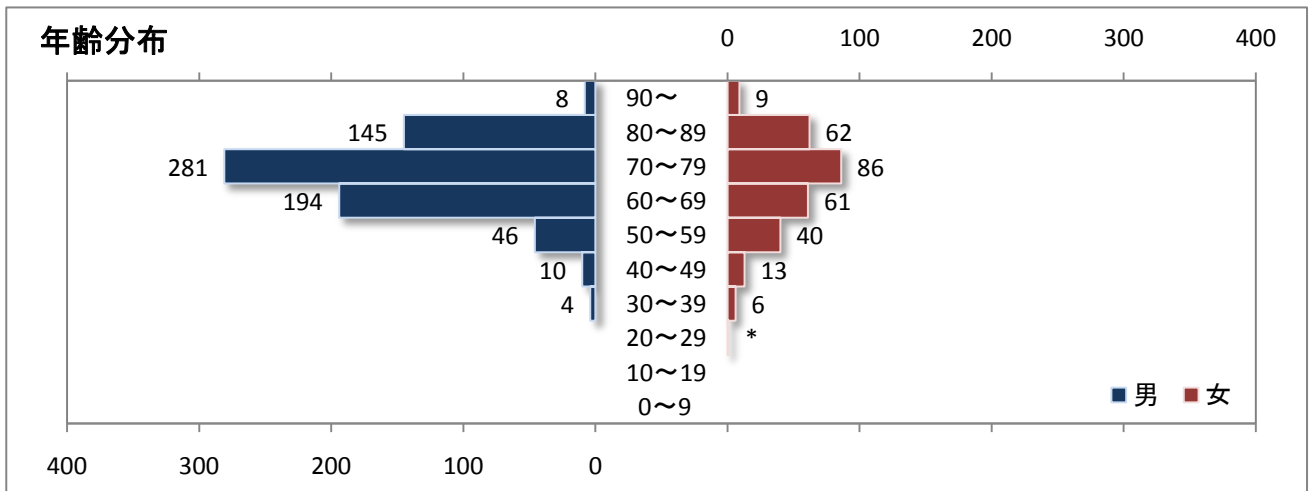
治療に関しては、手術の中でも体腔鏡的手術(胸腔鏡、腹腔鏡)の症例数が多く、QOLを考慮した治療を行っている。

① 患者住所医療圏別登録割合と件数

熊本中央病院（966件）



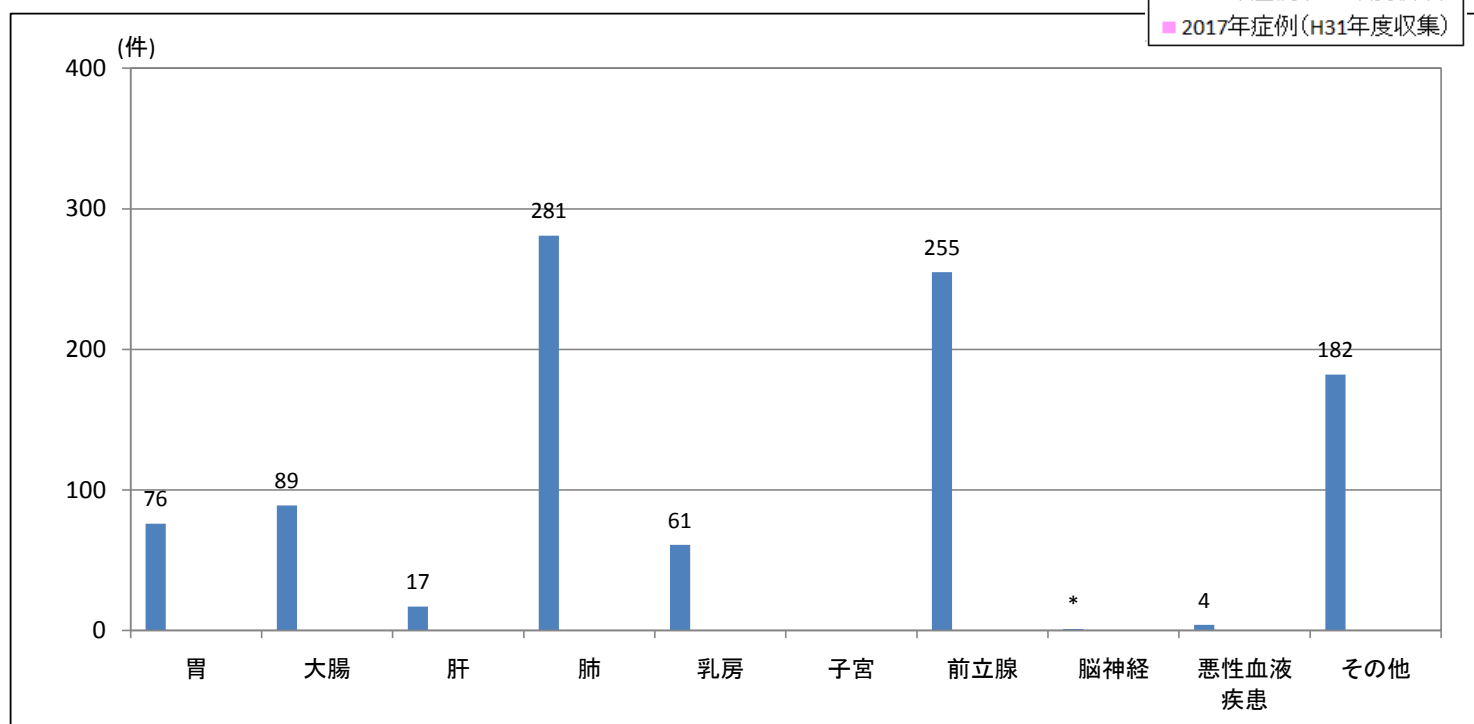
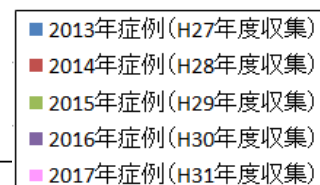
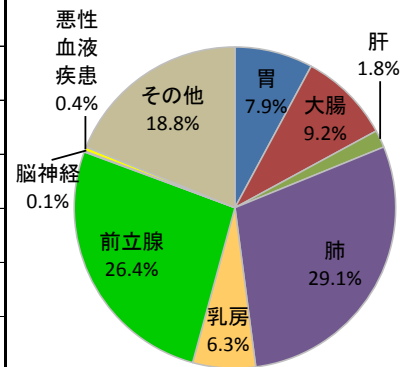
② 診断時年齢分布と平均年齢の推移



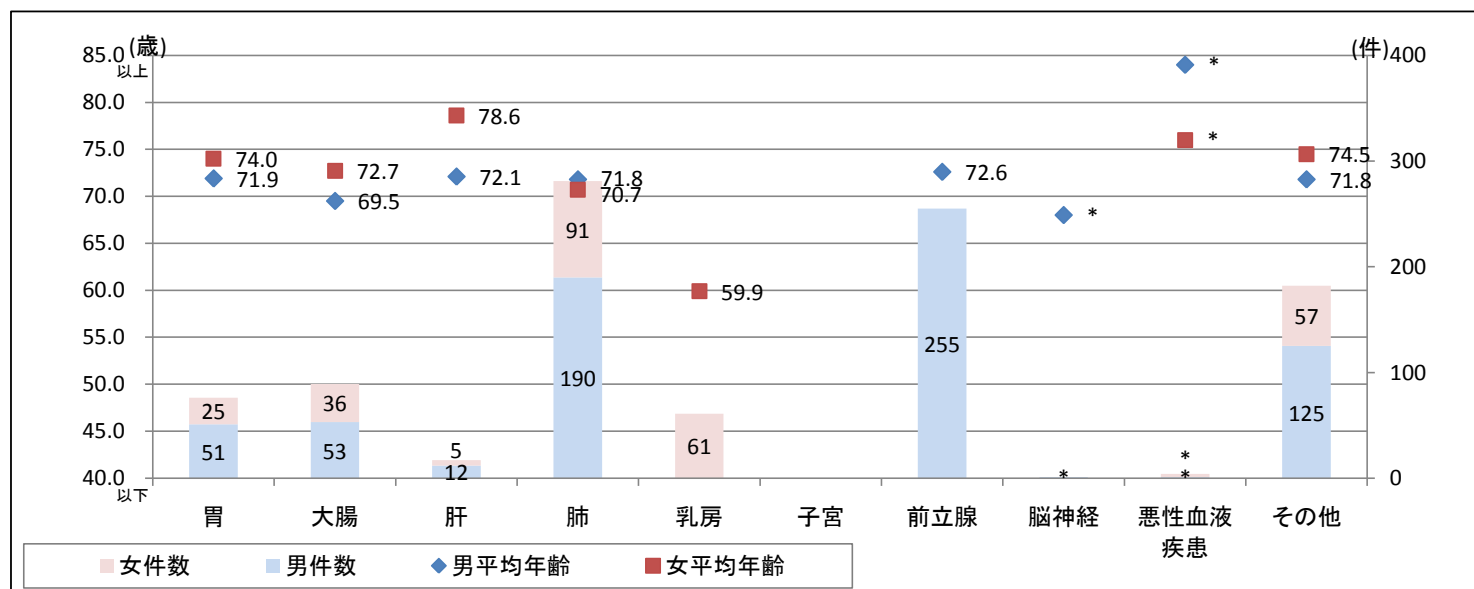
③ 診断年別 主要部位別件数

部位	2013年症例 (H27年度収集)	2014年症例 (H28年度収集)	2015年症例 (H29年度収集)	2016年症例 (H30年度収集)	2017年症例 (H31年度収集)
胃	76				
大腸	89				
肝	17				
肺	281				
乳房	61				
子宮					
前立腺	255				
脳神経	*				
悪性血液疾患	4				
その他	182				
計	966	0	0	0	0

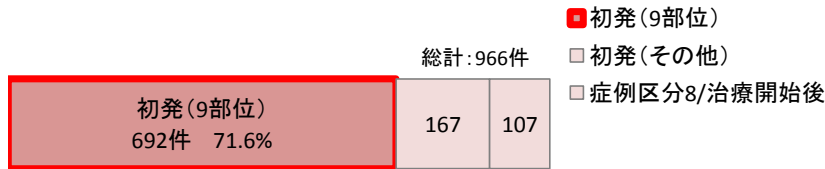
2013年症例 主要部位別割合



④ 男女別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 主要部位別治療の内訳

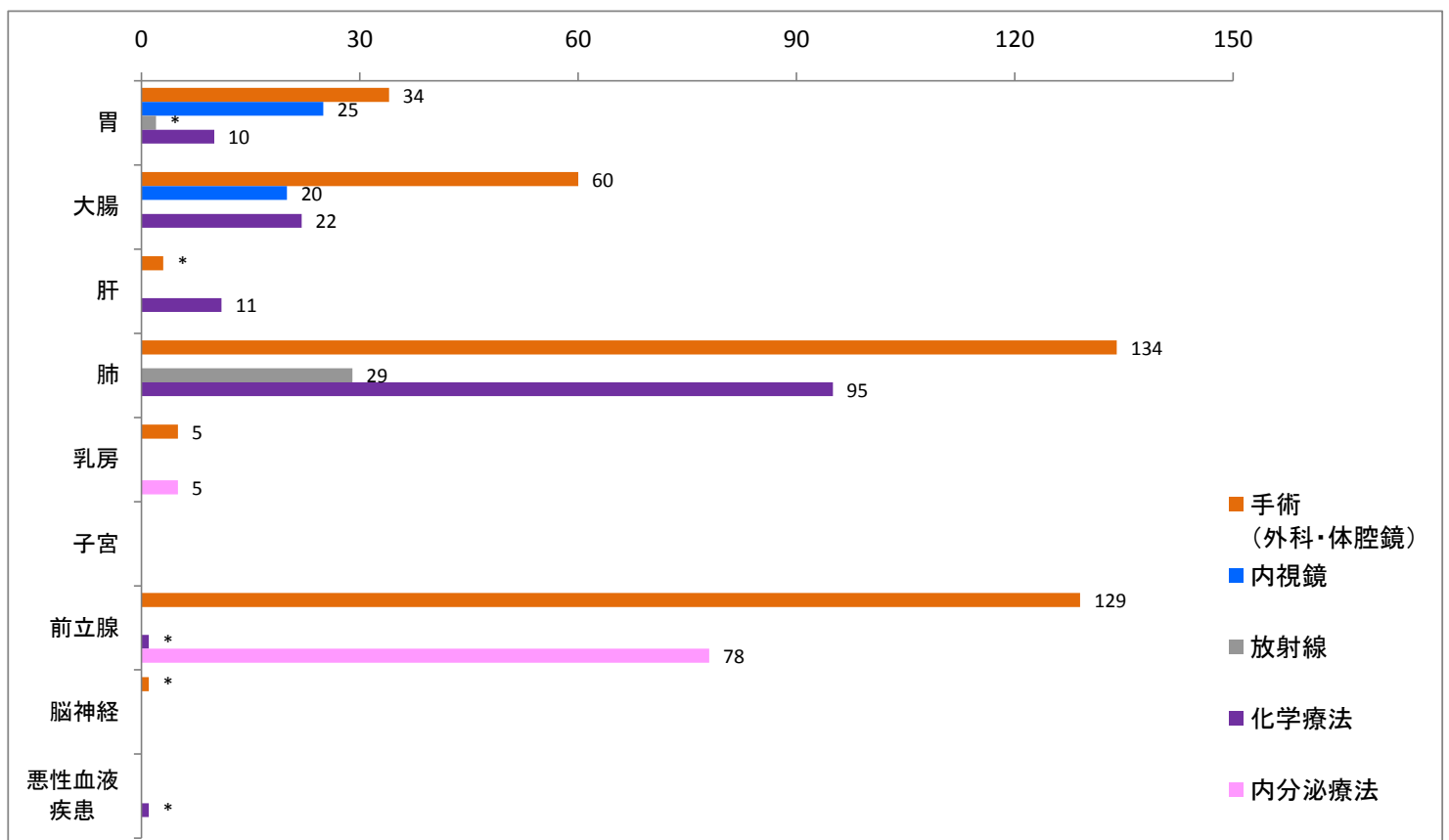


【赤枠部の治療内容を以下に集計】




- ※ 初回治療として当院で施行された治療のみ集計
- ※ 症例区分8(その他)/診断区分2(治療開始後)は除いて集計
- ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
- ※ 手術とは外科的と体腔鏡的治療の計

	(外科・体腔鏡) 手術	内視鏡	放射線	化学療法	内分泌療法	計
胃	34	25	*	10		71
大腸	60	20		22		102
肝	*			11		14
肺	134		29	95		258
乳房	5				5	10
子宮						0
前立腺	129			*	78	208
脳神経	*					*
悪性血液疾患				*		*
計	366	45	31	140	83	665



熊本県院内がん登録データに係る統計 —2013年診断症例—

医療機関名		独立行政法人国立病院機構 熊本南病院
-------	---	-----------------------

○基本情報

【平成25年12月現在】

所在地	宇城市松橋町豊福2338番地
病床数	250床
診療科数	12科
がん診療連携拠点病院指定日	2014.02.28
がん登録開始基準日	2012.04.01
平均在院日数	39.2 (日)
入院患者数	1,335 (人)
外来患者延数	36,441 (人)
院内がん登録件数	102 (件)
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 0 / 初級者 1 / 他 0 (名)

○医療機関からのコメント

熊本南病院は、2014年2月28日に熊本県から「がん診療連携拠点病院」に指定されました。この指定に先立ち、2012年4月から当院で扱った対象がん患者から報告しています。したがって経年比較はできませんが、当院の扱う患者の傾向をお知らせします。

2013年の登録は全体102件となります。

消化器がん21件(20.5%)手術あり12件(57%)化学療法9件(42.9%)、肺がん30件(29.4%)手術あり5件(16.7%)化学療法5件(16.7%)転院にて治療など20件、血液がん21件(20.6%)化学療法2件(9.5%)、肝臓がん8件(7.8%)手術あり2件(25%)、乳房5件(5%)手術あり5件(100%)化学療法1件(20%)、その他の疾患17件(16.7%)が主な内訳となります。

◇消化器がんでも胃・大腸がんが多く、また、肝臓・胆嚢・膵臓の悪性疾患は少ない傾向にあるようです。

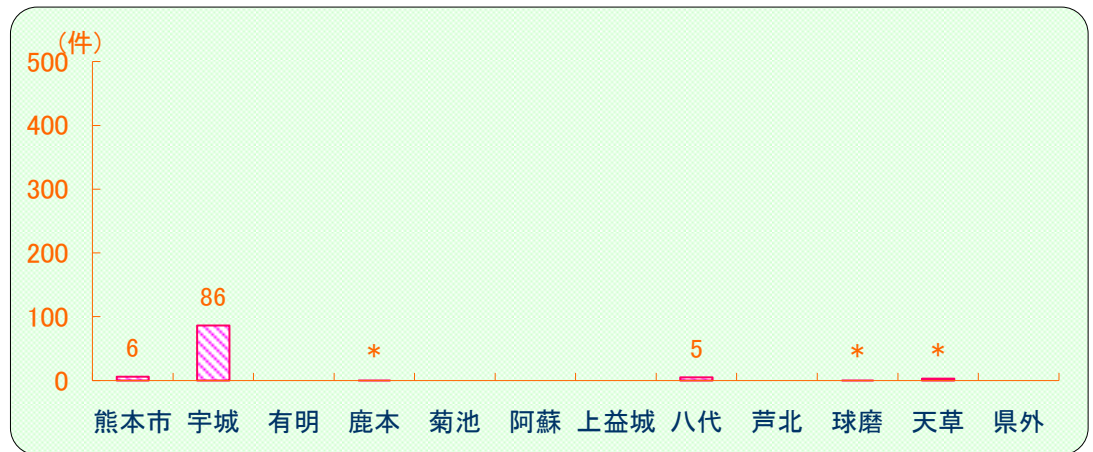
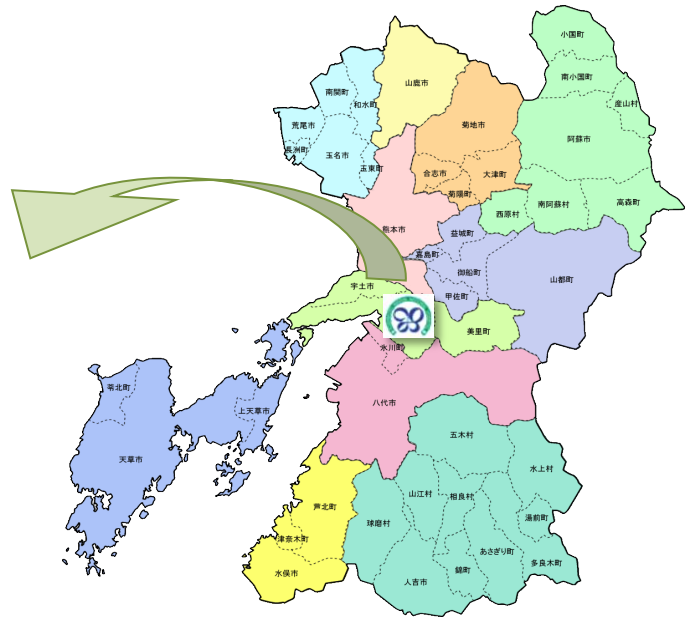
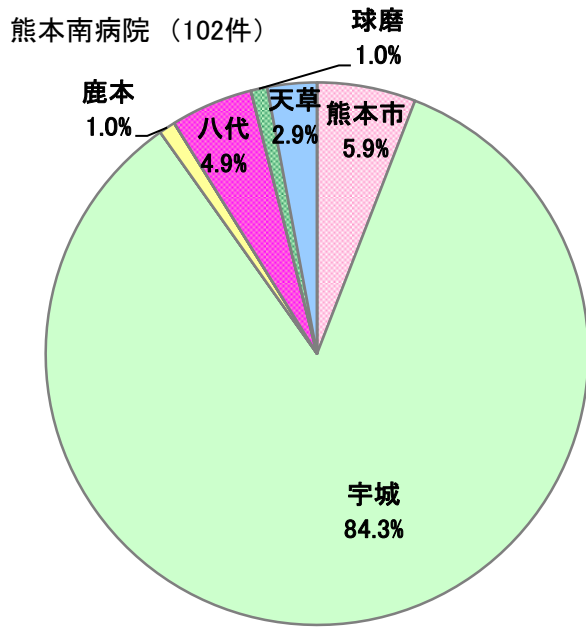
◇肺がんは、進行したがんでは化学療法を行う症例も多いようです。

◇血液がんはMDS、悪性リンパ腫などが多くなっています。

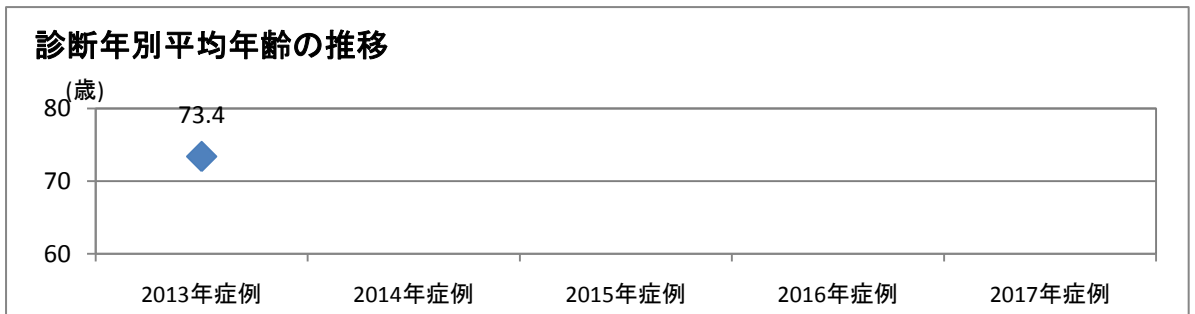
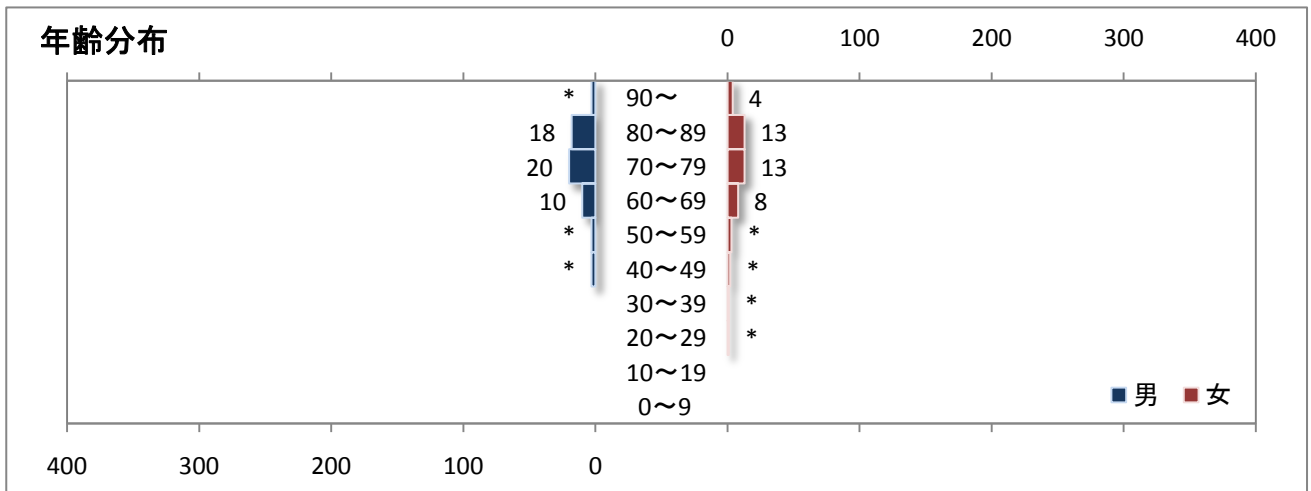
地域をみると、殆どが宇城医療圏在住の患者(84.3%)となります。宇城地域の中核病院となっています。

地域の広報に努め、地元でも血液がん治療が可能なことを広めて、積極的に患者登録を行い、また「私のカルテ」の導入や相談支援「がんサロン」の開催をより一層推進させたいと考えます。

① 患者住所医療圏別登録割合と件数



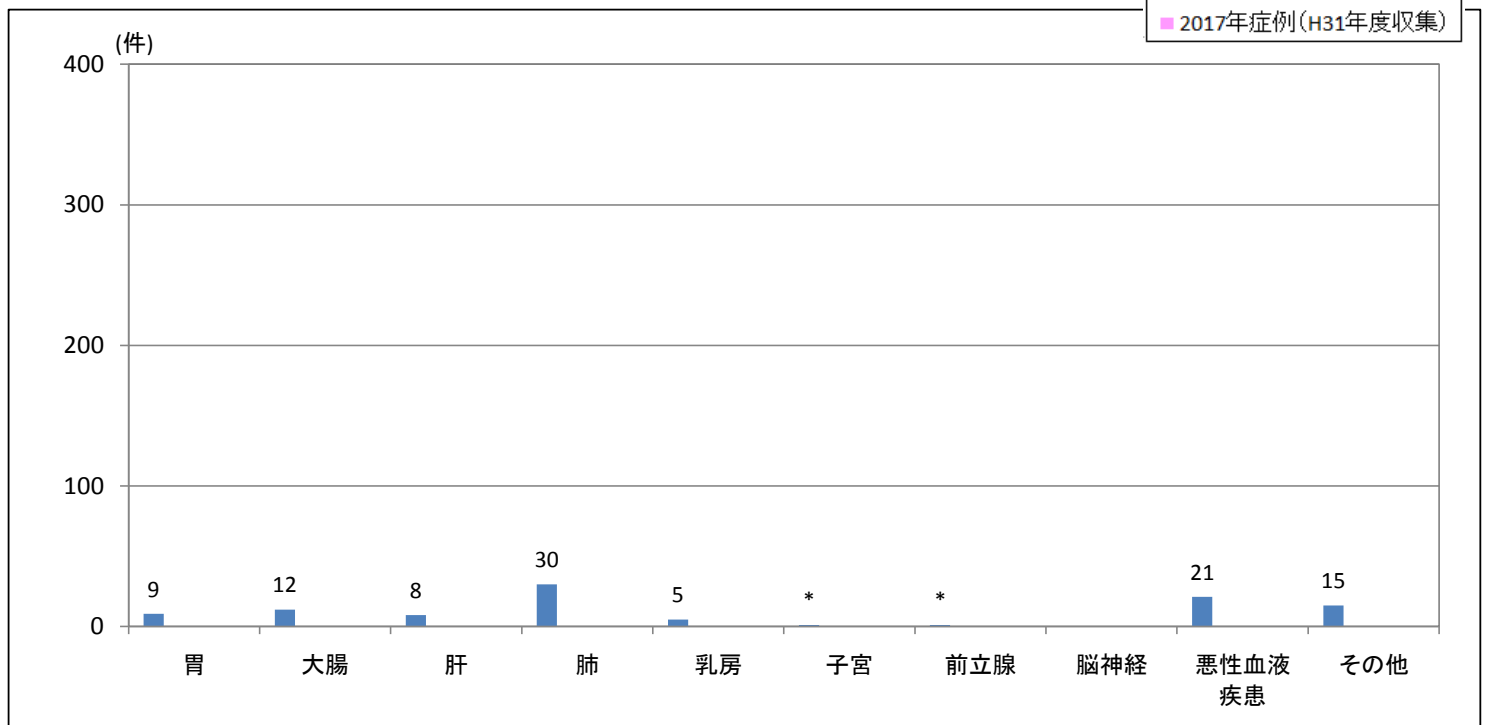
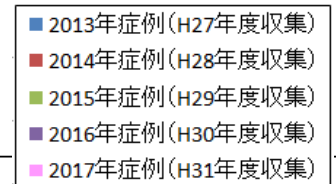
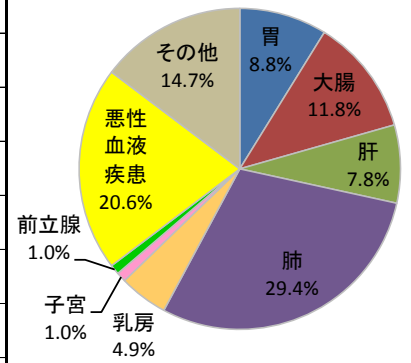
② 診断時年齢分布と平均年齢の推移



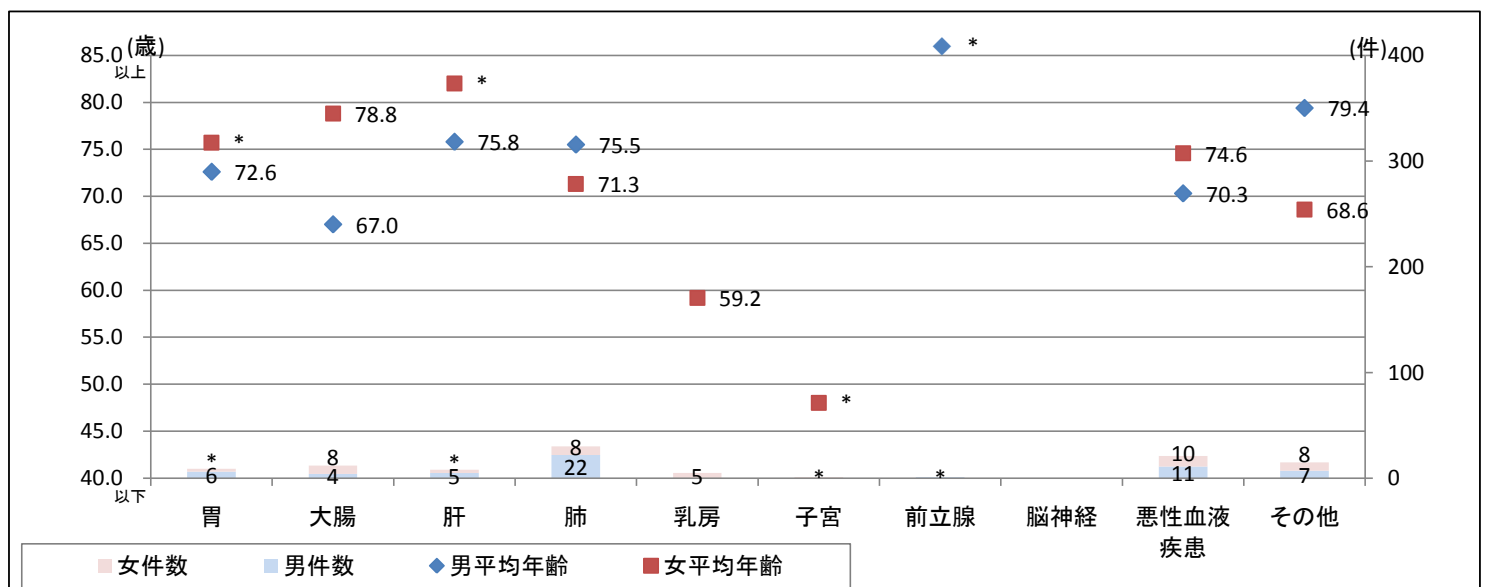
③ 診断年別 主要部位別件数

部位	2013年症例 (H27年度収集)	2014年症例 (H28年度収集)	2015年症例 (H29年度収集)	2016年症例 (H30年度収集)	2017年症例 (H31年度収集)
胃	9				
大腸	12				
肝	8				
肺	30				
乳房	5				
子宮	*				
前立腺	*				
脳神経					
悪性血液疾患	21				
その他	15				
計	102	0	0	0	0

2013年症例 主要部位別割合



④ 男女別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 主要部位別治療の内訳

- 初発(9部位)
- 初発(その他)
- 症例区分8/治療開始後

総計: 102件

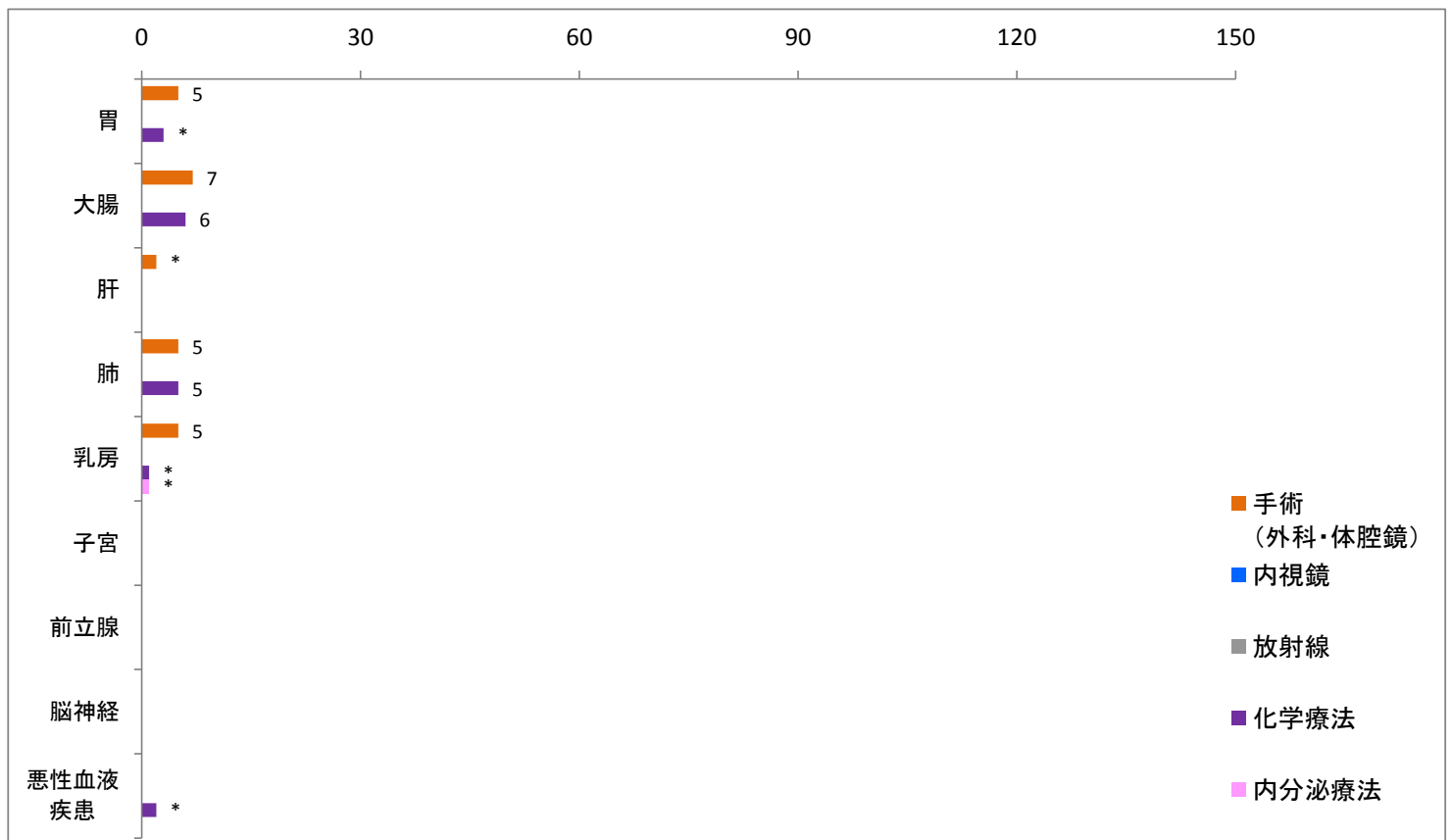
初発(9部位) 73件 71.6%	11	18
----------------------	----	----

【赤枠部の治療内容を以下に集計】




- ※ 初回治療として当院で施行された治療のみ集計
- ※ 症例区分8(その他)/診断区分2(治療開始後)は除いて集計
- ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
- ※ 手術とは外科的と体腔鏡的治療の計

	(外科・体腔鏡) 手術	内視鏡	放射線	化学療法	内分泌療法	計
胃	5			*		8
大腸	7			6		13
肝	*					*
肺	5			5		10
乳房	5			*	*	7
子宮						0
前立腺						0
脳神経						0
悪性血液疾患				*		*
計	24	0	0	17	*	42



熊本県院内がん登録データに係る統計 —2013年診断症例—

医療機関名		特定医療法人社団高野会高野病院
-------	---	-----------------

○基本情報

【平成25年12月現在】

所在地	熊本市中央区帯山4丁目2番88号
病床数	166床
診療科数	10科
がん診療連携拠点病院指定日	2011.11.07
がん登録開始基準日	2010.01.01
平均在院日数	8.3 (日)
入院患者数	5,101 (人)
外来患者延数	64,183 (人)
院内がん登録件数	222 (件)
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 0 / 初級者 3 / 他 0 (名)

○医療機関からのコメント

院内がん登録を2010年症例より開始し、2011年は224件、2012年は230件、2013年は222件を登録した(前年比96.5%)。

当院は大腸肛門の専門病院であるため、発生部位は大腸が198件(89.2%)と圧倒的に多い。その他としては胃7件(3.2%)、消化器他がん17件(7.7%)である。消化器他がんでは、肛門癌が10件と最も多く、全体の4.5%である。

患者住所医療圏別で比較すると、熊本市が89件(40.1%)で最も多く、県北部地域(有明、鹿北、菊池、阿蘇)で45件(20.3%)を占めている。また県外からも39件(17.6%)と比較的多い。これは、当院が大腸がん検診を行っており、その事業が県外に及ぶことに加え、肛門機能の温存を希望し、医師紹介により当院を受診されることが影響しているものと考えられる。

男女別に見ると、男性130件では大腸がんが114件(87.7%)と多く、胃がん4件(3.1%)、消化器他がん12件(9.2%)、平均年齢は62.3歳であった。女性92件では大腸がん84件(91.%)で平均年齢は67.0歳と男性より若干高かった。年齢別件数を見ると、男女共に20代から90代までと広く分布しており、その中でも60歳代が最も多かった。

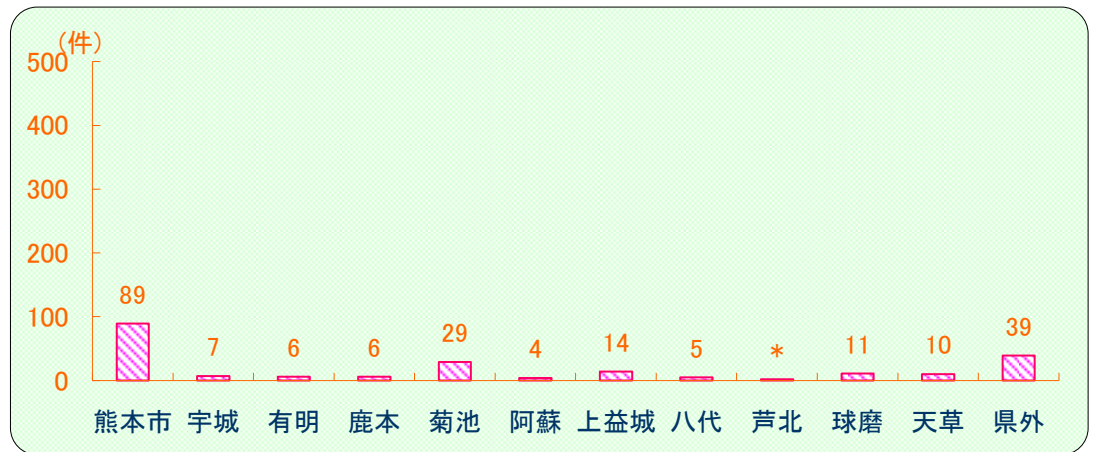
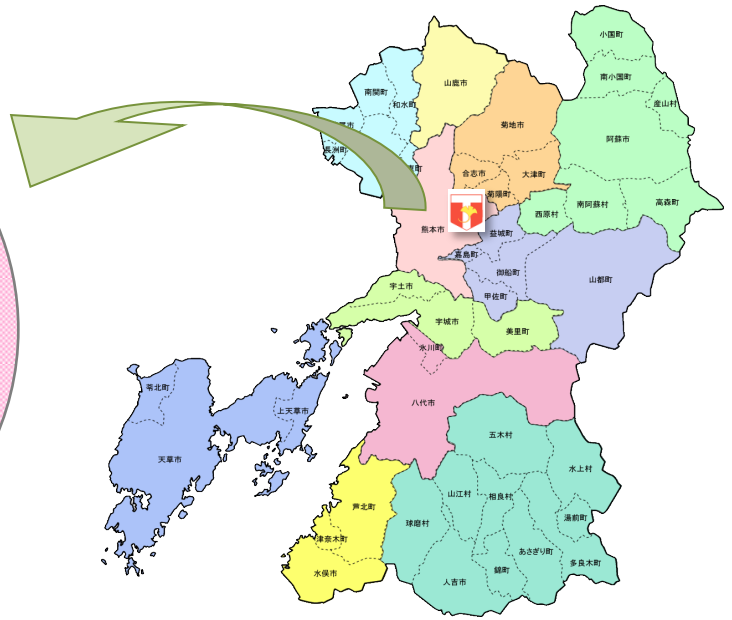
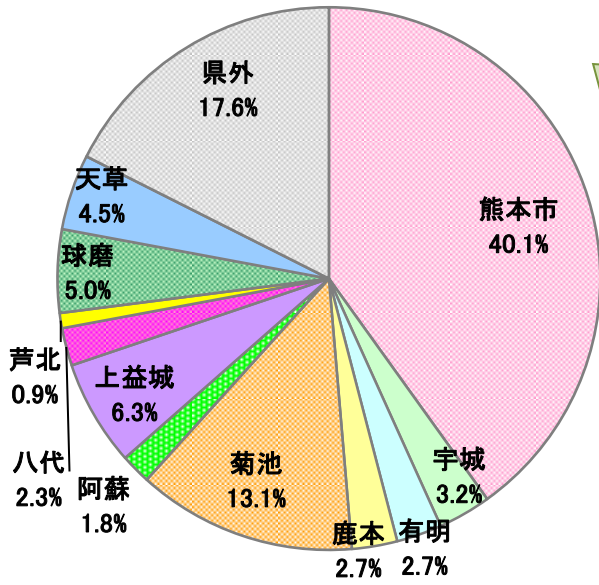
発見経緯は、がん検診が87件(39.2%)、自主来院を含むその他が117件(57.2%)と二大要素となっている。

原発部位別治療前病気分類をみると、cStage0期が49件(24.7%)、cStageⅠが45件(22.7%)、cStageⅡが15件(7.6%)、cStageⅢが47件(23.7%)、cStageⅣが22件(11.1%)となっており、早期がんが高い割合をしめている。

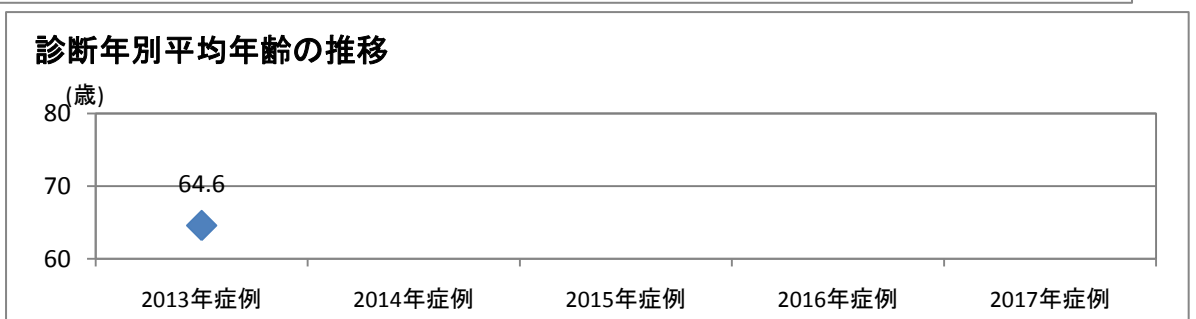
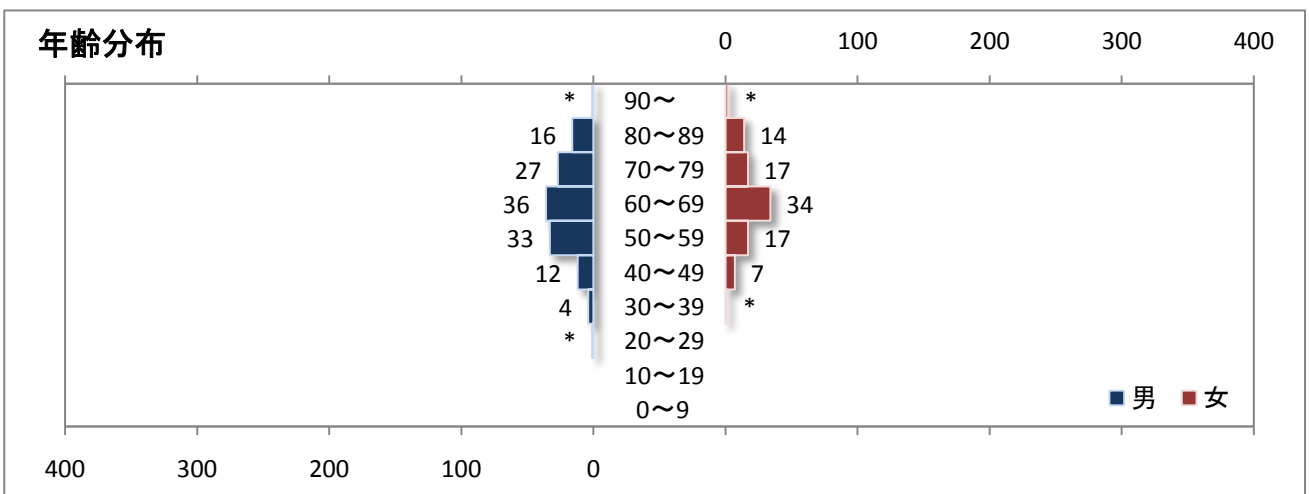
大腸がん198例の中で、最も多い部位は直腸(Ra、Rb)が76件(38.4%)で、次に直腸S状部が22件(11.1%)、S状結腸58件(29.3%)で、直腸が多い。その要因の一つとして、大腸がん術後のQOLを保つ肛門括約筋温存術を多く行っていることで、その治療を希望し、受診することが考えられる。

① 患者住所医療圏別登録割合と件数

高野病院 (222件)



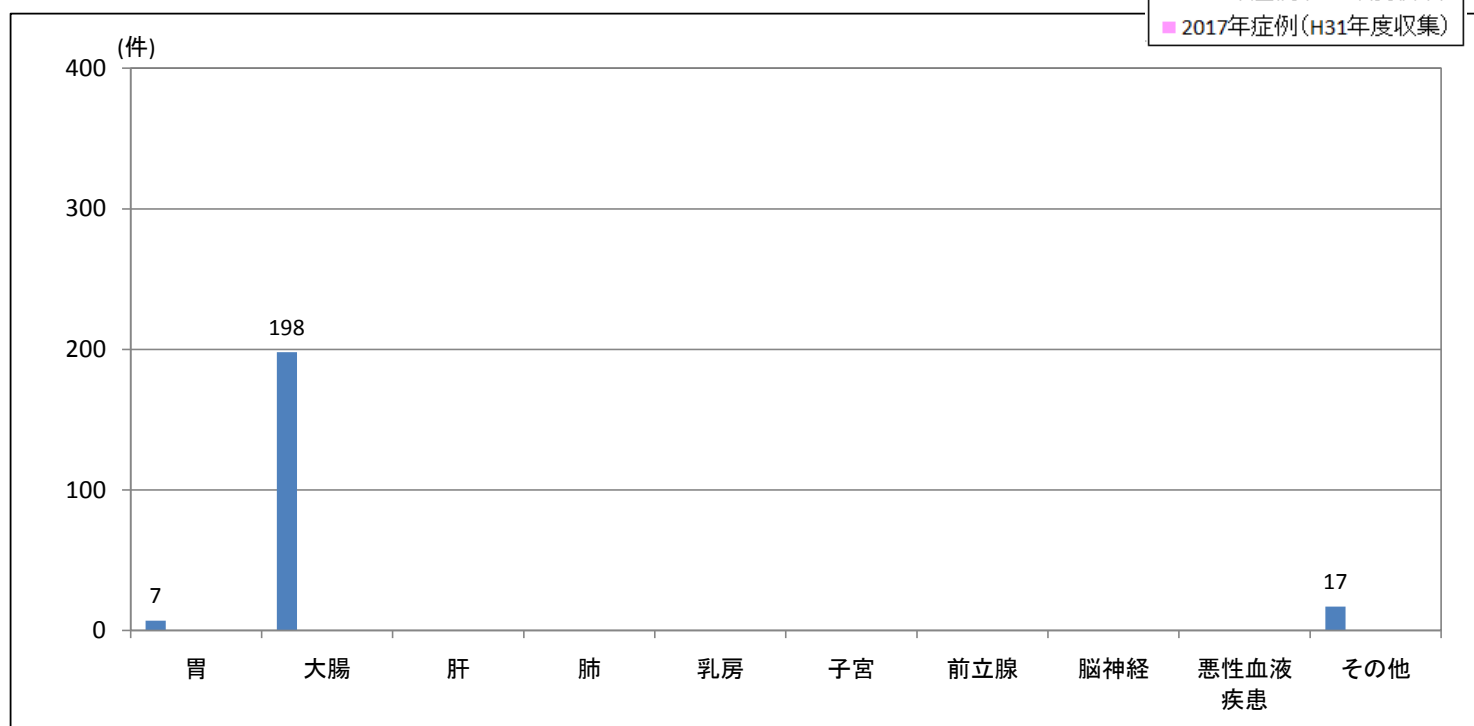
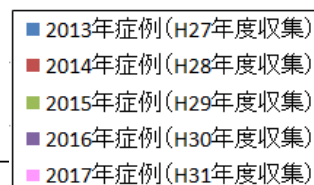
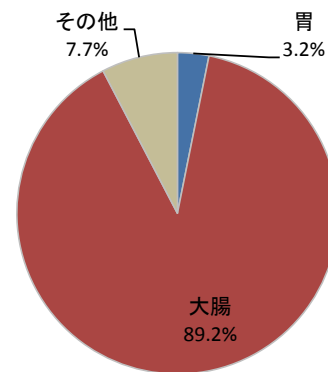
② 診断時年齢分布と平均年齢の推移



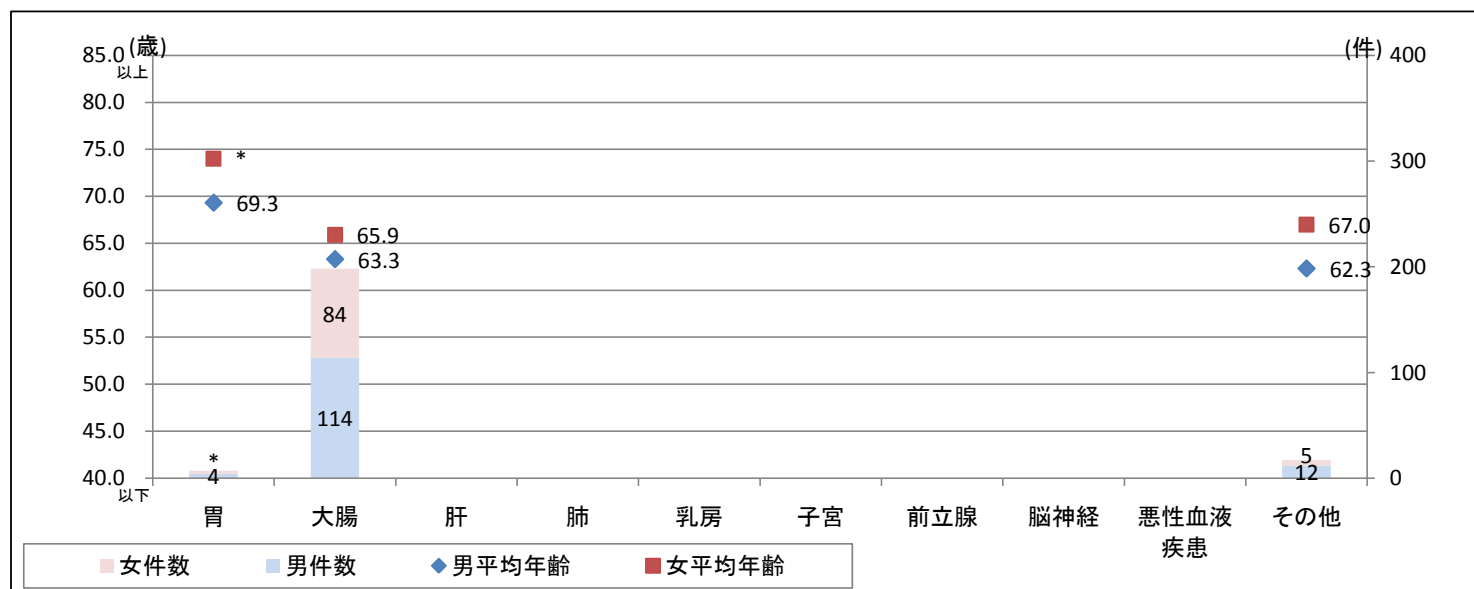
③ 診断年別 主要部位別件数

部位	2013年症例 (H27年度収集)	2014年症例 (H28年度収集)	2015年症例 (H29年度収集)	2016年症例 (H30年度収集)	2017年症例 (H31年度収集)
胃	7				
大腸	198				
肝					
肺					
乳房					
子宮					
前立腺					
脳神経					
悪性血液疾患					
その他	17				
計	222	0	0	0	0

2013年症例 主要部位別割合



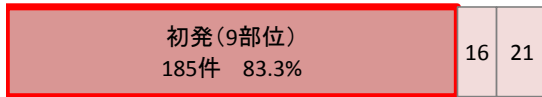
④ 男女別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 主要部位別治療の内訳

- 初発(9部位)
- 初発(その他)
- 症例区分8/治療開始後

総計: 222件

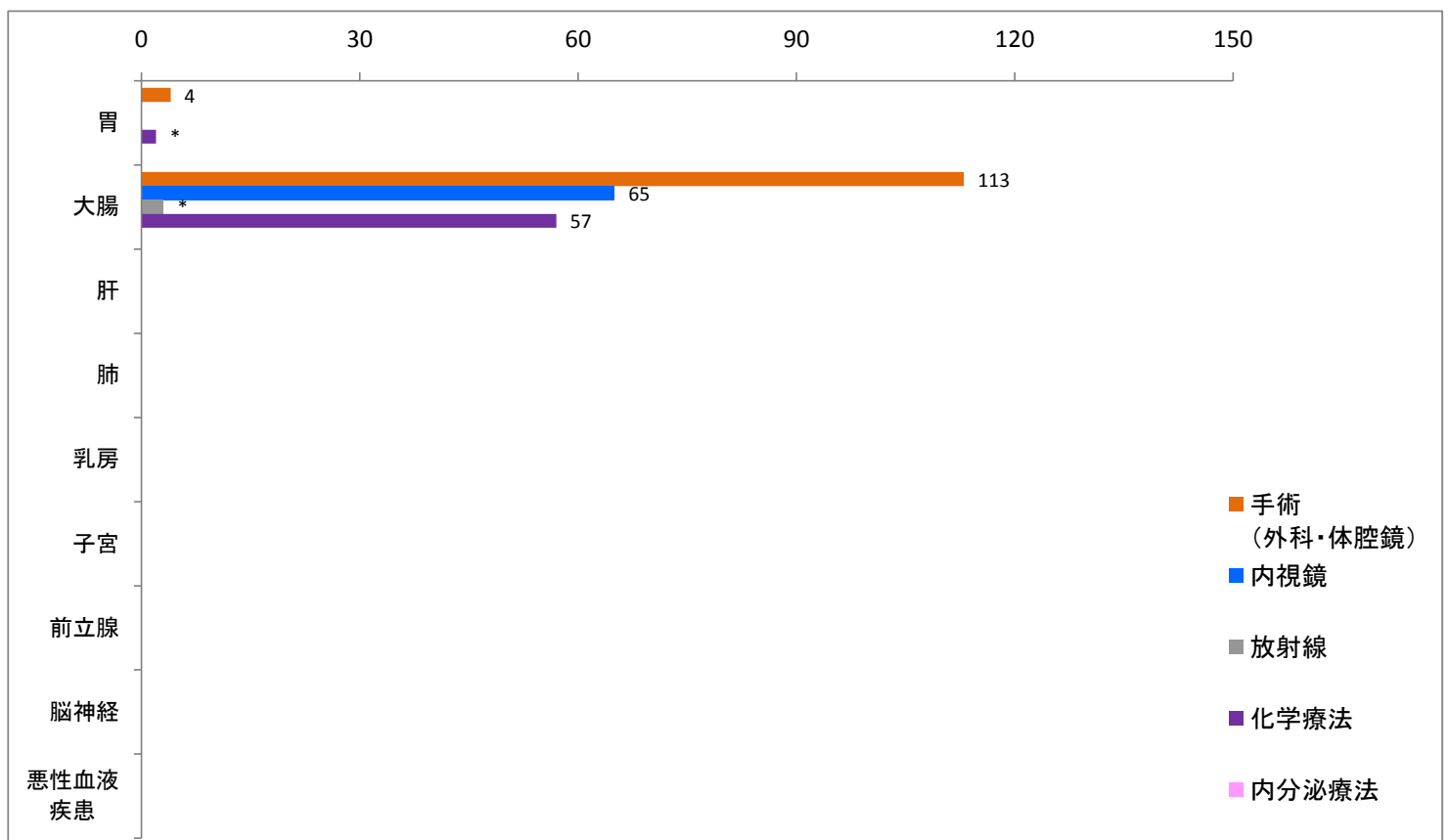


【赤枠部の治療内容を以下に集計】



- ※ 初回治療として当院で施行された治療のみ集計
- ※ 症例区分8(その他)/診断区分2(治療開始後)は除いて集計
- ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
- ※ 手術とは外科的と体腔鏡的治療の計

	(外科・体腔鏡) 手術	内視鏡	放射線	化学療法	内分泌療法	計
胃	4			*		6
大腸	113	65	*	57		238
肝						0
肺						0
乳房						0
子宮						0
前立腺						0
脳神経						0
悪性血液疾患						0
計	117	65	*	59	0	244



熊本県院内がん登録データに係る統計 —2013年診断症例—

医療機関名		国保水俣市立総合医療センター
-------	---	----------------

○基本情報

【平成25年12月現在】

所在地	水俣市天神町1丁目2番1号
病床数	401床
診療科数	19科
がん診療連携拠点病院指定日	2010.08.17
がん登録開始基準日	2010.01.01
平均在院日数	16.7 (日)
入院患者数	4,713 (人)
外来患者延数	195,270 (人)
院内がん登録件数	307 (件)
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 0 / 初級者 2 / 他 0 (名)

○医療機関からのコメント

当院は、県南最南端のがん診療連携拠点病院であり、県境の病院である。鹿児島県出水市、伊佐市と接しているため、熊本県内だけではなくがん患者数の約30%が鹿児島県から来院されていることが大きな特色であり、以前からと同様な傾向が続いている。

患者の年齢層は医療圏の人口分布と相関して高齢がん患者が非常に多く、70歳代について80歳代の患者が多い。

5大癌は大腸(24%)、胃(13%)、肺(12%)、乳房(8.1%)、肝(4.9%)の他に前立腺(4.9%)が多く、膀胱尿路癌数も多い。血液、リンパ系の悪性症例は、血液内科がなく、他院に紹介後に診断となるため、登録がない。

5大癌および前立腺、膀胱尿路癌の治療は内視鏡的、体腔鏡的手術、開腹、開胸手術、化学療法、緩和医療を行っているが、放射線治療に関しては近隣施設に依頼している。

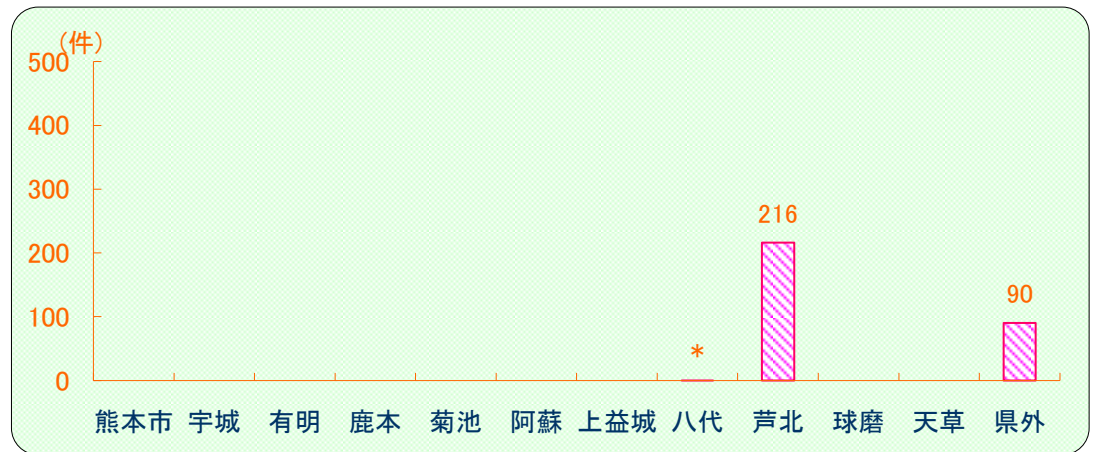
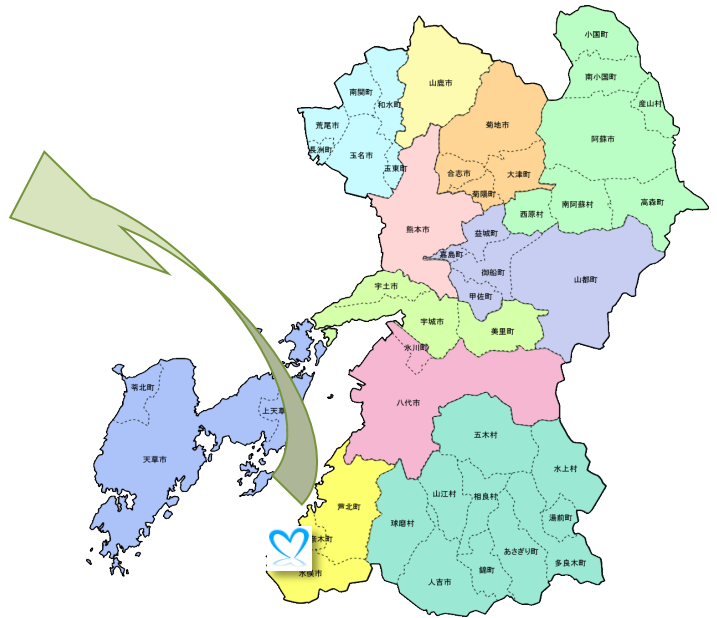
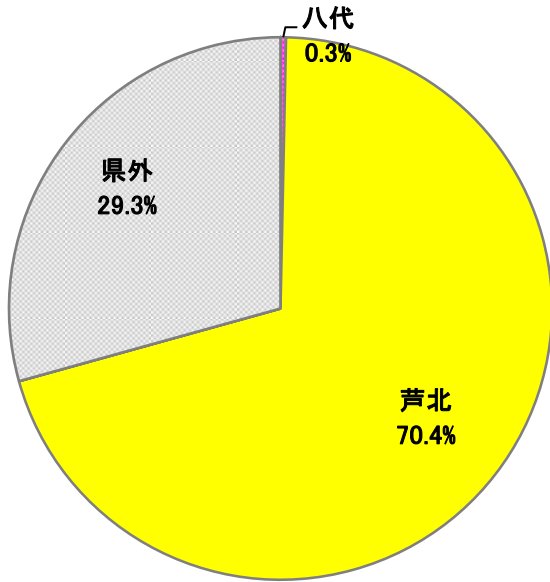
Stage0, I期の消化管症例の多くには内視鏡的治療、体腔鏡的治療が実施されている。

肝臓癌に対して経皮的ラジオ波凝固療法や、肝動脈塞栓術を行っている。肺癌の手術の多くが胸腔鏡手術を実施しているが、進行癌も多いため化学療法症例割合も多い。乳癌に対してはセンチネルリンパ節生検を行っている。前立腺癌の症例では外科手術および内分泌療法を行っている。

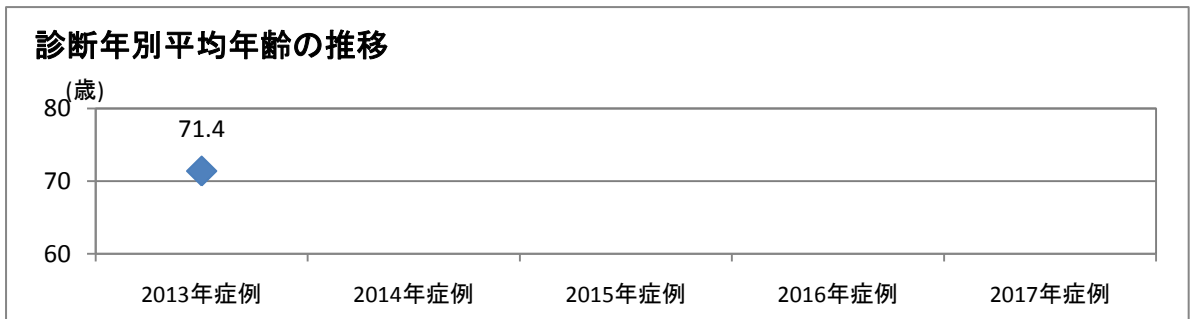
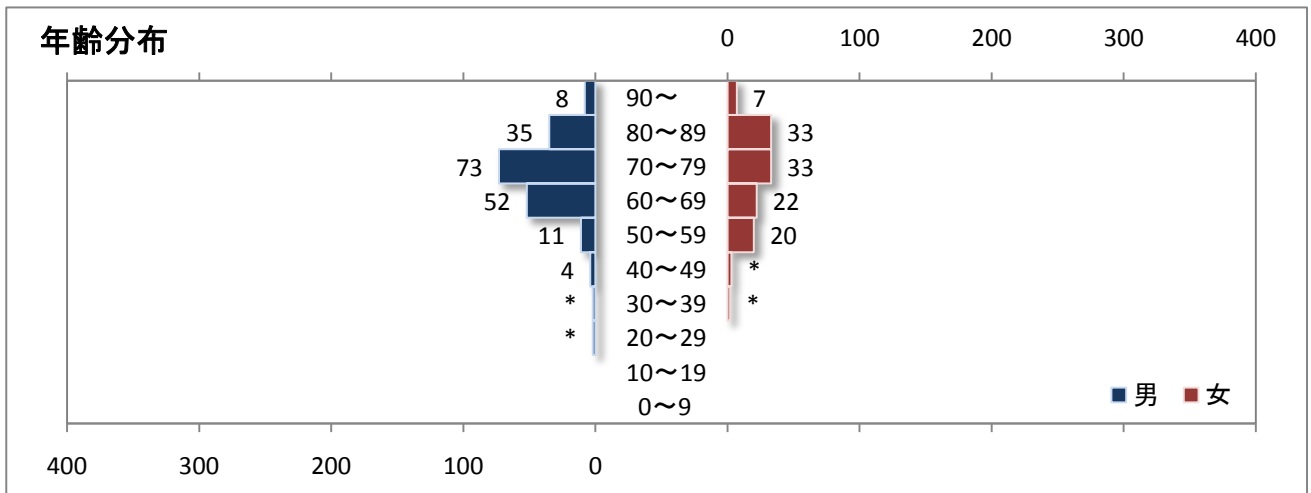
独居の高齢者も多く、医師、看護師、薬剤師のみならず、NST、地域支援センター等の職員がチームとして診療にあたり、高齢者にもスムーズな治療を行えるよう努力している。

① 患者住所医療圏別登録割合と件数

水俣市立総合医療センター（307件）



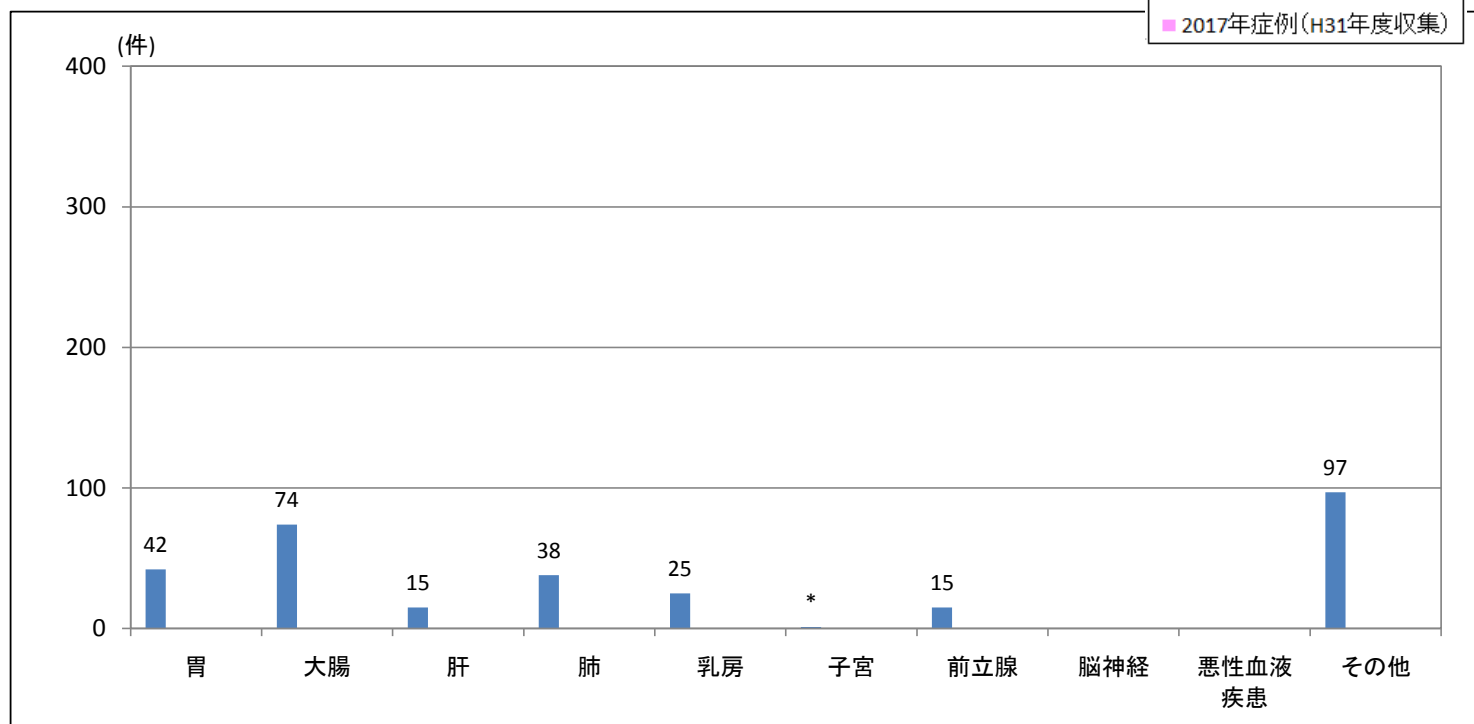
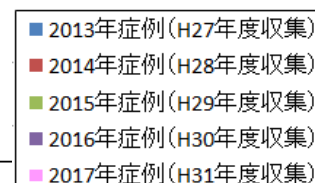
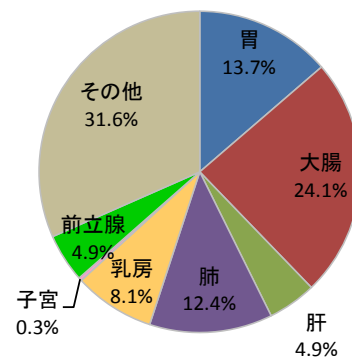
② 診断時年齢分布と平均年齢の推移



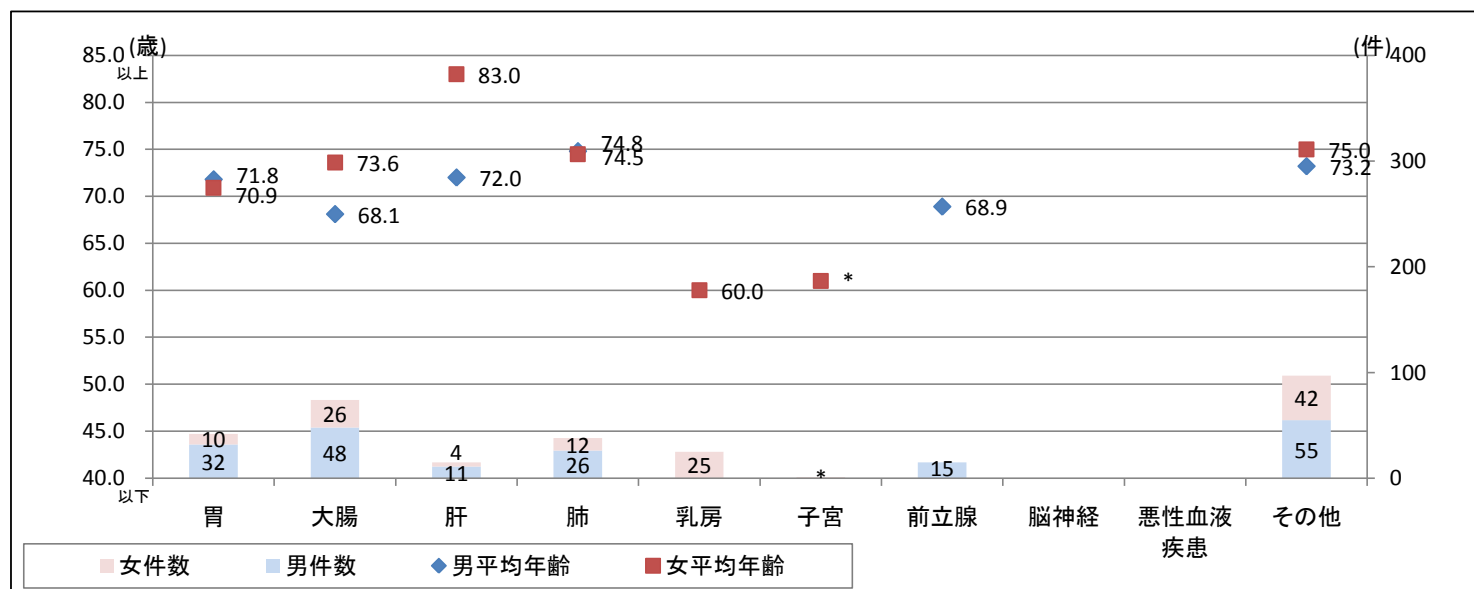
③ 診断年別 主要部位別件数

部位	2013年症例 (H27年度収集)	2014年症例 (H28年度収集)	2015年症例 (H29年度収集)	2016年症例 (H30年度収集)	2017年症例 (H31年度収集)
胃	42				
大腸	74				
肝	15				
肺	38				
乳房	25				
子宮	*				
前立腺	15				
脳神経					
悪性血液疾患					
その他	97				
計	307	0	0	0	0

2013年症例 主要部位別割合



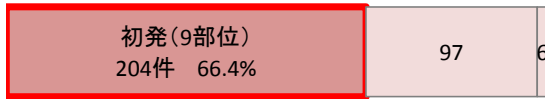
④ 男女別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 主要部位別治療の内訳

- 初発(9部位)
- 初発(その他)
- 症例区分8/治療開始後

総計:307件

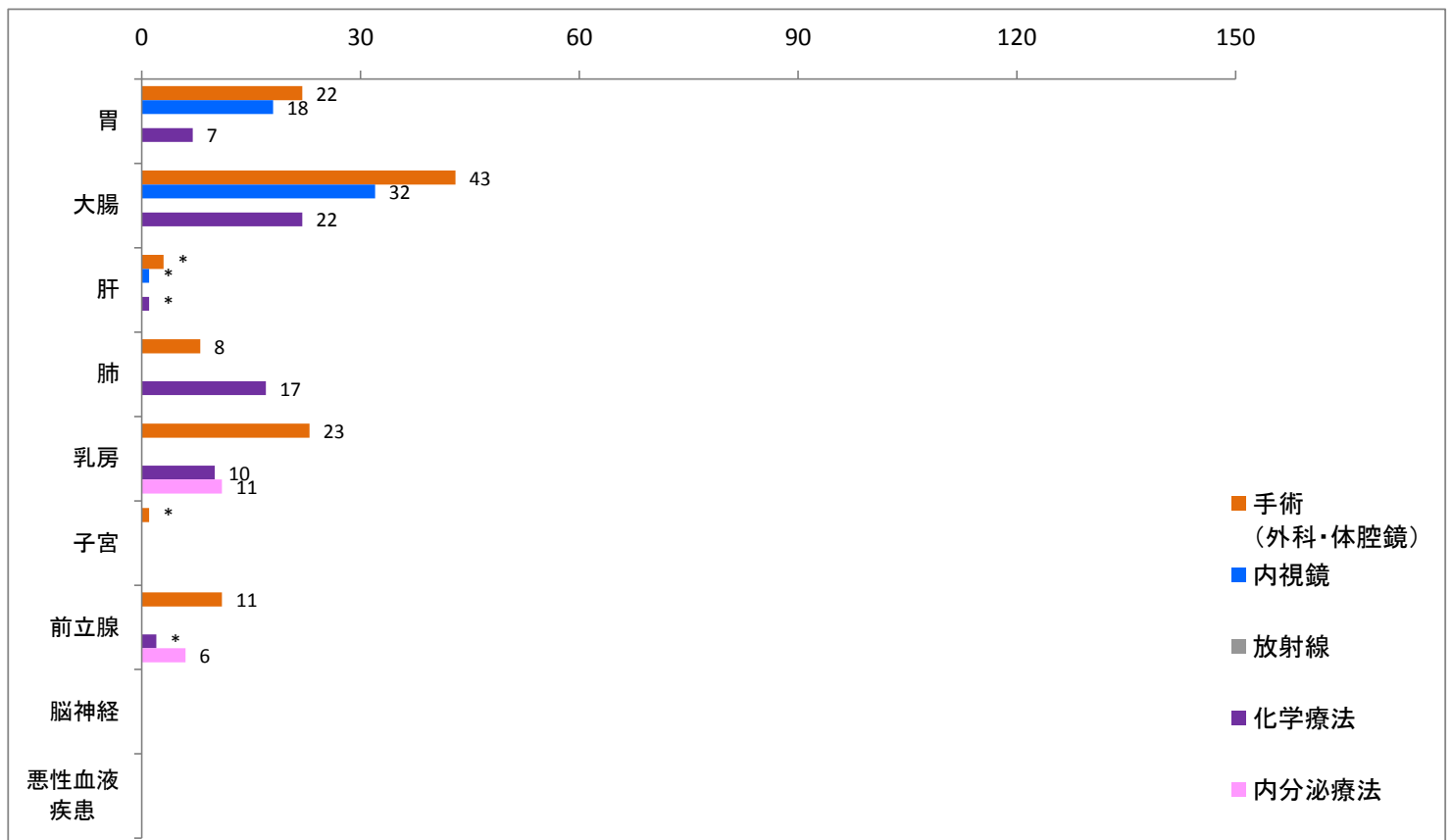


【赤枠部の治療内容を以下に集計】




- ※ 初回治療として当院で施行された治療のみ集計
- ※ 症例区分8(その他)/診断区分2(治療開始後)は除いて集計
- ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
- ※ 手術とは外科的と体腔鏡的治療の計

	(外科・体腔鏡) 手術	内視鏡	放射線	化学療法	内分泌療法	計
胃	22	18		7		47
大腸	43	32		22		97
肝	*	*		*		5
肺	8			17		25
乳房	23			10	11	44
子宮	*					*
前立腺	11			*	6	19
脳神経						0
悪性血液疾患						0
計	111	51	0	59	17	238



熊本県院内がん登録データに係る統計 —2013年診断症例—

医療機関名		山鹿市民医療センター
-------	---	------------

○基本情報

【平成25年12月現在】

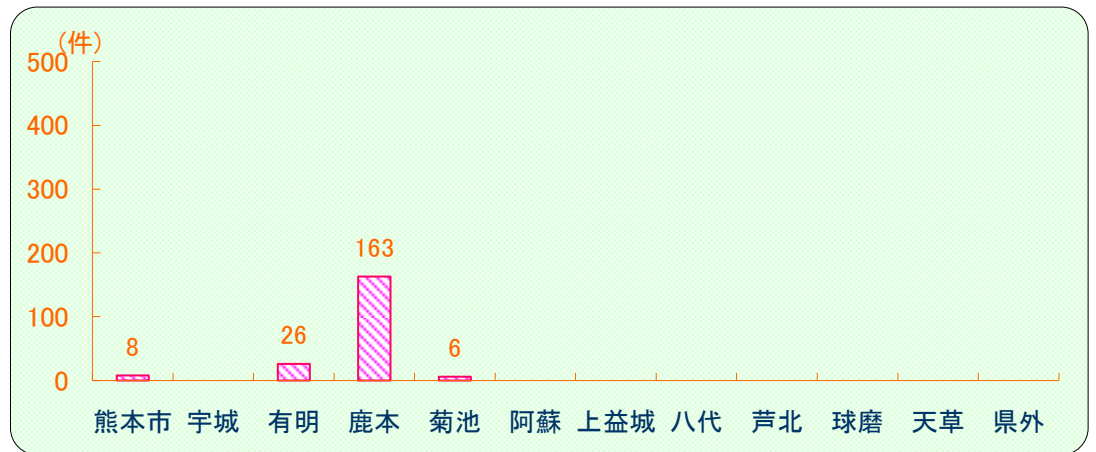
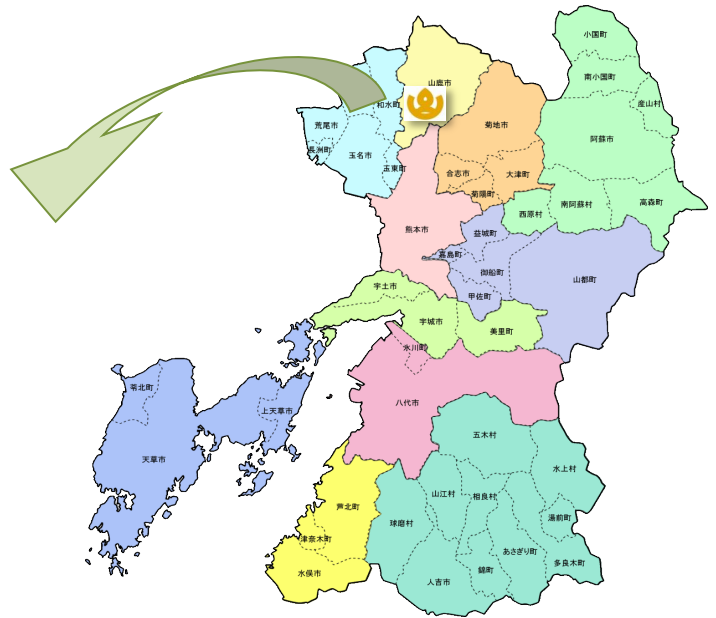
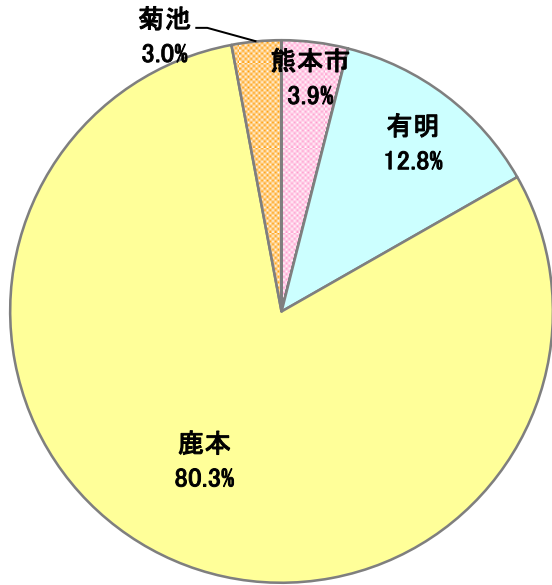
所在地	山鹿市山鹿511
病床数	201床
診療科数	21科
がん診療連携拠点病院指定日	2012.11.16
がん登録開始基準日	2010.04.01
平均在院日数	18.6 (日)
入院患者数	3,017 (人)
外来患者延数	63,573 (人)
院内がん登録件数	203 (件)
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 0 / 初級者 2 / 他 0 (名)

○医療機関からのコメント

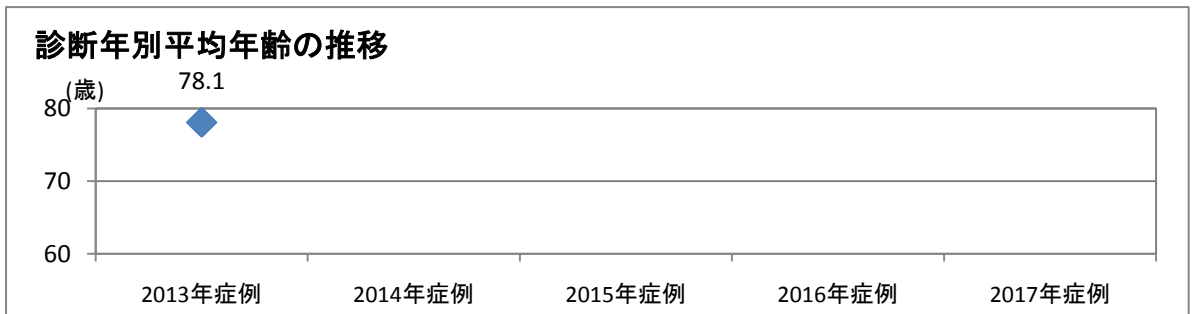
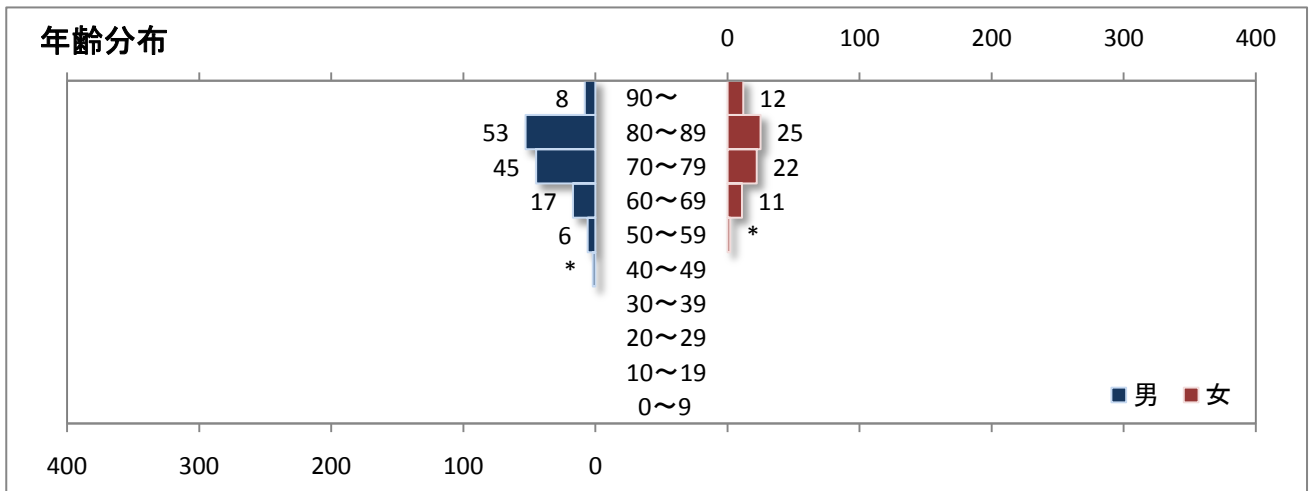
<p>当施設では院内がん登録を2010年度症例より開始しました。件数は、202件(2011年)→206件(2012年)→203件(2013年)とほぼ横ばいの状態です。部位別に見ると胃と前立腺が34件と最も多く、次いで大腸の27件、肺の22件と続いています。昨年と比べると消化器科と泌尿器科疾患が増加しています。消化器においては、内視鏡的手術も積極的に実施し、前立腺については検診の増加と比例しているのではないかと考えます。</p> <p>性別では、男性が131件、女性が72件と男性が多く、年齢別に見ると男性の平均年齢が77.2歳、女性の平均年齢が79.7歳となり、昨年、一昨年と比べると女性の平均年齢が高くなっていました。この中で女性特有のがん(乳・子宮)のみ抽出した場合は、平均年齢が68.8歳と明らかに下がることから、乳がん検診や子宮がん検診の若年層の関心が向上してきたことが考えられます。全体からみれば発見経緯のドックやがん検診の症例はまだ少ないですが、年々増加傾向にあると考えます。</p> <p>医療圏は鹿本が80%とほとんどを占めています。わたしのカルテの運用や化学療法の実施、2011年7月よりがん相談支援センターを開設しがんの情報の発信や患者様やその家族の様々な相談に対応できるようになったこと、また緩和ケア病棟の開棟により、がんの発見から治療、その後のフォローまで一貫して行える医療機関として地域の医療機関との更なる連携を図れるようになったからではないかと考えます。</p> <p>また、緩和ケア病棟の開棟は、終末期を地元で過ごしたいという要望に応えられるようになったことから、治療開始後の症例が増加していることにも繋がっていると考えます。</p> <p>今後も地域のがん拠点病院としてがん治療の質の向上、患者様のQOL向上に貢献していきたいと考えています。</p>

① 患者住所医療圏別登録割合と件数

山鹿市民医療センター（203件）



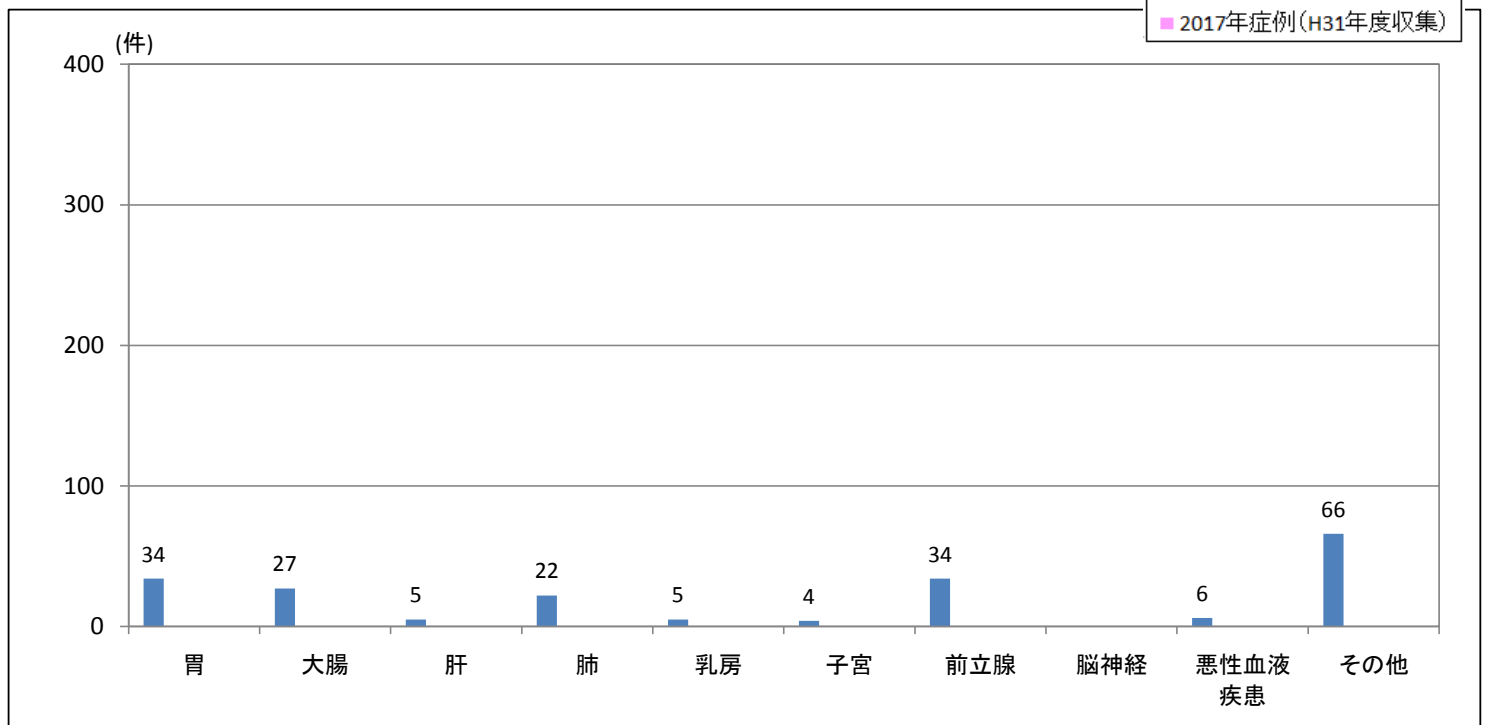
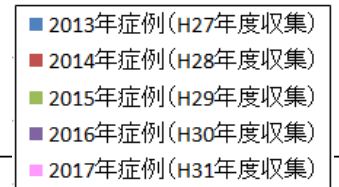
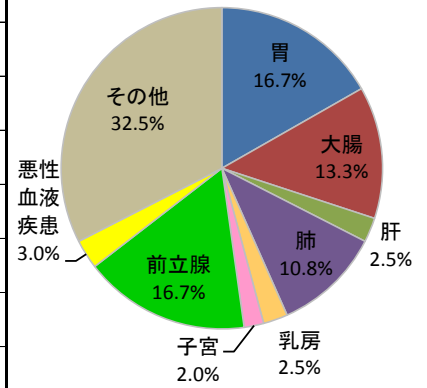
② 診断時年齢分布と平均年齢の推移



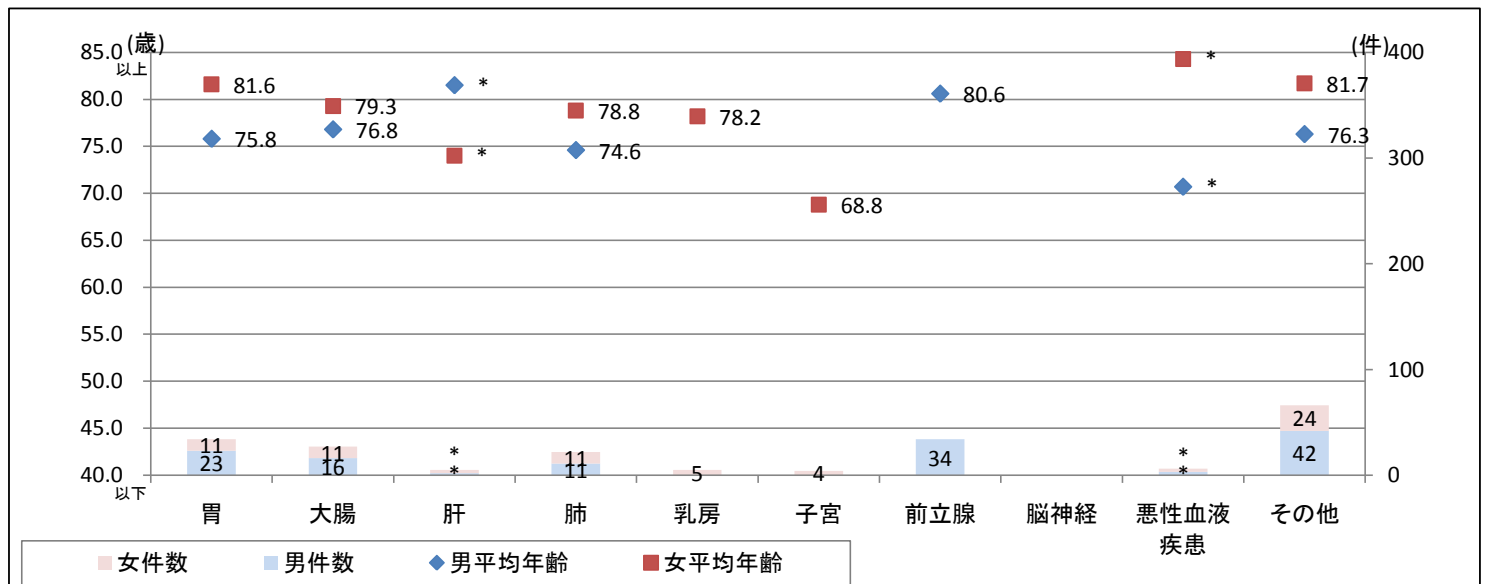
③ 診断年別 主要部位別件数

部位	2013年症例 (H27年度収集)	2014年症例 (H28年度収集)	2015年症例 (H29年度収集)	2016年症例 (H30年度収集)	2017年症例 (H31年度収集)
胃	34				
大腸	27				
肝	5				
肺	22				
乳房	5				
子宮	4				
前立腺	34				
脳神経					
悪性血液疾患	6				
その他	66				
計	203	0	0	0	0

2013年症例 主要部位別割合



④ 男女別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 主要部位別治療の内訳

- 初発(9部位)
- 初発(その他)
- 症例区分8/治療開始後

総計: 203件

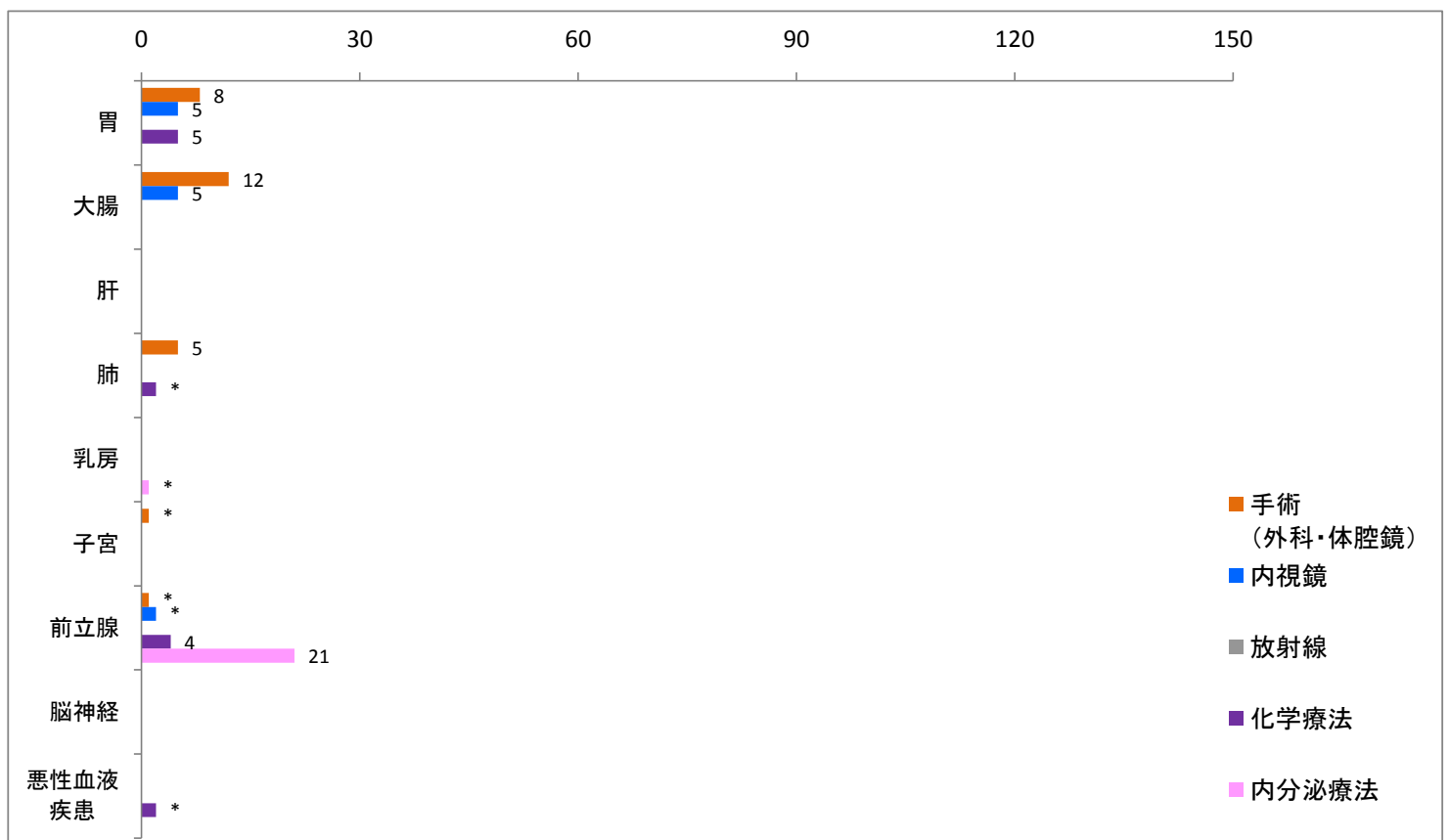
初発(9部位) 103件 50.7%	34	66
-----------------------	----	----

【赤枠部の治療内容を以下に集計】



- ※ 初回治療として当院で施行された治療のみ集計
- ※ 症例区分8(その他)/診断区分2(治療開始後)は除いて集計
- ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
- ※ 手術とは外科的と体腔鏡的治療の計

	(外科・体腔鏡) 手術	内視鏡	放射線	化学療法	内分泌療法	計
胃	8	5		5		18
大腸	12	5				17
肝						0
肺	5			*		7
乳房					*	*
子宮	*					*
前立腺	*	*		4	21	28
脳神経						0
悪性血液疾患				*		*
計	27	12	0	13	22	74



熊本県院内がん登録データに係る統計 —2013年診断症例—

医療機関名		社会医療法人黎明会宇城総合病院
-------	---	-----------------

○基本情報

【平成25年12月現在】

所在地	宇城市松橋町久具691
病床数	179床
診療科数	18科
がん診療連携拠点病院指定日	—
がん登録開始基準日	2010.04.01
平均在院日数	16.7 (日)
入院患者数	5,403 (人)
外来患者延数	70,039 (人)
院内がん登録件数	60 (件)
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 0 / 初級者 0 / 他 3 (名)

○医療機関からのコメント

1. 症例数
 当院の2013年の症例数は60件で前年(2012年 54件)と比べ6件増加であった。自施設で診断から治療までの割合は65%とあまり多くはない。

2. 診断時患者住所医療圏
 ほとんどが宇城で88.3%を占め、八代6.7%、上益城3.3%の順となり、例年とほぼ変わりは見られない。

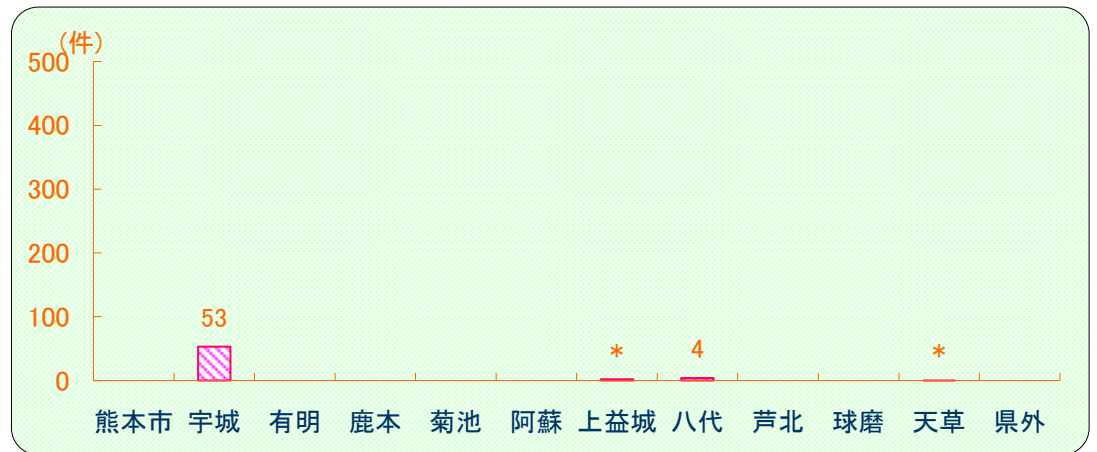
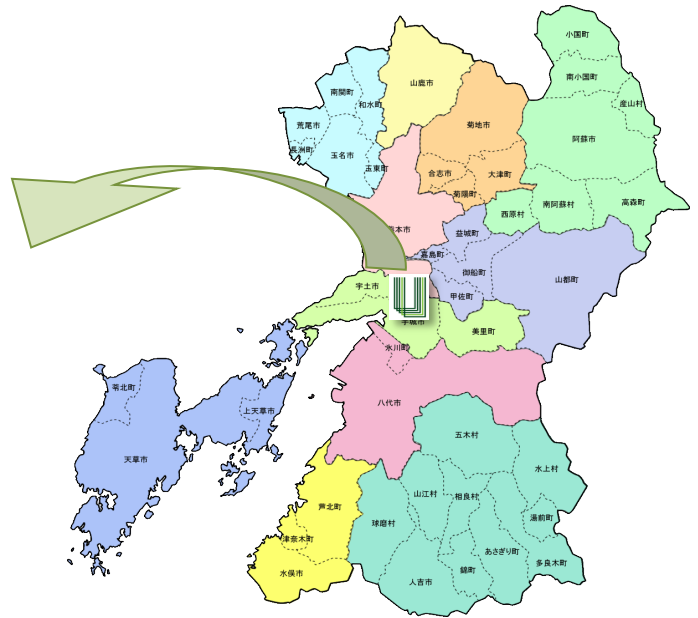
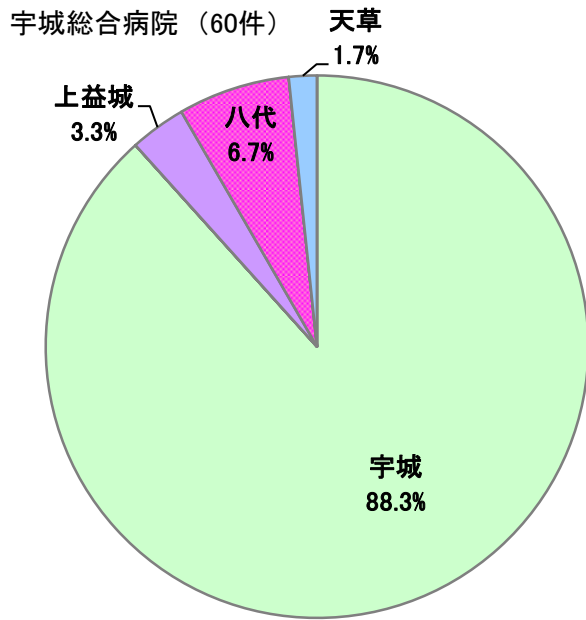
3. 登録症例の平均年齢
 大腸(男性72.4歳・女性80.5歳)、胃(男性80.3歳・女性68.1歳)、肺(男性78.7歳・女性96歳)、肝(男性75歳・女性84.7歳)、乳房(女性72歳)
 地域の特徴としては高齢者が多く、男性70.9歳、女性77.1歳となり、70～79歳代であった。昨年は80歳代が多かった。

4. 症例数の多い5大部位
 2012年
 部位: 大腸(44.4%)、胃(13.0%)、肺(13.0%)、肝(11.1%)、乳房(0%)
 2013年
 部位: 大腸(35%)、胃(21.7%)、肺(6.7%)、肝(6.7%)、乳房(1.7%)

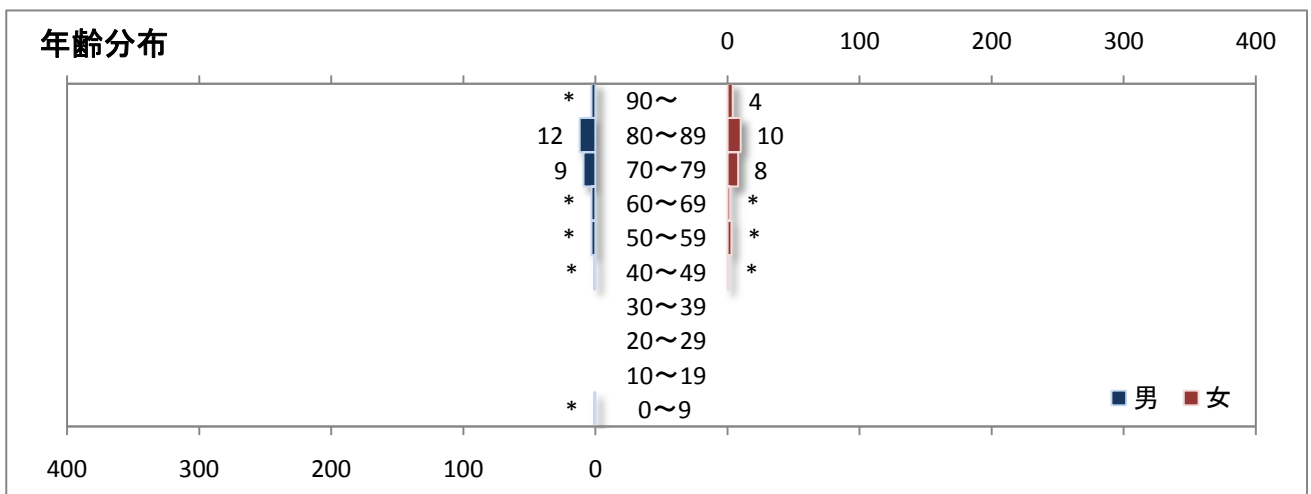
5. 治療
 院内におけるがんに対して、外科手術が大半を占めている。外科手術22症例のうち、(大腸 14症例、胃 4症例、乳房 1症例、その他 2症例)の順となり、例年とほぼ変わりは見られない。宇城地域医療圏内在住の高齢者が中心となっていた。

6. その他
 他医療機関からの治療後の経過観察・化学療法・緩和ケアに対応している。

① 患者住所医療圏別登録割合と件数



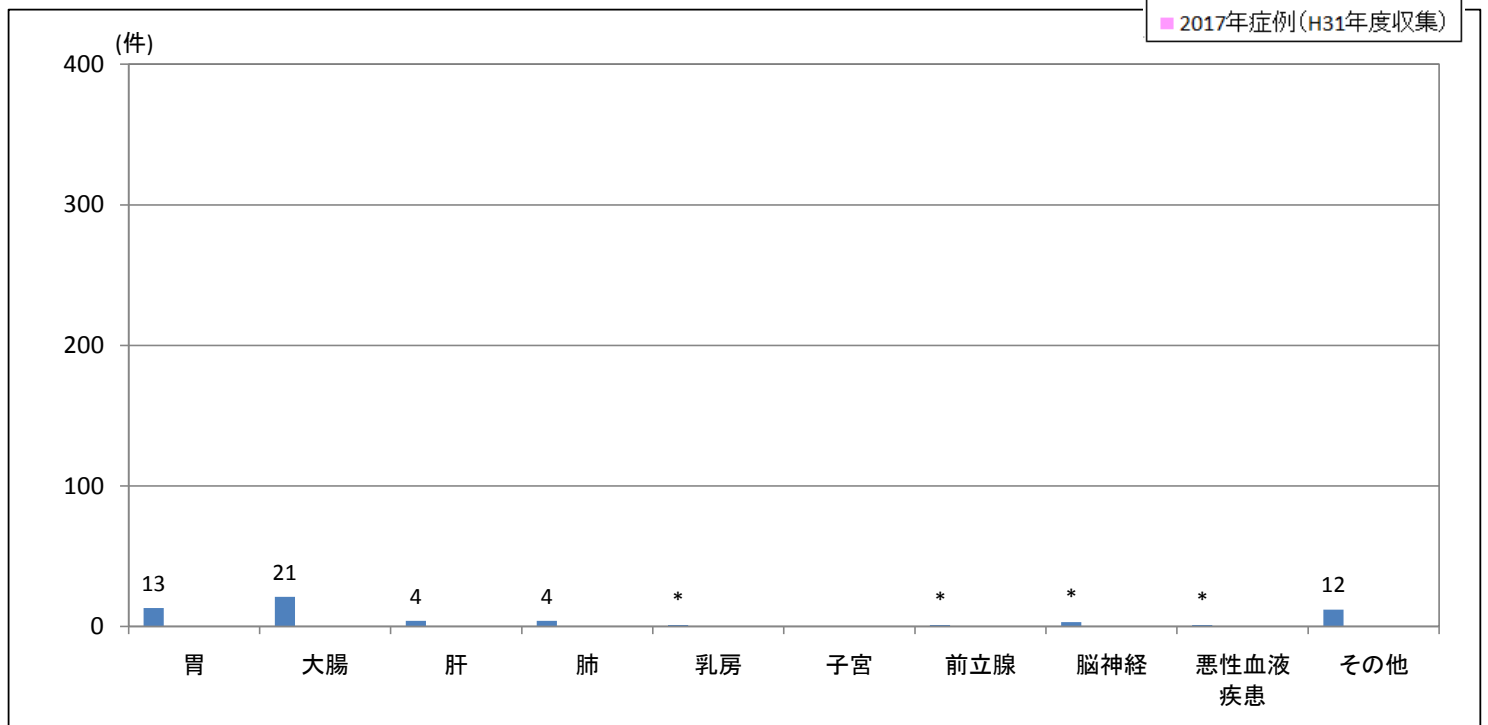
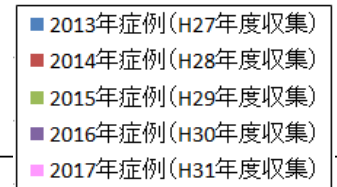
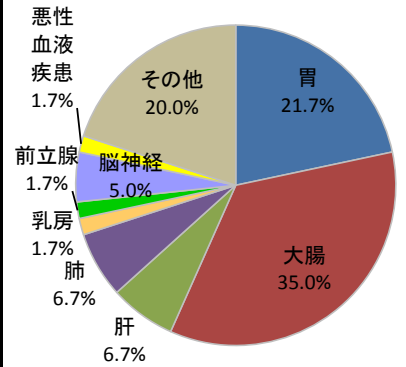
② 診断時年齢分布と平均年齢の推移



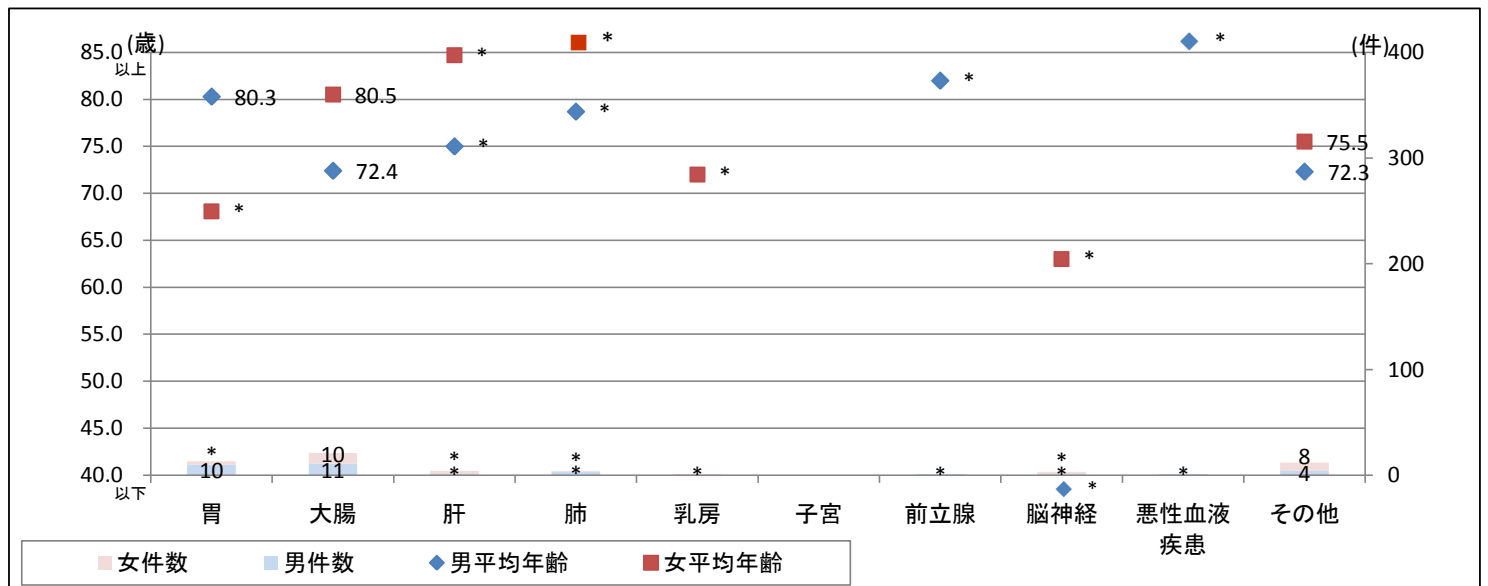
③ 診断年別 主要部位別件数

部位	2013年症例 (H27年度収集)	2014年症例 (H28年度収集)	2015年症例 (H29年度収集)	2016年症例 (H30年度収集)	2017年症例 (H31年度収集)
胃	13				
大腸	21				
肝	4				
肺	4				
乳房	*				
子宮					
前立腺	*				
脳神経	*				
悪性血液疾患	*				
その他	12				
計	60	0	0	0	0

2013年症例 主要部位別割合



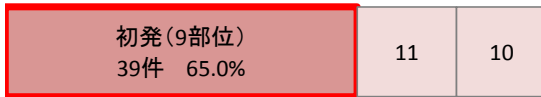
④ 男女別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 主要部位別治療の内訳

- 初発(9部位)
- 初発(その他)
- 症例区分8/治療開始後

総計:60件



【赤枠部の治療内容を以下に集計】



- ※ 初回治療として当院で施行された治療のみ集計
- ※ 症例区分8(その他)/診断区分2(治療開始後)は除いて集計
- ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
- ※ 手術とは外科的と体腔鏡的治療の計

	(外科・体腔鏡) 手術	内視鏡	放射線	化学療法	内分泌療法	計
胃	5	*				6
大腸	15			*		17
肝				4		4
肺				*		*
乳房	*					*
子宮						0
前立腺						0
脳神経						0
悪性血液疾患						0
計	21	*	0	7	0	29

